NEC

NEC データプロジェクター

ViewLight®

ビューライト

NP-M361XJL/NP-M311XJL/NP-M271XJL/ NP-M311WJL/NP-M271WJL

取扱説明書 [詳細版]

本機を安全にお使いいただくために
ご使用の前に必ずお読みください

1. 添付品や名称を確認する — 1
2. 映像を投写する（基本操作） — 2
3. 便利な機能 — 3
4. ビューワを使う — 4
5. オンスクリーンメニュー — 5
6. 機器と接続する — 6
7. 本体のお手入れ／ランプの交換 — 7
8. 付録 — 8

はじめに

このたびは、NEC データプロジェクター（以降「本機」または「プロジェクター」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本機は、コンピュータや DVD プレーヤなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。
本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用の前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。
本書は、下記の機種について共通の取扱説明書です。NP-M361XJL を主にして説明しています。
本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。
本機は、日本国内向けモデルです。

- 本書で説明している機種名
  NP-M361XJL/NP-M311XJL/NP-M271XJL/NP-M311WJL/NP-M271WJL
- 機種名について
  プロジェクター本体では、機種名を「NP-M361X」、「NP-M311X」、「NP-M271X」、「NP-M311W」または「NP-M271W」と表記しています。
  取扱説明書では、機種名の末尾に「JL」を付けて表記しています。

この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
（4）本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

© NEC Display Solutions, Ltd. 2012
2012 年 8 月　初版
NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の許可なく複製･改変などを行うことはできません。

本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

	△ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠ 記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告

本機は日本国内専用です

国内では交流 100 ボルト以外使用禁止

- 日本国内で使用する場合は交流 100 ボルトで使用してください。
  添付の電源コードは国内使用専用です。
  日本国外で本機を使用する場合は、電源コードの仕様を確認してください。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用すれば、海外でも使用可能です。電源コードは必ず使用する国の規格・電源電圧に適合したものを使ってください。
  詳細に関しては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本機に添付している電源コードは、本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

電源コードの取り扱いは大切に

- 電源コードは大切に取り扱ってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
  - 添付されているもの以外の電源コードは使用しない
  - コードの上に重い物をのせない
  - コードをプロジェクターの下敷きにしない
  - コードの上を敷物などで覆わない
  - コードを傷つけない、加工しない
  - コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
  - コードを加熱しない

  電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに交換をご依頼ください。

故障したときは電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする場合やプロジェクターを落としたり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理をご依頼ください。

水場や水にぬれるような所には置かない

水ぬれ禁止

- 次のような水にぬれるおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
  - 雨天や降雪時、海岸や水辺で使用しない
  - 風呂やシャワー室で使用しない
  - プロジェクターの上に花びん、植木鉢を置かない
  - プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない

  万一プロジェクターの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

次のような所では使用しない

- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
  - ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
  - 暖房の近くや振動の多い所
  - 湿気やほこりの多い場所
  - 油煙や湯気の当たるような場所
  - 調理台や加湿器のそば

⚠警告

動作中にレンズの前に物を置かない

- レンズは本機のレンズカバー以外の物で塞がないでください。
  動作中にレンズカバー以外の物でレンズを塞いだり光をさえぎったりすると、その物が高温になり、破損や火災の原因となります。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。

内部に物を入れない

異物挿入禁止

- プロジェクターの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
  火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。
  万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

キャビネットは絶対にあけない

分解禁止

- プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。
  また改造しないでください。火災・感電の原因となります。
  内部の点検・調整・修理は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

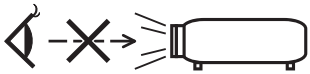
雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。
  感電の原因となります。

プロジェクターのレンズをのぞかない

レンズをのぞかない

- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。
  動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



天吊りの設置について

- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置については販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。

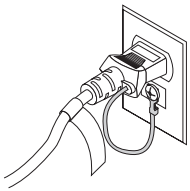
ランプ交換は電源を切ってから

電源プラグをコンセントから抜く

- ランプの交換は、電源を切りしばらく待って、電源プラグをコンセントから抜き、1 時間おいてから行ってください。
  動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となります。
  詳細は 148 ページをご覧ください。

⚠注意

機器のアースは確実にとってください



● 本機の電源プラグはアース付き 2 芯プラグです。
機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。詳細は 29 ページをご覧ください。

ぬれた手で電源プラグに触れない

ぬれた手は危険

● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

● プロジェクターの通風孔をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物を置かないでください。
火災の原因となることがあります。
プロジェクターを設置する場所は周囲から適当な空間（目安として 10cm 以上）あけてください。

移動するときは電源コードを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

● 移動する場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

● 長期間、プロジェクターをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は電源コードを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

● お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

投写中および投写終了直後は排気口をさわらない

● 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近が高温になる場合があり、やけどの原因となることがあります。
● プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。

過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない

● 本機の LAN ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。
LAN ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。

⚠注意

ソフトケースの取り扱いについて

無理な扱いはしない

- プロジェクターを入れて振り回さないでください。また、本機および本機の添付品以外は入れないでください。
  プロジェクターやソフトケースが落下して、けがの原因となることがあります。

電池の取り扱いについて

- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
  - ・電池をショート、分解、火に入れたりしない
  - ・指定以外の電池は使用しない
  - ・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
  - ・電池を入れるときは、極性（＋と－の向き）に注意し、表示どおりに入れる
- 電池を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

点検・本体内部の清掃について

内部の清掃は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターで

- 1 年に一度くらいは内部の清掃を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃費用につきましては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

電源コードはコンセントに接続する

- プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。直接電灯線に接続することは危険ですので行わないでください。また、天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントをご使用ください。

お願い

性能確保のため、次の点にご留意ください

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。
  動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
  振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。
  高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- 本機を傾けて使用する場合は、チルトフットの傾き範囲以内（0 ～ 10˚）にしてください。チルトフットの範囲を超えて傾けたり、左右に傾けたりすると、故障の原因となります。

- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
  - たばこの煙･ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して（5 時間／日または 260 日／年を超えて）使用する場合は、あらかじめ NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。
  - 本機を長時間にわたり連続して使用される場合は、ファンモードを「高速」にしてください。（119 ページ）
  - コンピュータなどで同じ絵柄の静止画を長時間投写すると、その絵柄が画面に若干残りますが、しばらくすると消えます。これは液晶パネルの特性上発生するもので、故障ではありません。コンピュータ側でスクリーンセーバーをお使いになることをおすすめします。
- 標高約 1600m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- 本機を高所（気圧の低い所）で使用すると、光学部品（ランプなど）の交換時期が早まる場合があります。
- スクリーンへの外光対策をしてください。
  スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。
  外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
  ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
  スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- 持ち運びについて
  - 添付のソフトケースに収納して運んでください。
  - レンズに傷が付かないように必ずレンズカバーを閉じてください。
  - 振り回したりして、プロジェクター本体に強い衝撃を与えないでください。
  - ソフトケースに収納した状態で、宅配便や貨物輸送はしないでください。プロジェクターの故障の原因となります。

- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
  投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、レンズ面には手を触れないでください。
  本機を使用されないときは、レンズカバーを閉じておいてください。
- 廃棄について
  本体を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

ランプ取り扱い上の注意

- 安全・性能維持のため指定ランプを使用してください。
- プロジェクターの光源には、高輝度化を目的とした内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。このランプは、ご使用時間とともに輝度が徐々に低下する特性があります。また、電源の入／切の繰り返しも、輝度低下を早めます。
- ランプは、衝撃や傷、使用時間の経過による劣化などにより、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となることがあります。また、ランプが破裂や不点灯に至るまでの時間、条件には、ランプの個体差や使用条件によって差があり、本取扱説明書に記載してある指定の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。
  なお、指定の使用時間を超えてお使いになった場合は、ランプが破裂する可能性が高くなりますので、ランプ交換の指示が出た場合には、すみやかに新しいランプに交換してください。
- ランプ破裂時には、ランプハウス内にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部に含まれるガスがプロジェクターの通風孔から排出されることがあります。ランプ内部に使用されているガスには水銀が含まれていますので、破裂した場合は窓や扉をあけるなど十分に換気を行ってください。ガスを吸い込んだり、目に入ったりした場合には、すみやかに医師にご相談ください。
- ランプが破裂した場合には、プロジェクター内部にガラスの破片が散乱している可能性があります。プロジェクター内部の清掃、ランプの交換その他の修理について、必ず NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに依頼し、お客様ご自身でプロジェクター内部の清掃、ランプ交換を行わないでください。

電源プラグを抜く際の注意

- 電源を切ったとき、および投写中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

投写する映像の著作権について

- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機を使って映像を投写する場合、本機の機能を使ってオリジナルの映像に対して投写範囲を小さくしたり変形したりすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。
  アスペクト、台形補正、部分拡大などの機能を使用する場合はご注意ください。

目次

はじめに …… 表紙裏
本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください … 3
お願い …… 8
目次 ……10
本書の表記について……12

1. 添付品や名称を確認する …… 13

1-1. 特長 …… 13
1-2. 添付品の確認 …… 15
1-3. 本体各部の名称 …… 17
1-4. リモコン各部の名称 …… 21
1-5. 添付ソフトウェアの動作環境 …… 25

2. 映像を投写する（基本操作） …… 28

2-1. 映像を投写する流れ …… 28
2-2. コンピュータと接続する／電源コードを接続する …… 29
2-3. 本機の電源を入れる …… 30
2-4. 入力信号を選択する …… 32
2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する …… 35
2-6. 台形歪みを手動で調整する …… 38
2-7. コンピュータの映像を自動調整する …… 40
2-8. 本機の音量を調整する …… 41
2-9. 本機の電源を切る …… 42
2-10. あとかたづけ …… 43

3. 便利な機能 …… 44

3-1. 映像と音声を消去する（AV ミュート） …… 44
3-2. 動画を静止画にする（静止）…… 44
3-3. 映像の一部を拡大する（部分拡大）…… 45
3-4. エコモードと省エネ効果 …… 46
3-5. セキュリティを設定して無断使用を防止する …… 49
3-6. コンピュータケーブルを使って本機を操作する（Virtual Remote Tool）…… 52
3-7. USB ケーブルを接続して本機のリモコンでコンピュータのマウス操作を行う（リモートマウス）…… 58
3-8. USB ケーブルを経由して画像を投写する（USB ディスプレイ）…… 59
3-9. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作 …… 61
3-10. LAN を経由して本機を操作する（PC Control Utility Pro 4/Pro 5）…… 69
3-11. LAN を経由して画像を投写する（Image Express Utility Lite）…… 74
3-12. スクリーンに斜め方向から投写する（Image Express Utility Lite の幾何学補正）… 80

4. ビューワを使う …… 83

4-1. ビューワでできること …… 83
4-2. USB メモリに保存した画像を投写する …… 85
4-3. PowerPoint ファイルをスライド画像に変換する（Viewer PPT Converter 3.0）… 91

5. オンスクリーンメニュー …… 95

5-1. オンスクリーンメニューの基本操作 …… 95
5-2. オンスクリーンメニュー一覧 …… 99
5-3. 入力端子 ……102
5-4. 調整 ……103
5-5. セットアップ ……111
5-6. 情報 ……127
5-7. リセット ……129

6. 機器と接続する …… 130

6-1. コンピュータと接続する ……130
6-2. ディスプレイと接続する ……133
6-3. DVD プレーヤなどの AV 機器と接続する ……134
6-4. 書画カメラと接続する ……137
6-5. 有線 LAN と接続する ……138
6-6. 無線 LAN と接続する（別売）……139

7. 本体のお手入れ／ランプの交換 …… 143

7-1. フィルタの清掃 ……143
7-2. レンズの清掃 ……146
7-3. キャビネットの清掃 ……147
7-4. ランプとフィルタの交換 ……148

8. 付　録 …… 155

投写距離とスクリーンサイズ ……155
対応解像度一覧 ……159
仕様 ……161
外観図 ……163
コンピュータ 1/2 映像入力端子のピン配列と信号名 ……165
故障かな？と思ったら ……166
インジケータ表示一覧 ……171
トラブルチェックシート ……173
TCO 認証 ……175
索引 ……176
別売品／商標について ……178

保証と修理サービス（必ずお読みください）…… 179
NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターとビューライトクラブのご案内 … 裏表紙

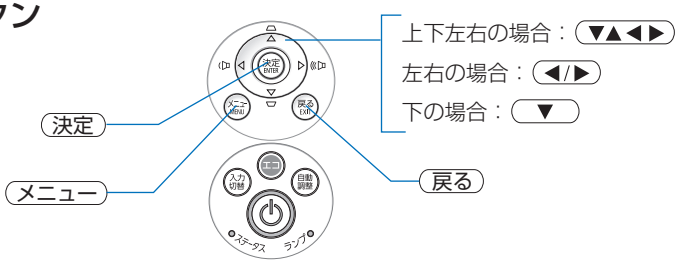
本書の表記について

マークの意味

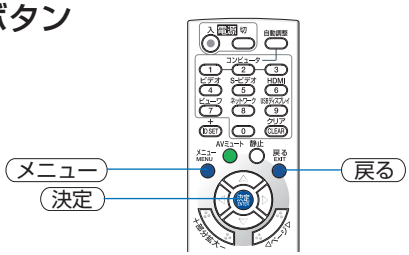
重要	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
注意	注意や制限事項を表しています。
参考	補足説明や役立つ情報を表しています。
	本書内の参照ページを表しています。
適応機種	特定の機種についての説明を表しています。

操作ボタンの表記例

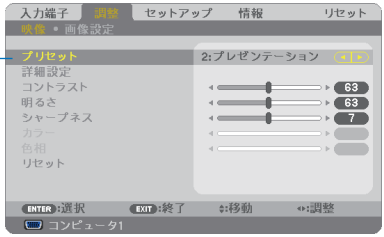
●本体の操作ボタン



●リモコンの操作ボタン



メニュー項目の表記例



参考

- 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

1. 添付品や名称を確認する

1-1. 特長

● クイックスタート（3 秒）、クイックパワーオフ、ダイレクトパワーオフ
パワーオンからわずか 3 秒で映像が表示され始めます（クイックスタート）(注 1)。
パワーオフ後に冷却ファンが回転しないので、すばやく片付けることができます（クイックパワーオフ）。
また、投写中に AC 電源を切断することができます（ダイレクトパワーオフ）。
AC 電源を切断する場合は、本機の電源コードを接続しているテーブルタップのスイッチやブレーカなどを利用してください。
(注 1) スタンバイモードが「ノーマル」のとき。

● スタンバイ時の消費電力が 0.2 ワットの省エネ設計
オンスクリーンメニューのスタンバイモードで「省電力」を設定すると、スタンバイ時の消費電力が 0.2 ワットになります。

● 消費電力を抑えるエコモードとカーボンメータ表示
使用中の消費電力を抑えるため、「オートエコ」、「エコ 1」、「エコ 2」という 3 種類のエコモードを搭載しています。さらに、エコモード設定時の省エネ効果を CO_2 排出削減量に換算して、電源切るときの「確認メッセージ」およびオンスクリーンメニューの「情報」に表示します（カーボンメータ）。

● ランプ交換時間が最大 10000 時間 (注 2)
エコモード（エコ 2）を設定して使用すると、ランプ交換時間 (注 3) が延ばせます。
(注 2) NP-M311XJL/NP-M271XJL/NP-M271WJL の場合。
NP-M361XJL/NP-M311WJL の場合は、最大 8000 時間。
(注 3) 保障時間ではありません。

● HDMI 入力端子を装備し、デジタル映像信号を投写可能
HDMI 入力端子を装備しており、デジタル映像信号を投写することができます。また、HDMI 入力端子は音声信号にも対応しています。
本機の HDMI 入力端子は、HDCP に対応しています。

● 10 ワットのモノラルスピーカ内蔵
広い会議室や教室で視聴していただけるように、10 ワットのモノラルスピーカを内蔵しています。

● コントロール ID が登録できるリモコンを標準添付
同じ部屋で本機を複数台使用しているときなどに、プロジェクターごとに個別のコントロール ID 番号を設定することによって、1 個のリモコンでプロジェクターごとに個別の操作を行うことができます。

● プロジェクター本体やリモコンに日本語表示
プロジェクター本体の操作ボタン名や接続端子名を日本語で表示し、さらに、日本語表示のリモコンを標準添付しています。

● 投写画面の台形歪みを自動的に補正
本機の上下方向の傾きを感知し、投写した画面が台形に歪むのを自動的に補正します。

● USB ディスプレイ
コンピュータとプロジェクターを添付の USB ケーブルを使って接続すると、コンピュータの画面をプロジェクターへ伝送して投写することができます。そのとき、コンピュータケーブルを接続する必要はありません。

● 有線 LAN ／無線 LAN 対応
LAN ポート（RJ-45）を装備しており有線 LAN に接続してコンピュータから本機へ画像を伝送したり、コンピュータから本機を制御したりできます。
また、別売の無線 LAN ユニットを本機に取り付けると、無線 LAN に接続できます。

● 便利なユーティリティソフト（User Supportware）を標準添付
添付の NEC Projector CD-ROM にユーティリティソフト（Virtual Remote Tool、Image Express Utility Lite、PC Control Utility Pro 4/5、Viewer PPT Converter 3.0）を収録しています。Image Express Utility Lite (Windows 用) は、コンピュータにインストールしなくても、市販の USB メモリや SD カードから起動して使用することができます。

● オートパワーオン／オートパワーオフ機能
本機には次のような自動的に電源を入／切する機能があります。
・ダイレクトパワーオン …… 本機に AC 電源が供給されると、自動的に電源が入り、映像を投写します。
・オートパワーオン（COMP1）… 本機がスタンバイ状態のときコンピュータ信号が入力されると、自動的に電源が入り映像を投写します。
・オートパワーオフ …… 設定した時間だけ信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。
・オフタイマー …… 設定した時間が経過すると、自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。

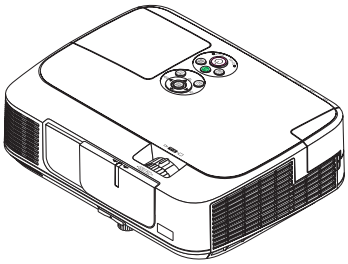
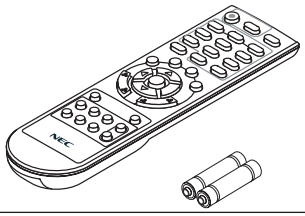
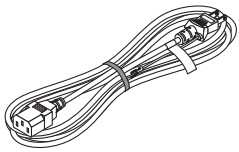
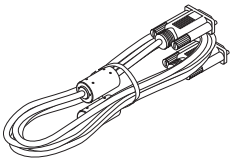
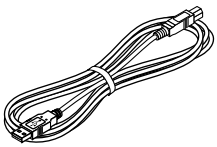
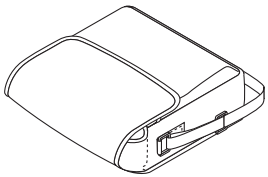
● 無断使用や盗難を防止する機能を装備
本機には次のようなセキュリティ機能を装備しています。
・セキュリティキーワード …… オンスクリーンメニューの「セキュリティ」でキーワードを設定すると、本機の電源を入れたときにキーワード入力画面が表示され、正しいキーワードを入力しなければ投写できなくなります。
・盗難防止用ロック …… 本機は、ケンジントンセキュリティワイヤーを接続することができます。
・セキュリティバー …… 本機は、一般的なセキュリティケーブル（またはワイヤー）を通す機構を装備しています。

● アドバンスド・アキュブレンド機能により WUXGA までの解像度に対応
NP-M361XJL/NP-M311XJL/NP-M271XJL は XGA（1024 × 768 ドット）、NP-M311WJL/NP-M271WJL は WXGA（1280 × 800 ドット）にリアル対応しています。アドバンスド･アキュブレンド機能により WUXGA（1920X1200 ドット）の入力信号までカバーしています。

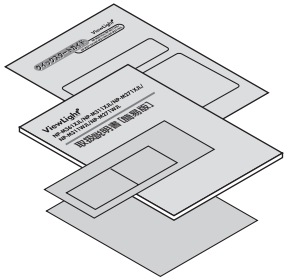
● CRESTRON ROOMVIEW に対応
本機は CRESTRON ROOMVIEW に対応しています。コンピュータやコントローラから、ネットワークに接続した複数の機器を管理・制御することができます。

1-2. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。

	**プロジェクター（本機）** コンピュータや DVD プレーヤなどを接続して、文字や映像を大きなスクリーンに投写する機器です。
	**リモコン（7N900934）** 本機の電源の入／切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。 ご購入後はじめて使用するときは、添付の単 4 乾電池 2 本をセットしてください。（23 ページ） **単 4 乾電池（リモコン用）2 本** 添付のリモコンにセットします。
	**電源コード（アース付き）（7N080125）** AC100V のコンセントに本機を接続します。 日本国内用です。
	**コンピュータケーブル（ミニ D-Sub 15 ピン）（7N520073）** コンピュータの画面をスクリーンに投写する場合に使用します。（29, 130 ページ）
	**USB ケーブル（7N520086）** リモートマウスや USB ディスプレイを使用する場合に、本機とコンピュータを接続します。（58, 59,130 ページ）
	**ソフトケース（24BS8121）** 本機や添付品を収納します。移動時や保管時にご使用ください。

次ページに続く

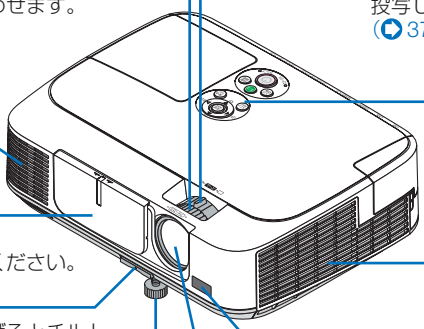
	NEC Projector CD-ROM（7N951851） PDF（Portable Document Format）形式の取扱説明書［詳細版］（本書）とユーティリティソフトを収録しています。（25 ページ）
	**クイックスタートガイド（7N8N3201）** 機器の接続、電源オン、投写画面の調整、電源オフといった、基本的な操作方法をコンパクトにまとめて説明しています。 **取扱説明書［簡易版］（7N8N3191）** 安全のために守っていただきたいこと、ランプ交換、保証とサービスなどについて記載しています。 **保証書** プロジェクターの保証内容・条件を記載しています。 **ビューライトクラブ申込書** ビューライトクラブに入会していただくと、会員ならではのサービスが受けられます。入会金・会費は無料です。

参考

- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

1-3. 本体各部の名称

本体前面



フォーカスリング
映像のフォーカスを合わせます。
（37 ページ）

ズームレバー
投写した画面の大きさを調整します。
（37 ページ）

本体操作部
本機の電源の入／切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。
（19 ページ）

排気口
ランプの熱を排気します。

レンズカバー
レンズを保護します。
開閉方法は下記をご覧ください。

吸気口／フィルタ
内部にほこりやゴミが入るのを防止します。
（143,152 ページ）

チルトレバー
チルトレバーを押し上げるとチルトフットを伸縮できます。
本機の投写角度を固定したいところで、チルトレバーから指を離します。
（36 ページ）

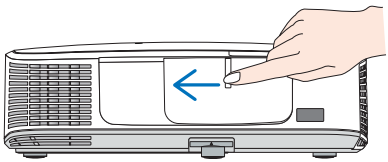
リモコン受光部
リモコンの信号を受ける部分です。
（23 ページ）

チルトフット
チルトレバーを押し上げると上下に伸縮できます。
チルトフットを使って投写角度を調整します。（36 ページ）

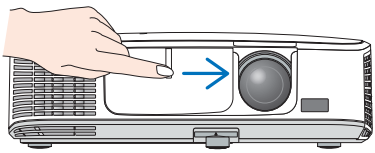
レンズ
ここから映像が投写されます。

●レンズカバーの開閉方法

開くには、レンズカバーを左へスライドさせます。



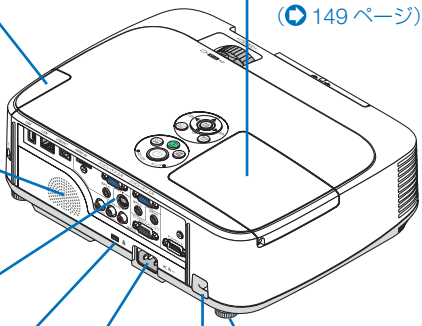
閉じるには、右へスライドさせます。



注意

- 本機のレンズカバーの開閉は AV ミュート（画像と音声を消す機能）と連動しています。動作中にレンズカバーを閉じると自動で画像は消えますがランプは点灯しています。この状態のまま約 2 時間経過すると、自動的に電源が切れます。
- レンズカバーを手前に引っ張ったり上下方向に強い力を加えないでください。レンズカバーのスライド機構が破損するおそれがあります。

本体背面



ランプカバー
ランプ交換のときカバーを外します。
（149 ページ）

USB（LAN）ポートカバー
別売の無線 LAN ユニットを取り付けるときカバーを外します。
（140 ページ）

スピーカ（モノラル）
音声入力端子から入力された音声を出します。
（41 ページ）

接続端子部
各種映像信号や音声信号のケーブルを接続します。（20 ページ）

盗難防止用ロック
盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。
詳しくは下記の参考をご覧ください。

AC IN 端子
添付の電源コードを接続します。
（29 ページ）

リアフット
投写した映像が水平になっていないとき、右または左にあるリアフットを回すと、左右の傾きの微調整ができます。（36 ページ）

セキュリティバー
セキュリティケーブル（またはワイヤー）を取り付けます。
本機のセキュリティバーは、直径 4.6mm の太さのものまで対応しています。

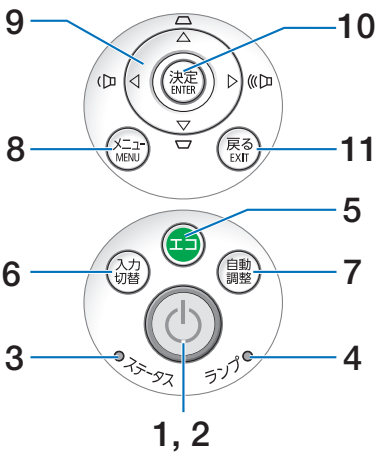
参考

- 盗難防止用ロックについて
  盗難防止用ロックは、市販のケンジントン社製セキュリティワイヤーに対応しています。製品については、ケンジントン社のホームページをご参照ください。

  http://www.kensington.com/

  対応製品については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

本体操作部



1 ⏻ボタン（電源ボタン）
本機の電源を入／切（スタンバイ状態）します。
電源を切る（スタンバイ状態）ときは、一度押すと画面に確認メッセージが表示されるので、続いてもう一度⏻ボタンを押します。

2 電源インジケータ
電源が入っているときは青色に点灯します。（30, 171 ページ）
電源が切れている（スタンバイ状態）ときはオレンジ色に点灯します（スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき）。

3 ステータスインジケータ
電源が切れているとき（スタンバイ状態）は緑色に点灯します（スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき）。
本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、本機に異常が発生したときに、点灯／点滅します。
詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。（171 ページ）

4 ランプインジケータ
ランプの交換時期がきたときやエコを選択していることをお知らせします。
（172 ページ）

5 エコボタン
エコモード選択画面を表示します。
（46 ページ）

6 入力切替ボタン
入力信号を検出します。
コンピュータ 1 →コンピュータ 2 → HDMI →ビデオ→ S- ビデオ→ビューワ→ USB ディスプレイ→コンピュータ 1… の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。

7 自動調整ボタン
コンピュータ画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。（40 ページ）

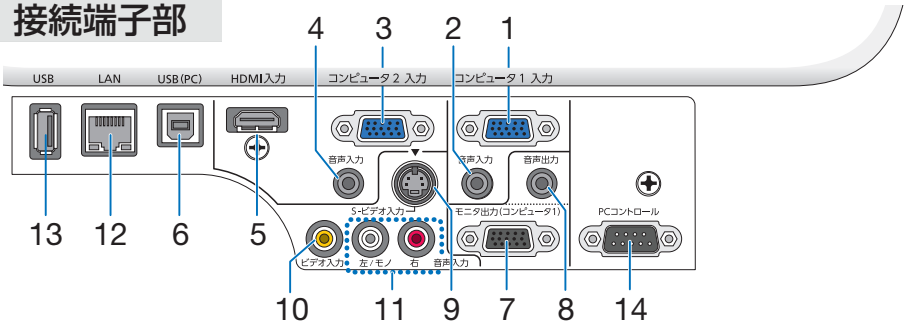
8 メニューボタン
各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。（95 ページ）

9 ▼▲◀▶ボタン
（音量調整ボタン、台形補正ボタンを兼用）
- オンスクリーンメニューを表示しているときに▼▲◀▶ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。（95 ページ）
- オンスクリーンメニューを表示していないときは、◀/▶ボタンで音量の調整（41 ページ）、▼/▲ボタンで上下方向の台形歪みの調整ができます。（38 ページ）

10 決定ボタン
オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

11 戻るボタン
オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。
確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

接続端子部



1 コンピュータ 1 映像入力端子（ミニ D-Sub 15 ピン）
コンピュータのディスプレイ出力端子や、DVD プレーヤなどのコンポーネント出力端子と接続します。
（29, 130, 135, 137 ページ）

2 コンピュータ 1 音声入力端子（ステレオ・ミニ）
コンピュータまたは DVD プレーヤなどの音声出力端子と接続すると、本機のスピーカから音が出せます。（130, 135 ページ）
本機のスピーカから出力される音声はモノラルです。

3 コンピュータ 2 映像入力端子（ミニ D-Sub 15 ピン）
コンピュータのディスプレイ出力端子や、DVD プレーヤなどのコンポーネント出力端子と接続します。（130 ,135, 137 ページ）

4 コンピュータ 2 音声入力端子（ステレオ・ミニ）
コンピュータまたは DVD プレーヤなどの音声出力端子と接続すると、本機のスピーカから音が出せます。（130, 135 ページ）
本機のスピーカから出力される音声はモノラルです。
入力端子で、ビューワ、ネットワーク、または USB ディスプレイを選択しているときは、コンピュータ 2 音声入力端子に入力している音声がスピーカから出力されます。

5 HDMI 入力端子（タイプ A）
ブルーレイプレーヤ、デジタル放送チューナなどの出力端子と接続します。
（130, 136 ページ）
本機のスピーカから出力される音声はモノラルのみです。

6 USB（PC）ディスプレイ端子（USB）（タイプ B）
添付の USB ケーブルを使ってコンピュータと接続すると、コンピュータケーブルを使用せずにコンピュータの画面を投写できます。
また添付の Image Express Utility Lite を使用するとコンピュータ側から、プロジェクターの電源の入／切や信号切替などの操作を行うことができます。（59, 130 ページ）

7 モニタ出力（コンピュータ 1）端子（ミニ D-Sub 15 ピン）
コンピュータ 1 映像入力端子の映像信号を出力します。（133 ページ）

8 音声出力端子（ステレオ・ミニ）
本機から投写されている映像の音声信号を出力します。（133 ページ）
音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカから音声が出なくなります。

9 S- ビデオ映像入力端子（ミニ DIN-4 ピン）
ビデオデッキや DVD プレーヤなどの S 映像出力端子と接続します。（134, 137 ページ）

10 ビデオ映像入力端子（RCA- フォノ）
ビデオデッキや DVD プレーヤなどの映像出力端子と接続します。（134, 137 ページ）

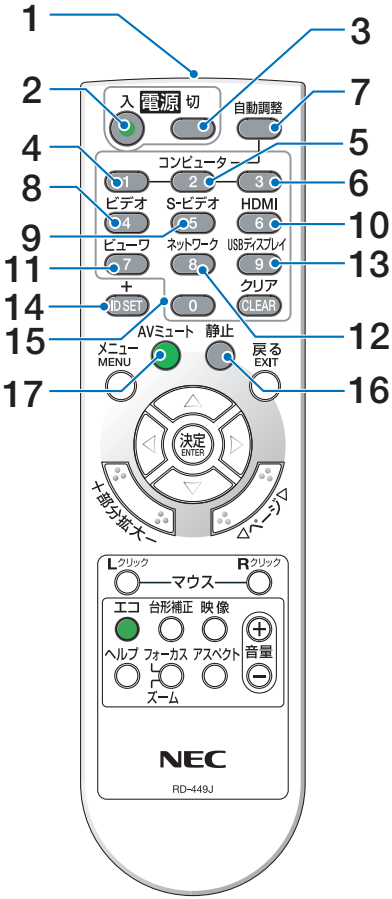
11 S- ビデオ／ビデオ音声入力端子（RCA- フォノ）
ビデオデッキや DVD プレーヤなどの音声出力端子と接続します。（134 ページ）

12 LAN ポート（LAN）（RJ-45）
本機を LAN に接続すると、本機の HTTP サーバ機能を利用し、コンピュータでウェブブラウザを使用して本機を制御することができます。（138 ページ）

13 USB ポート（USB）（タイプ A）
USB メモリを接続します。
USB メモリに画像データを保存すると本機のビューワで投写することができます。
（85 ページ）

14 PC コントロール端子（D-Sub 9 ピン）
コンピュータで本機を操作するときに使用します。

1-4. リモコン各部の名称



1 **リモコン送信部**
赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

2 **電源(入)ボタン**
スタンバイ時（電源インジケータがオレンジ色※に点灯）に本機の電源を入れます。（※スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき）

3 **電源(切)ボタン**
一度押して電源オフ確認メッセージを表示してもう一度(切)（または(決定)）ボタンを押すと、本機の電源が切れます（スタンバイ状態）。

4 **(コンピュータ1)ボタン**
コンピュータ 1 入力（またはコンポーネント）を選択します。

5 **(コンピュータ2)ボタン**
コンピュータ 2 入力（またはコンポーネント）を選択します。

6 **(コンピュータ3)ボタン**
（本機では使用できません）

7 **(自動調整)ボタン**
コンピュータ画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。(40 ページ)

8 **(ビデオ)ボタン**
ビデオ入力を選択します。

9 **(S-ビデオ)ボタン**
S- ビデオ入力を選択します。

10 **(HDMI)ボタン**
HDMI 入力を選択します。

11 **(ビューワ)ボタン**
ビューワを選択します。

12 **(ネットワーク)ボタン**
ネットワークを選択します。

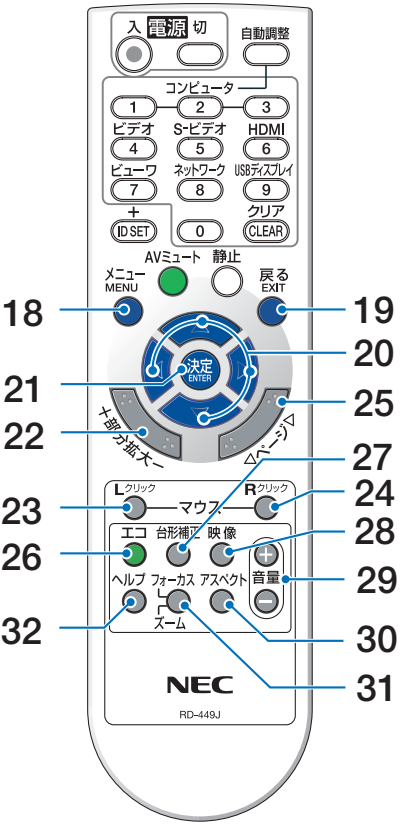
13 **(USBディスプレイ)ボタン**
USB ディスプレイを選択します。

14 **(ID SET) ボタン**
複数台のプロジェクターを本機のリモコンで個別に操作するときのコントロール ID 設定に使用します。(117 ページ)

15 **数字 ((0)～(9)) 入力ボタン**
複数プロジェクターを本機のリモコンで個別に操作する場合の ID 入力に使用します（コントロール ID 設定）。
(CLEAR(クリア)) ボタンはコントロールID設定を解除する場合に使用します。
(118ページ)

16 **(静止)ボタン**
表示されている画像が静止画となります。もう一度押すと戻ります。(44 ページ)

17 **(AVミュート)ボタン**
映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。(44 ページ)



18 (メニュー) **ボタン**
各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

19 (戻る) **ボタン**
オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

20 (▼▲◀▶) **ボタン**
オンスクリーンメニュー操作や(部分拡大 +/−)ボタンを使った画面拡大時の表示位置調整に使用します。
また、USB ケーブルを使ってコンピュータと本機を接続するとコンピュータのマウスとして動作します（リモートマウス）。
(95, 45, 58 ページ)

21 (決定) **ボタン**
オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

22 (部分拡大 +/−) **ボタン**
画面の拡大・縮小（もとに戻す）をします。
(45 ページ)

23 (マウス L クリック) **ボタン**
USB ケーブルを使ってコンピュータと本機を接続しているときに使用します。マウスの左ボタンの動作をします。(58 ページ)

24 (マウス R クリック) **ボタン**
USB ケーブルを使ってコンピュータと本機を接続しているときに使用します。マウスの右ボタンの動作をします。(58 ページ)

25 (ページ ▽/△) **ボタン**
ビューワのサムネイル画面の画面切り替えに使います。(86, 88 ページ)
また、USB ケーブルを使ってコンピュータと本機を接続しているときに使用します。画面のスクロールや、PowerPoint の画面切り替えなどに使用します。(58 ページ)

26 (エコ) **ボタン**
エコモード選択画面を表示します。
(46 ページ)

27 (台形補正) **ボタン**
台形補正調整画面を表示します。
(39 ページ)

28 (映像) **ボタン**
ボタンを押すごとに、オンスクリーンメニューの調整メニューの映像にあるプリセット→コントラスト→明るさ→シャープネス→カラー→色相の映像調整項目を順に表示します。(103, 105 ページ)

29 (音量 +/−) **ボタン**
内蔵スピーカの音量を調整します。音声出力端子の音量も調整します。

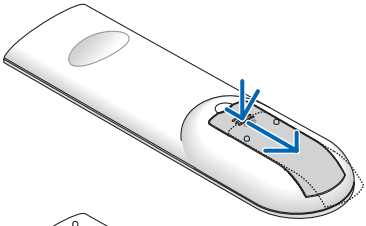
30 (アスペクト) **ボタン**
アスペクト調整項目を表示します。
(108 ページ)

31 (フォーカス／ズーム) **ボタン**
（本機では使用できません）

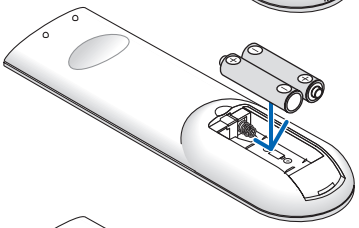
32 (ヘルプ) **ボタン**
情報画面を表示します。(127 ページ)

●電池の入れかた

1 リモコン裏面の電池ケースのふたを押したまま手前に引き、上に持ち上げて外す。

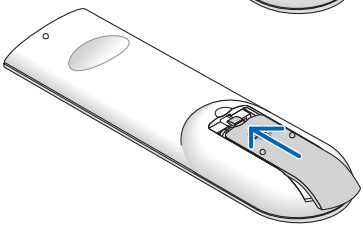


2 ケース内部に表示している＋、－の向きに合わせて単 4 乾電池をセットする。



3 もとどおりにふたをする。

ふたの後部には電池ケースに固定するツメがありますので、スライドさせて閉めてください。



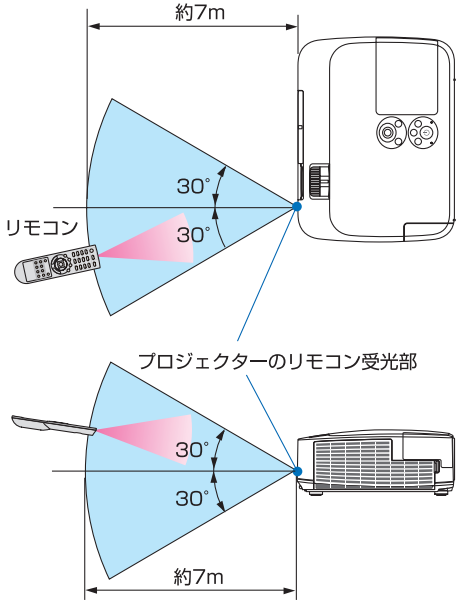
注意

- 乾電池を交換するときは、2 本とも同じ種類の単 4 乾電池をお買い求めください。

●リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体前面のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。
おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。
リモコン信号をスクリーンに反射させて本体前面のリモコン受光部で受信することもできます。

【受光範囲】



（注）有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

●リモコンの使用上の注意

- 本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中に障害物があって信号がさえぎられていると動作しません。
- 本体から約 7m 以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を 2 本とも取り出してください。

1-5. 添付ソフトウェアの動作環境

添付ソフトウェアの種類と主な機能

ソフトウェア名	主な機能
Virtual Remote Tool (Windows のみ対応)	● コンピュータの画面に Virtual Remote 画面を表示し、コンピュータケーブルなどを介して通信を行い、プロジェクターの電源の入／切や信号切替などの操作を行うことができます。また、画像をプロジェクターへ送信して、バックグラウンドロゴとして登録することができます。登録後は、ロックをかけてロゴの書き換えを防止できます。(52 ページ)
Image Express Utility Lite Image Express Utility Lite for Mac OS	● コンピュータとプロジェクターを USB ケーブル、またはネットワーク(有線 LAN ／無線 LAN)を使って接続すると、コンピュータの画面をプロジェクターへ伝送して投写することができます。コンピュータケーブルは必要ありません。(59 ページ、74 ページ) ● コンピュータ側から、プロジェクターの電源の入／切や信号切替などの操作を行うことができます。 ● 幾何学補正機能を使うと、平面ではない壁などに合わせて投写画面を補正することができます。(80 ページ) ※「USB ディスプレイ」と「幾何学補正」の機能は Mac には対応していません。
PC Control Utility Pro 4 PC Control Utility Pro 5 (for Mac OS)	● コンピュータとプロジェクターをネットワーク（有線 LAN ／無線 LAN)やシリアルケーブルを使って接続すると、コンピュータ側からプロジェクターの様々な機能を制御できます。(69 ページ)
Viewer PPT Converter 3.0 (Windows のみ対応)	● PowerPoint で作成したファイルを JPEG ファイルに変換するソフトウェアです。 変換した JPEG ファイルを USB メモリに保存すると、プロジェクターのビューワ機能で呼び出し、スライドショーとして投写することができます。(91 ページ)

注意 ● Image Express Utility Lite は、当社製の他の機種に添付している Image Express Utility 2.0 の「ミーティングモード」には対応していません。

ダウンロードサービスのご案内

これらのソフトウェアのバージョンアップ情報については、当社プロジェクターのサポートページをご覧ください。

URL: http://www.nec-display.com/dl/jp/pj/soft/lineup.html

動作環境

ここでは、Image Express Utility Lite の動作環境について記載します。その他のソフトウェアについては、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

● Windows

対応 OS	Windows 7 Home Basic Windows 7 Home Premium Windows 7 Professional Windows 7 Ultimate Windows 7 Enterprise Windows Vista Home Basic Windows Vista Home Premium Windows Vista Business Windows Vista Ultimate Windows Vista Enterprise Windows XP HomeEdition（32 ビット版）Service Pack 3 以降 Windows XP Professional（32 ビット版）Service Pack 3 以降 ※Windows の省電力機能には対応していません。
プロセッサ	・ Windows 7 / Windows Vista の場合 Pentium M 1.2 ギガヘルツ相当以上 必須 1.5 ギガヘルツ以上のデュアルコア 推奨 ・ Windows XP の場合 Pentium M 1.0 ギガヘルツ相当以上 必須 1.0 ギガヘルツ以上のデュアルコア 推奨
メモリ	・ Windows 7 / Windows Vista の場合 512 メガバイト以上 必須 1 ギガバイト以上 推奨 ・ Windows XP の場合 256 メガバイト以上 必須 512 メガバイト以上 推奨 ※ 同時に実行するアプリケーションによっては、さらにメモリが必要になる場合があります。
グラフィックプロセッサ	・ Windows 7 / Windows Vista の場合 「Windows エクスペリエンスインデックス」の「グラフィックス」のスコアが 3.0 以上推奨
ネットワーク環境	TCP/IP をサポートした LAN または無線 LAN （※無線 LAN は、Wi-Fi 規格取得品を使用してください）
解像度	・ Windows 7 / Windows Vista の場合 SVGA (800x600) 以上 必須 XGA (1024x768) 推奨 ・ Windows XP の場合 VGA (640x480) 以上 必須 XGA (1024x768) 推奨 （NP-M311WJL/NP-M271WJL の場合は、1024 ドット× 768 ライン～ 1280 ドット× 800 ラインを推奨）
画面の色	High Color (15 ビット、16 ビット) True Color (24 ビット、32 ビット)（推奨） ※ 256 色以下には対応していません。

● Mac OS

対応 OS	Mac OS X v10.6, v10.7
プロセッサ	Intel® Core™ Duo 1.5 ギガヘルツ以上必須 Intel® Core™ 2 Duo 1.6 ギガヘルツ以上推奨 ※ PowerPC® は非対応
メモリ	512 メガバイト以上必須
ネットワーク環境	・TCP/IP をサポートした有線 LAN または無線 LAN 環境必須 ・Mac 本体内蔵無線 LAN のみ動作を保証 ・「かんたん接続」は、無線 LAN のみ対応
解像度	VGA（640 × 480）以上必須 XGA（1024 × 768）推奨 （NP-M311WJL/NP-M271WJL の場合は、1024 ドット× 768 ライン～ 1280 ドット× 800 ラインを推奨）
画面の色	約 1,670 万色カラー必須

2. 映像を投写する（基本操作）

2-1. 映像を投写する流れ

ステップ 1
コンピュータと接続する／電源コードを接続する（次ページ）

ステップ 2
本機の電源を入れる（30 ページ）

ステップ 3
入力信号を選択する（32 ページ）

ステップ 4
投写画面の位置と大きさを調整する（35 ページ）
台形歪みを手動で調整する（38 ページ）

ステップ 5
映像や音声を調整する
・画質を調整する場合（40 ページ）
・本機の音量を調整する場合（41 ページ）

ステップ 6
プレゼンテーションを行う

ステップ 7
本機の電源を切る（42 ページ）

ステップ 8
あとかたづけ（43 ページ）

2-2. コンピュータと接続する／電源コードを接続する

1. コンピュータと接続する

ここでは、コンピュータとの基本的な接続を説明します。他の接続は「6. 機器と接続する」130 ページをご覧ください。

コンピュータ側のディスプレイ出力端子（ミニ D-Sub15 ピン）と、本機のコンピュータ 1 映像入力端子を、添付のコンピュータケーブルで接続しコネクタのツマミを回して固定します。

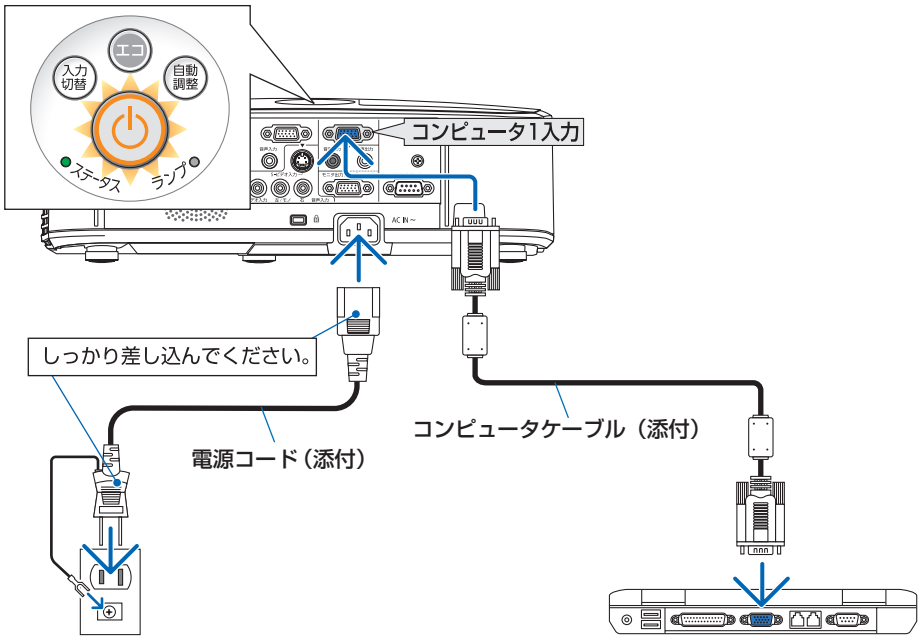
2. 電源コードを接続する

本機の AC IN 端子と、AC100V アース付きのコンセント（アース工事済み）を、添付の電源コードで接続します。

⚠注意	機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。感電の原因となりますので、アース工事は専門業者にご依頼ください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

電源コードを接続すると、本機の電源インジケータが数秒点滅後オレンジ色※に点灯します（スタンバイ状態）。また、ステータスインジケータが緑色※に点灯します。

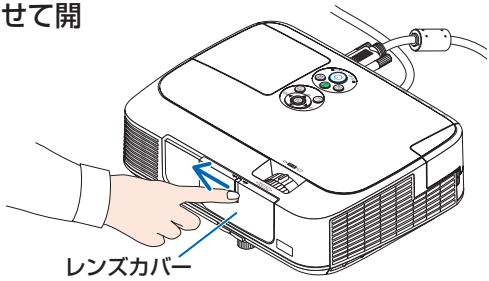
※ いずれもスタンバイモードが「ノーマル」に設定されているときのインジケータ表示です。（171 ページ）



⚠注意	電源を切ったとき、および投写中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

2-3. 本機の電源を入れる

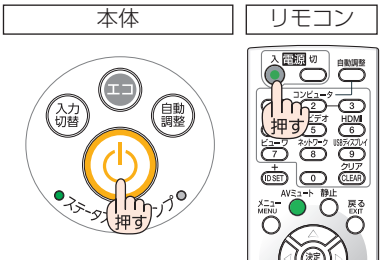
1 レンズカバーを左へスライドさせて開く。

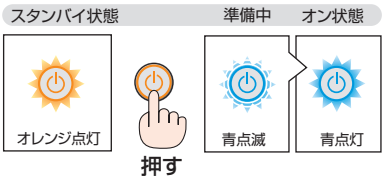


2 ⏻ボタンを押す。

ステータスインジケータが消灯し、しばらくして電源インジケータが点滅し始めます。その後、スクリーンに映像が投写されます。

- リモコンで操作する場合は、電源（入）ボタンを押します。
- 信号が入力されていないときは、無信号ガイダンスが表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。
- 映像がぼやけている場合は、フォーカスリングを回して画面のフォーカスを合わせてください。（37 ページ）





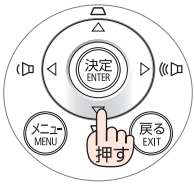
参考

- 「セキュリティロック中です。」が表示されたときは、セキュリティキーワードが設定されています。（50 ページ）
- エコメッセージを表示したときは、エコメッセージの表示が「オン」に設定されています。（114 ページ）
- ⏻ボタンや（メニュー）ボタンなどを押すとビープ音を出します。ビープ音を出したくないときは、オンスクリーンメニューで「オフ」に設定できます。（121 ページ）

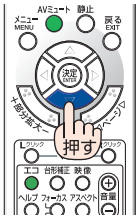
- ご購入後はじめて電源を入れたときはLANGUAGE画面が表示されます。次ページのように操作して「日本語」を選択してください。

❶(▼▲◀▶)ボタンを押して、カーソルを「日本語」に合わせる。

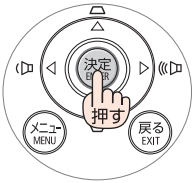
本体



リモコン



❷(決定)ボタンを押す。
オンスクリーンメニューの表示が日本語に設定され、オンスクリーンメニューが消えます。



注意

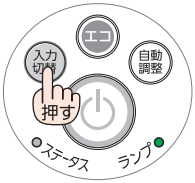
- 投写中に、電源コードを抜いた（ダイレクトパワーオフ）あと、再び電源コードを接続する際は、故障の原因となりますので必ず約 1 秒以上の間隔をあけてください。
- 次のような場合は、⏻ボタンを押しても電源が入りません。
  - 内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って（内部の温度が下がって）から電源を入れてください。
  - ランプの交換時間（目安）※がきた場合は電源が入りません。ランプを交換してください。※保証時間ではありません。
  - ⏻ボタンを押している間にステータスインジケータがオレンジ色に点灯する場合は本体キーロックが設定されています。本体キーロックを解除してください。（116 ページ）
  - 電源を入れてもランプが点灯せず、ステータスインジケータが点滅（6 回周期の点滅）している場合は、1 分以上待って再度電源を入れてください。
- 電源インジケータが青色で短い点滅をしているときは⏻ボタンを押しても電源は切れません（青色で長い点滅はオフタイマーを設定していますので電源は切れます）。
- 電源を入れたとき、ランプが安定して点灯するまで（3 ～ 5 分）映像がちらつく場合があります。これはランプの特性上発生するもので故障ではありません。
- 電源を入れたとき、ランプが明るくなるまで時間がかかる場合があります。
- ランプの消灯直後に電源を入れたときやランプの温度が高いときは、ファンのみが動作後、しばらくたってからスクリーンに映像が投写されます。

2-4. 入力信号を選択する

投写する信号を自動検出する

1 **本機に接続しているコンピュータや DVD プレーヤなどの電源を入れる。**
DVD プレーヤなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

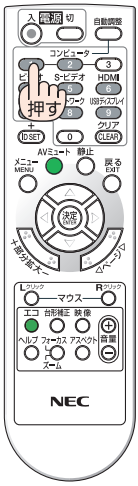
2 **入力切替 ボタンを押す。**
入力端子画面が表示されます。
- コンピュータ 1 →コンピュータ 2 → HDMI → ビデオ→ S- ビデオ→ビューワ→ USB ディスプレイの順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。
- 入力端子画面が表示されているときに、入力切替 ボタンを数回押して、投写したい入力信号を選択することもできます。



リモコンのダイレクトボタンを押して選択する

1 **本機に接続しているコンピュータや DVD プレーヤなどの電源を入れる。**
DVD プレーヤなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

2 **リモコンの コンピュータ1 、コンピュータ2 、ビデオ 、S-ビデオ 、HDMI 、ビューワ 、ネットワーク 、USBディスプレイ 、ボタンを押す。**



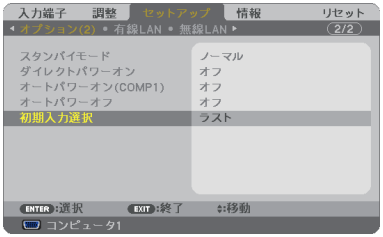
自動的に信号を選択する

入力信号を選択する操作を省略（自動化）することができます。

1 オンスクリーンメニューの「セットアップ」→「オプション (2)」→「初期入力選択」を選択する。

選択画面が表示されます。

・ オンスクリーンメニューの操作については、「5-1. オンスクリーンメニューの基本操作」をご覧ください。（95 ページ）



2 電源を入れたときに自動的に選択する信号を選択し、決定 ボタンを押す。

次回本機の電源を入れたときに自動的に選択される信号として設定されます。

3 戻る ボタンを 3 回押す。

オンスクリーンメニューが消えます。

4 本機の電源を入れなおす。

手順 **2** で設定した信号が自動的に投写されます。

注意

- 初期入力選択を「自動」に設定していてもネットワークは自動検出できません。本機の電源を入れたときに自動的に選択するには、初期入力選択でネットワークを選択してください。

参考

- 本機とコンピュータをコンピュータケーブルで接続し本機をスタンバイ状態にしているとき、コンピュータから出されたコンピュータ信号を感知して自動的に本機の電源を入れてコンピュータ画面を投写することができます（オートパワーオン（COMP1））。（122 ページ）
- 信号が入力されていないときは、無信号ガイダンスが表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。
  DVD プレーヤなどは再生（PLAY）操作をしてください。
- ノートブックコンピュータの画面がうまく投写できない場合
  ノートブックコンピュータの外部出力（モニタ出力）設定を外部に切り替えてください。
  - Windows の場合はファンクションキーを使います。
    Fn キーを押したまま（▁/▭）などの絵表示や（LCD/VGA）の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく(プロジェクターが認識する時間)すると投写されます。
    通常、キーを押すごとに「外部出力」→「コンピュータ画面と外部の同時出力」→「コンピュータ画面」…と繰り返します。
  - Windows 7 の場合は、Windows キーを押したまま「P」キーを押すと、外部出力（モニタ出力）にすることができます。

【コンピュータメーカーとキー操作の例】

Fn + F2	MSI
Fn + F3	NEC、Panasonic、SOTEC、MITSUBISHI、Everex
Fn + F4	HP、Gateway
Fn + F5	ACER、TOSHIBA、SHARP、SOTEC
Fn + F7	SONY、IBM、Lenovo、HITACHI
Fn + F8	DELL、ASUS、EPSON、HITACHI
Fn + F10	FUJITSU

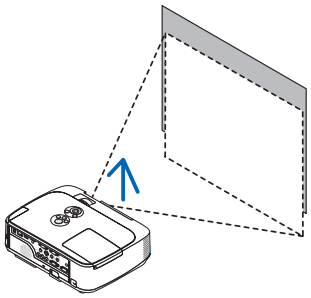
※ 詳しい操作は、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
表に記載されていないメーカーのノートブックコンピュータをお使いの場合は、ノートブックコンピュータのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。

- Apple の MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。
- それでも投写しない場合は本体の（入力切替）ボタンをもう一度押してください。（32 ページ）

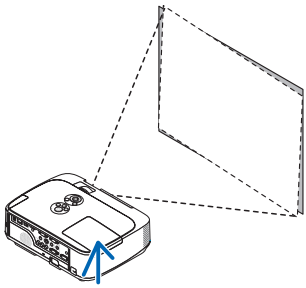
2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する

チルトフット、ズームレバー、フォーカスリングなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

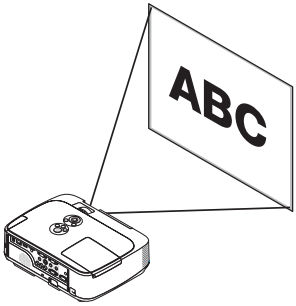
投写角度（投写画面の高低）の調整
【チルトフット】（次ページ）



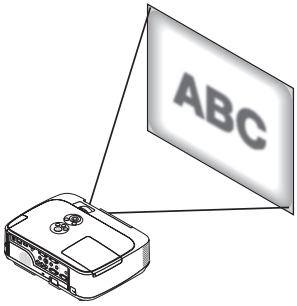
左右の傾きの調整【リアフット】
（次ページ）



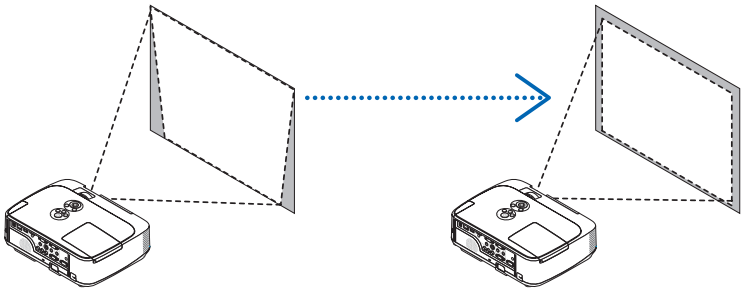
投写画面の大きさの調整【ズームレバー】
（37 ページ）



投写画面のフォーカス調整
【フォーカスリング】（37 ページ）



投写画面の台形歪み補正【台形補正】※



※工場出荷時は、自動で台形補正を行う設定になっています。手動で台形歪みの補正を行う場合は、「2-6. 台形歪みを手動で調整する」をご覧ください。（38 ページ）
※ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

投写角度（投写画面の高低）の調整（チルトフット）

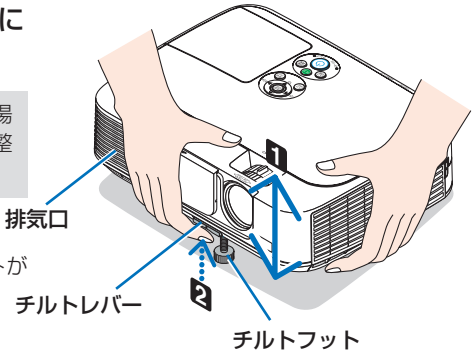
1 **本機の前部を持ち上げスクリーンに合わせる。**

注意

- 投写中は排気口付近が高温になる場合があります。チルトフットの調整の際はご注意ください。

2 **チルトレバーを押し上げる。**

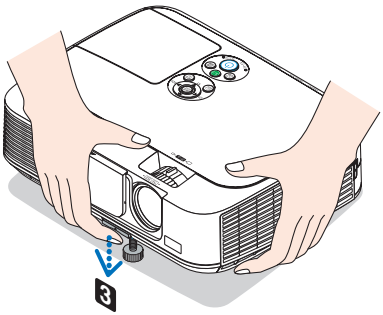
チルトフットのロックが外れ、チルトフットが伸縮します。



3 **角度を固定したいところでチルトレバーから指を離す。**

チルトフットがロックされ、投写角度が固定されます。

- チルトフットは、最大 40mm 伸ばすことができます。
- チルトフットにより、本機を最大 10° 傾けることができます。
- チルトフットを指で回すと高さの微調整ができます。



注意

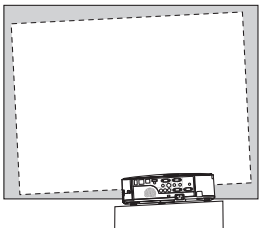
- チルトフットは、本機の投写角度調整以外の用途には使用しないでください。チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

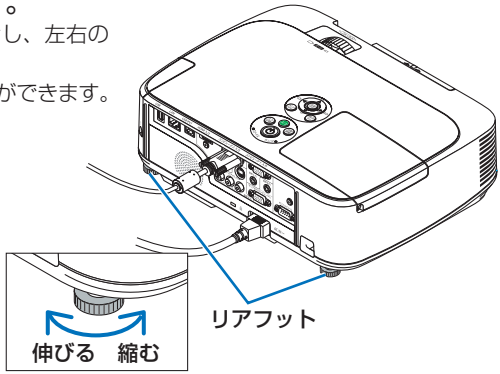
投写画面の左右の傾き調整（リアフット）

1 **右または左のリアフットを回す。**

リアフットを回すと、リアフットが伸縮し、左右の傾きを調整できます。

- リアフットは、最大 12mm 伸ばすことができます。



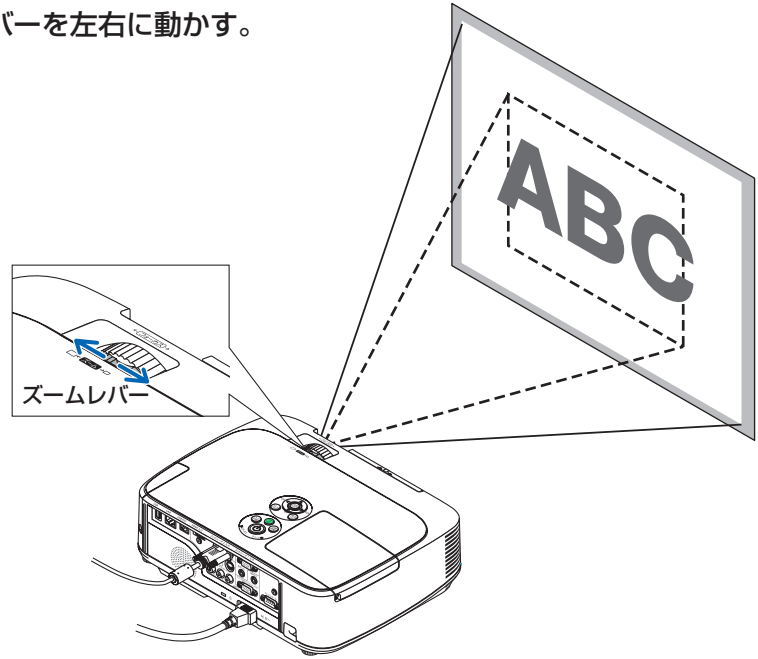


注意

- リアフットは 12mm 以上伸ばさないでください。12mm を超えるとリアフットの取り付け部分が不安定になり、リアフットが本体から外れます。
- プロジェクターの使用が終わったら、リアフットの長さをもとに戻してください。

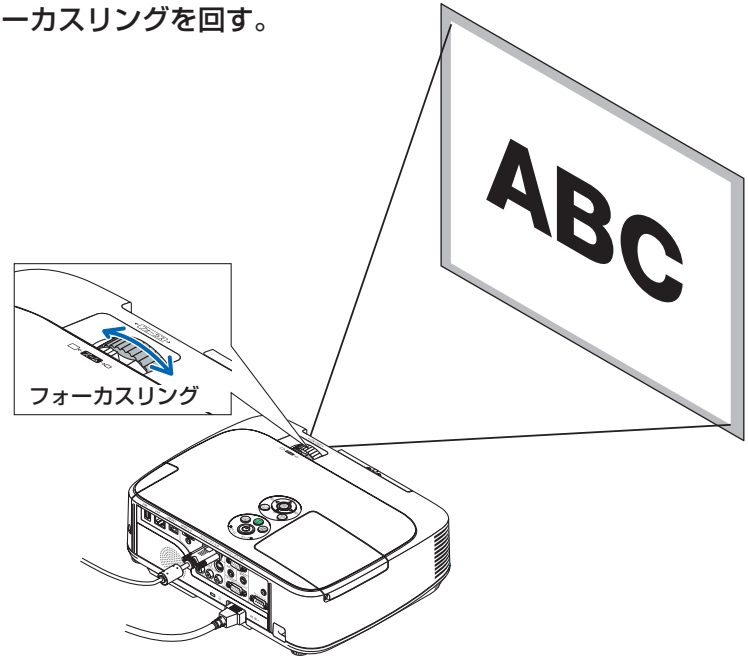
投写画面の大きさの調整（ズームレバー）

1 ズームレバーを左右に動かす。



投写画面のフォーカス合わせ（フォーカスリング）

1 フォーカスリングを回す。



2-6. 台形歪みを手動で調整する

通常、投写画面は、スクリーンに対して垂直に投写されないと、台形の歪みが生じます。このため、投写角度を調整すると、上下方向に傾きが生じ、画面が歪むことになります。本機の工場出荷時は、本体の前後方向の傾きを感知し、自動的に台形歪みを補正する設定になっています。（自動台形補正）
ここでは、投写画面の台形歪みを手動で調整する手順を説明します。

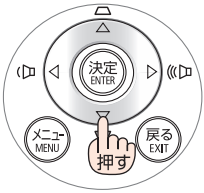
注意

- 台形補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。
- 入力信号の種類およびアスペクトの設定によっては調整範囲が狭くなる場合があります。
- 自動台形補正は、ズームレバーの位置により、最適な状態に調整されない場合があります。この場合は手動で調整を行ってください。

本体の操作ボタンで調整する

1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに、本体の（▼/▲）ボタンを押す。

台形補正調整バーが表示されます。



2 （▼/▲）ボタンを押して、台形歪みを調整する。

投写画面の左右が垂直になるように調整します。

3 （決定）ボタンを押す。

台形補正調整バーが消え、台形補正が決定されます。

参考

- 投写画面にオンスクリーンメニューが表示されている場合は本体の操作ボタンによる台形補正はできません。この場合は、（メニュー）ボタンを押してオンスクリーンメニューを閉じてから操作を行います。
- 台形補正は、オンスクリーンメニューのセットアップ→全般→台形補正からも行えます。なお、手動で調整した値は、台形補正保存で保存しておくことができます。（111 ページ）

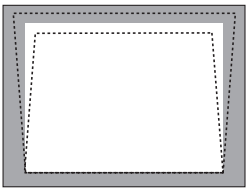
リモコンを使って調整する

1 台形補正 **ボタンを押す。**

台形補正調整バーが表示されます。

2 ◀/▶ **ボタンを押して、台形歪みを調整する。**

投写画面の左右が垂直になるように調整します。



3 決定 **ボタンを押す。**

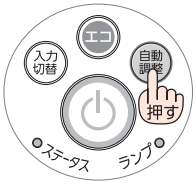
台形補正調整バーが消え、台形補正が決定されます。

2-7. コンピュータの映像を自動調整する

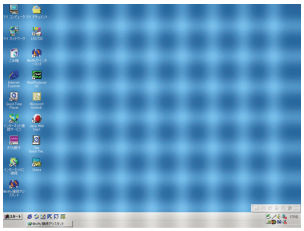
コンピュータ 1 およびコンピュータ 2 の信号を投写している場合、投写画面の端が切れていたり、映りが悪いときに、ワンタッチで画質を調整します。

1 **(自動調整) ボタンを押す。**
しばらくすると投写画面の表示が自動調整されます。

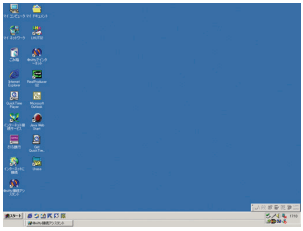
本体



リモコン



【映りが悪い画面の例】



【自動調整後の画面の例】

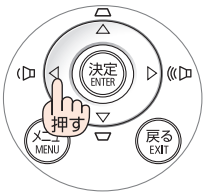
参考

- 自動調整を行っても表示位置がずれていたり、画面に縦縞が出たりして映りが悪い場合は、オンスクリーンメニューのクロック周波数、位相、水平、垂直で画面の調整を行ってください。(106, 107 ページ)
- コンピュータの画面がうまく投写できない場合は、169 ページを参照してください。

2-8. 本機の音量を調整する

本機の内蔵スピーカの音量、および音声出力端子から出力されている音声信号の音量を調整します。

本体の操作ボタンで調整する



1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに、◀/▶ボタンを押す。

音量調整バーが表示されます。

((側…音量が大きくなります。

(側…音量が小さくなります。

注意

- オンスクリーンメニューが表示されているとき、部分拡大＋ボタンで画面を拡大しているとき、およびビューワ表示中は、◀/▶ボタンを使った音量調整はできません。

リモコンを使って調整する

1 リモコンの 音量 +/− ボタンを押す。

音量調整バーが表示されます。

＋側…音量が大きくなります。

－側…音量が小さくなります。

参考

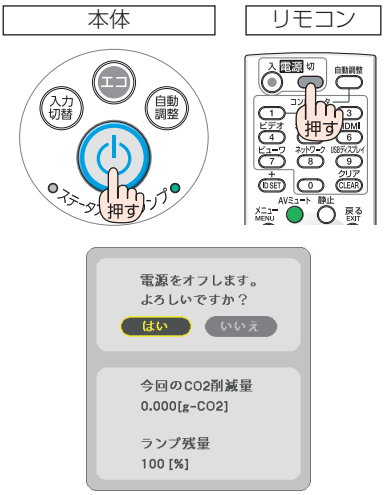
- ビープ音の音量は調整できません。ビープ音を出したくない場合は、オンスクリーンメニューのセットアップ→オプション (1) のビープ音を「オフ」にしてください。(121 ページ)

2-9. 本機の電源を切る

1 ⏻ **ボタンを押す。**

画面に電源オフ確認メッセージが表示されます。

- 電源オフ確認メッセージには今回の CO_2 削減量(48 ページ)と、ランプ残量を表示します。
- リモコンで操作する場合は、電源 (切) ボタンを押します。

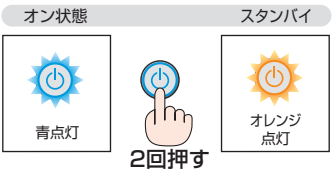


2 (決定) **ボタンを押す。**

ランプが消灯し、電源が切れスタンバイ状態になります。

スタンバイ状態になると、電源インジケータがオレンジ色で点灯します。また、ステータスインジケータが緑色で点灯します。(いずれもスタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)

- (決定) ボタンの代わりに、⏻ボタンまたは電源 (切) ボタンを押しても、電源が切れます。
- 電源を切らない場合は、(◀/▶) ボタンで「いいえ」を選んで (決定) ボタンを押します。



⚠注意 投写中および冷却ファン回転中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

注意

- 電源インジケータが青色で短い点滅をしているときは電源を切る操作をしても電源は切れません。
- 電源を入れてスクリーンに映像が投写されてからの約 1 分間は、電源を切ることができません。
- 各種の調整を行い調整画面を閉じたあと約 10 秒間は、AC 電源を切断しないでください。この間に AC 電源を切断すると、調整値が初期化されることがあります。

2-10. あとかたづけ

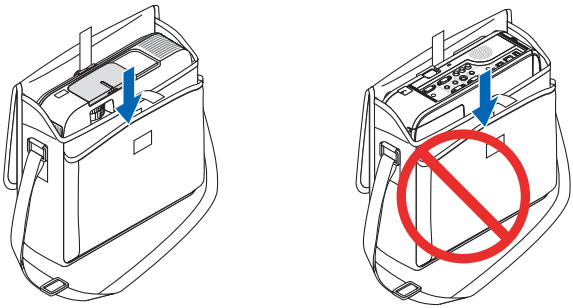
1 電源コードを取り外す。

2 各種信号ケーブルを取り外す。
- 本機に USB メモリを挿している場合は取り外してください。

3 チルトフットおよびリアフットを伸ばしていたら、もとに戻す。
- レンズ面には手を触れないでください。

4 レンズカバーを右へスライドさせて閉じる。

5 本機および添付品をソフトケースに収納する。
本機をソフトケースに収納するときは、次の図のようにレンズカバーのある面が上を向くように収納してください。



注意
- 本機をソフトケースに収納するときは、チルトフットおよびリアフットを縮めてください。故障の原因となります。

⚠注意	本機の電源を切ったあとすぐに収納すると、本体がしばらく高温になります。取り扱いに注意してください。

3. 便利な機能

3-1. 映像と音声を消去する（AV ミュート）

1 リモコンの（AVミュート）ボタンを押す。

投写されている映像と、内蔵スピーカおよび音声出力端子から出力されている音声が一時的に消えます。

また、AV ミュートにしてしばらくすると、節電機能が働き、ランプ電力が低下します。

・もう一度（AVミュート）ボタンを押すと、映像と音声が出ます。

注意

- ビープ音は（AVミュート）ボタンを押しても消えません。
  ビープ音を出したくない場合は、オンスクリーンメニューのセットアップ→オプション（1）のビープ音を「オフ」にしてください。（121 ページ）
- 節電機能が働いた直後に（AVミュート）ボタンを押すと、すぐに明るさが戻らない場合があります。

参考

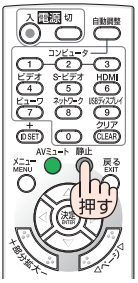
- 映像は消えますが、メニュー表示は消えません。

3-2. 動画を静止画にする（静止）

1 リモコンの（静止）ボタンを押す。

DVD プレーヤの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。

・ もう一度（静止）ボタンを押すと、動画に戻ります。



参考

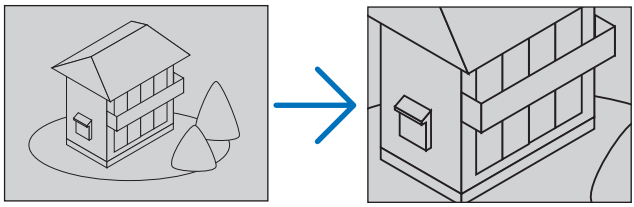
- （静止）ボタンを押すと、押すときに投写されていた映像を本機のメモリに保存し、メモリ内の映像（静止画）を投写します。静止画表示中、DVD プレーヤなどの映像再生は先に進行しています。

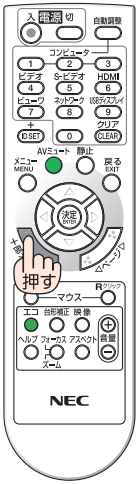
3-3. 映像の一部を拡大する (部分拡大)

1 **リモコンの（部分拡大＋）ボタンを押す。**

押すごとに映像が拡大します。

・最大 4 倍まで拡大できます。





2 **（▼▲◀▶）ボタンを押す。**

拡大した映像の表示領域が移動します。

3 **（部分拡大－）ボタンを押す。**

押すごとに映像が縮小します。

・ もとのサイズに戻ると、それ以上押しても縮小されません。

注意

- 信号によっては、4 倍まで拡大できない場合があります。

参考

- 拡大および縮小は、画面中央を中心にして拡大および縮小します。
- 映像を拡大しているときにオンスクリーンメニューを表示すると、拡大は解除されます。

3-4. エコモードと省エネ効果

エコモードを設定すると、本機の CO_2 排出量を削減することができます。エコモードは主にランプの輝度を下げて消費電力を削減したり、ランプ交換時間（目安）※を延ばしたりします。

エコモードの設定 （メニュー下部のアイコン表示）	ランプの輝度	ランプインジケータの状態
オフ（表示なし）	ランプの輝度（明るさ）が 100%になります。 明るい画面になります。	消灯
オートエコ（ ）	映像の明るさを判定してランプの輝度を自動で「オフ」または「エコ 1」に切り替えます。	
エコ 1（ ）	ランプの輝度（明るさ）が次のようになります。 ・ NP-M361XJL/NP-M311WJL …… 約 75% ・ NP-M311XJL/NP-M271XJL/NP-M271WJL …… 約 80% ランプ電力を下げることにより、ランプ交換時間（目安）※が延びます。	点灯
エコ 2（ ）	ランプ輝度（明るさ）が約 60%になります。 ランプの状態に最適なランプ電力コントロールを行い、ランプ交換時間（目安）※がさらに延びます。最大でエコ 1 相当の電力になります。	

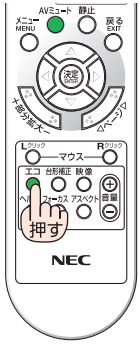
エコ 1 ／エコ 2 を選択するとランプ交換時間（目安）※が延びます。
ランプの輝度（明るさ）が下がるのと連動し、冷却ファンの回転数も下がります。
※：保証時間ではありません。

エコモードに切り替える

1 **エコボタンを 1 回押す。**
エコモード選択画面が表示されます。

本体

リモコン



2 さらに(エコ)ボタンを押して選択する。

(エコ)ボタンを押すごとに オートエコ→エコ1→エコ2→オフに切り替わり、エコモード選択画面が消えて、選択したモードに切り替わります。

注意

- オートエコを設定すると、映像によっては明るい階調が見えにくくなる場合があります。

参考

- オンスクリーンメニューのセットアップ→全般→エコモードでも切り替えることができます。
- 電源を入れたとき、エコモードの設定状態を画面表示で知らせるエコメッセージ機能があります。オンスクリーンメニューのセットアップ→メニュー設定→エコメッセージで設定します。(114 ページ)
- ランプ残量／ランプ使用時間については、オンスクリーンメニューの情報→使用時間で確認できます。(127 ページ)
- 電源を入れた直後の約 90 秒間は、常にエコ1 モードになります。また、この間はエコモードの設定を変更しても、状態は変わりません。
- 本機に入力信号がない状態（無信号ガイダンス、ブルーバック、ブラックバック、またはロゴ表示のとき）のまま約 1 分経過すると、自動的にエコモードに切り替わりランプインジケータが緑点灯します。その後、本機が入力信号を感知するとエコモードはもとの設定状態に戻ります。
- 室温が高いことにより本機内部の温度が上昇すると、一時的にランプの輝度（明るさ）を下げることがあります。これは、本機の保護機能の一つで「強制エコモード」と呼びます。

  強制エコモードになると、画面が少し暗くなり、メニュー画面の右下に「」アイコンが表示されます。

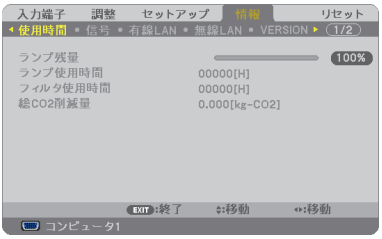
  室温を下げたり、ファンモード(119 ページ)を「高速」に設定したりすることにより、本機内部の温度が下がると、強制エコモードは解除され、エコモードはもとの設定状態に戻ります。

  強制エコモード中は、エコモードの設定を変更しても、状態は変わりません。

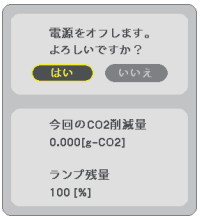
省エネ効果を見る（カーボンメータ）

本機のエコモードを「オン」に設定している期間の省エネ効果を CO_2 排出削減量で表示します。この表示を「カーボンメータ」と呼びます。

表示には「総 CO2 削減量」と「今回の CO2 削減量」があります。
「総 CO2 削減量」は本機の工場出荷時から現在までの CO_2 削減量（kg）を累積し、メニューの情報→使用時間に表示します。（127 ページ）



「今回の CO2 削減量」は電源を入れてエコモードに切り替わってから電源を切るまでの CO_2 削減量（g）を、電源オフ時に表示される電源オフ確認メッセージ内に表示します。



参考

- CO_2 排出削減量は、エコモードを「オフ」に設定して使用したときの消費電力量（推定）から、実際に使用したときの消費電力量（推定）を差し引き、CO_2 排出係数を掛けて算出※します。
  エコモードを設定して使用したり AV ミュートを使用すると、CO_2 排出削減量の値は増加します。
  ※ CO_2 削減量は、OECD（経済協力開発機構）から出版されている“CO2 Emissions from Fuel Combustion (2008 Edition)”に基づいて算出しています。
- 「総 CO2 削減量」は 15 分単位で記録された値をもとにしています。
- スタンバイモードなどエコモードの設定に左右されない消費電力は計算から除外します。

3-5. セキュリティを設定して無断使用を防止する

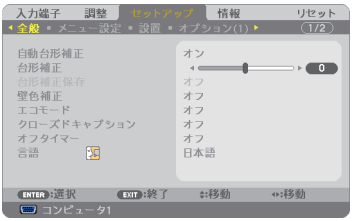
セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。
セキュリティを有効に設定すると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ投写できなくなります。

注意 ● セキュリティは、リセットでは解除されません。

セキュリティを有効にする

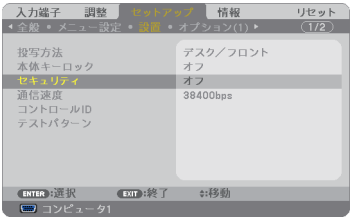
1 (メニュー)ボタンを押す。
オンスクリーンメニュー画面が表示されます。

2 (▶)ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
「全般」にカーソルが移動します。



3 (▶)ボタンを押して「設置」にカーソルを合わせる。

4 (▼)ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
セキュリティ設定画面に変わります。



5 (▼)ボタンで「オン」を選択し、(決定)ボタンを押す。
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。

6 (▼▲◀▶)ボタンの組み合わせでセキュリティキーワードを入力し、(決定)ボタンを押す。
入力したセキュリティキーワードは「*」で表示されます。
セキュリティキーワードは 4 個以上 10 個以下の組み合わせで設定してください。

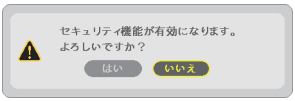
重要

- セキュリティキーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

セキュリティキーワードの再入力画面が表示されます。

7 **6で設定したセキュリティキーワードを再入力し、(決定)ボタンを押す。**

確認画面が表示されます。



8 **(◀)ボタンで「はい」を選択し、(決定)ボタンを押す。**

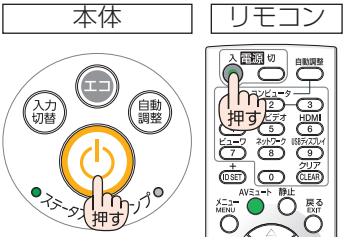
セキュリティが有効になります。

セキュリティを有効にしているときの電源の入れかた

1 **(⏻)ボタンを押す。**

・リモコンで操作する場合は、電源(入)ボタンを押します。

本機の電源が入り、「セキュリティロック中です。キーワードを入力してください。」のメッセージが表示されます。



2 **(メニュー)ボタンを押す。**

セキュリティキーワード入力画面が表示されます。

3 **セキュリティキーワードを入力し、(決定)ボタンを押す。**

入力したセキュリティキーワードは「＊」で表示されます。

セキュリティロックが一時的に解除され、選択している信号が投写されます。

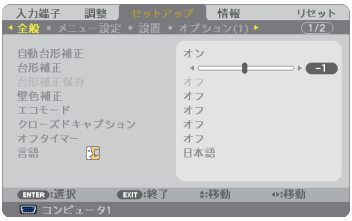
注意

- セキュリティロックの解除状態は、電源コードを抜くまで保持されます。

セキュリティを無効にする

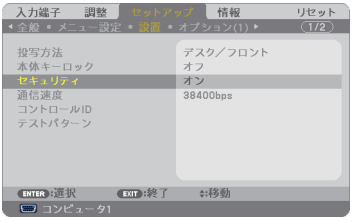
1 (メニュー)**ボタンを押す。**
メニュー画面が表示されます。

2 (▶)**ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、**(決定)**ボタンを押す。**
「全般」にカーソルが移動します。



3 (▶)**ボタンを押して「設置」にカーソルを合わせる。**

4 (▼)**ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、**(決定)**ボタンを押す。**
セキュリティ設定画面に変わります。



5 (▲)**ボタンで「オフ」を選択し、**(決定)**ボタンを押す。**
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。

6 セキュリティキーワードを入力し、(決定)**ボタンを押す。**
入力したセキュリティキーワードは「*」で表示されます。
セキュリティが無効になります。

参考

- キーワードを忘れてしまいセキュリティを解除できなくなった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（裏表紙）にご連絡ください。

3-6. コンピュータケーブルを使って本機を操作する（Virtual Remote Tool）

添付の NEC Projector CD-ROM に収録しているユーティリティソフト Virtual Remote Tool を使用すると、コンピュータの画面に Virtual Remote 画面（リモコンウインドウまたはツールバー）を表示し、コンピュータケーブルを介して通信を行い、プロジェクターの電源の入／切や信号切り替えなどの操作ができます。
また、画像をプロジェクターへ送信して、バックグラウンドロゴとして登録することができます。登録後は、ロックをかけてロゴの書き換えを防止できます。

【Virtual Remote 画面】

リモコンウインドウ

●主な制御機能
- 電源の入／切
- 入力信号切替
- 映像・音声のミュート
- 投写中の動画を静止する
- プロジェクターへロゴ画像を送信する

その他、コンピュータの画面上でのリモコン操作

ツールバー

ここでは、Virtual Remote Tool を使用するまでの流れを説明します。Virtual Remote Tool の詳しい操作については、Virtual Remote Tool のヘルプをご覧ください。
（57 ページ）

ステップ①：Virtual Remote Tool をコンピュータにインストールする（次ページ）

ステップ②：プロジェクターとコンピュータを接続する（55 ページ）

ステップ③：Virtual Remote Tool を起動する（56 ページ）

注意

- 信号選択で「コンピュータ 1」を選択しているときは、コンピュータの画面とともに Virtual Remote 画面も表示されます。
- Virtual Remote Tool を使用するときは、添付のコンピュータケーブルを使って、コンピュータ 1 映像入力端子とコンピュータの映像出力端子を直接接続してください。市販のコンピュータケーブルを使用したりスイッチャなどの機器を介すると、通信が正常に行えないことがあります。
- 接続するコンピュータの仕様、およびグラフィックアダプタやドライバのバージョンによっては動作しない場合があります。
- Virtual Remote Tool を使って送信できるロゴデータ（画像）には以下の条件があります。
  ＊ファイルサイズ：1 メガバイト未満
  ＊画像サイズ：NP-M361XJL/NP-M311XJL/NP-M271XJL ･･･水平 1024 ドット，垂直 768 ドット以内
  NP-M311WJL/NP-M271WJL ･･･水平 1280 ドット，垂直 800 ドット 以内
  ＊色数：256 色以内
- ロゴ画像の送信は、LAN またはシリアル接続のときに行えます。コンピュータケーブル接続時にはできません。

参考

- 本機のコンピュータ 1 映像入力端子は、プロジェクターやディスプレイとコンピュータ間で各種設定に関する情報を通信する際に用いられる国際規格「DDC/CI」に対応しています。
- Virtual Remote Tool は、ネットワーク（有線 LAN ／無線 LAN）およびシリアル接続での制御も可能です。ただし、USB 接続には対応していません。

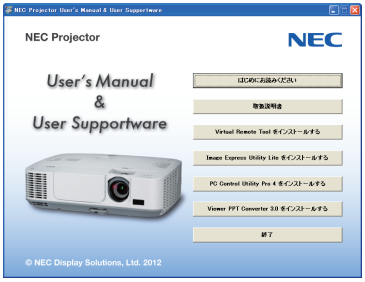
ステップ①：Virtual Remote Tool をコンピュータにインストールする

注意

- ソフトウェアのインストール／アンインストールは、Windows 7/Windows Vista の場合「管理者」権限、Windows XP の場合「コンピュータの管理者」権限で行ってください。
- インストールを行う前に、起動しているアプリケーションソフトをすべて終了してください。他のアプリケーションソフトが起動していると、インストールが正常に終了しない場合があります。

1 添付の NEC Projector CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

メニューウィンドウが表示されます。



参考

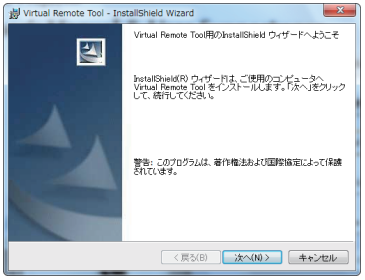
メニューウィンドウが表示されないときは、次の手順を行ってください。
（※ Windows 7 のときの例）

1. Windows の［スタート］をクリックする。
2. ［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［ファイル名を指定して実行］をクリックする。
3. ［名前 (O)］に CD-ROM ドライブ名 *1（例：「Q:¥」）と［LAUNCHER.EXE］を続けて入力する。（例：Q:¥LAUNCHER.EXE）
   *1 CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。
4. ［OK］をクリックする。
   メニューウィンドウが表示されます。

2 メニューウィンドウの［Virtual Remote Tool をインストールする］をクリックする。

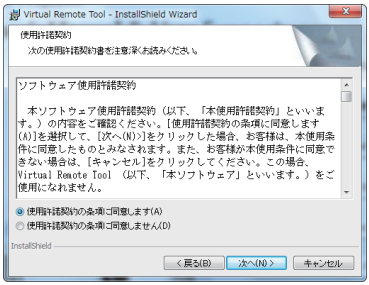
インストールの準備が始まります。

インストールの準備が終了すると、「ようこそ」ウィンドウが表示されます。



3 「次へ (N)>」をクリックする。

「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。
「ソフトウェア使用許諾契約」の内容をよくお読みください



4 同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します (A)」をクリックし、「次へ (N)>」をクリックする。

・以降は、画面のメッセージに従って操作してください。
・インストールが完了すると、メニューウィンドウに戻ります。

注意

● インストール先のフォルダを選択する画面で「デスクトップにショートカットを作成する (D)」をクリックしてチェックマークを外した場合、ショートカットは表示されません。

参考

● Virtual Remote Tool のアンインストール方法

準備：アンインストールの前に、Virtual Remote Tool を終了してください。
アンインストールの際は、Windows Vista は「管理者」権限、Windows XP は「コンピュータの管理者」権限で行ってください。

◆ Windows 7/Windows Vista の場合

1 「スタート」→「コントロールパネル」の順にクリックする。
コントロールパネル画面が表示されます。

2 「プログラム」の下の「プログラムのアンインストール」をクリックする。
プログラムと機能画面が表示されます。

3 一覧からアンインストールしたいプログラムをクリックする。

4 「アンインストールと変更」または「アンインストール」をクリックする。

・ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「続行 (C)」ボタンをクリックします。

以降は、画面のメッセージに従って操作してください。

◆ Windows XP の場合

1 「スタート」→「コントロールパネル」の順にクリックする。
コントロールパネル画面が表示されます。

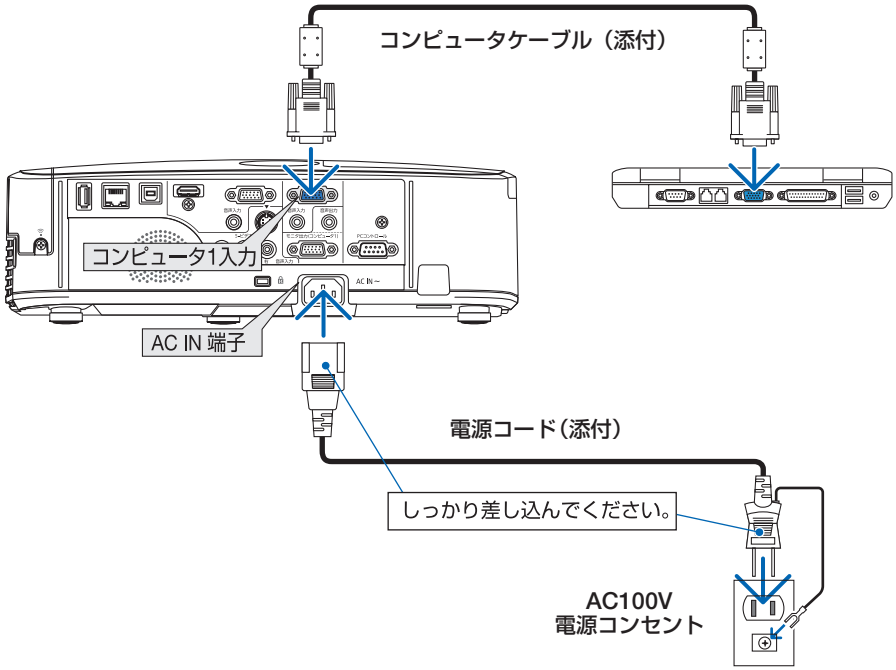
2 「プログラムの追加と削除」をダブルクリックする。
プログラムの追加と削除画面が表示されます。

3 一覧からアンインストールしたいプログラムをクリックし、「削除」をクリックする。
以降は、画面のメッセージに従って操作してください。

ステップ②：プロジェクターとコンピュータを接続する

1 プロジェクターのコンピュータ 1 映像入力端子とコンピュータのディスプレイ出力端子を添付のコンピュータケーブルで接続する。

2 プロジェクターの AC IN 端子と AC100V のコンセントを添付の電源コードで接続する。
プロジェクターがスタンバイ状態になります。



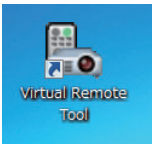
参考

- Virtual Remote Tool を最初に起動すると、かんたんセットアップ画面で機器の接続をガイドします。
- Virtual Remote Tool では、コンピュータ 1 映像入力端子の 12 ピンと 15 ピンを使用しています。（165 ページ）

ステップ③：Virtual Remote Tool を起動する

◆ ショートカットアイコンから起動する

Windows のデスクトップ上のショートカットアイコン をダブルクリックする。



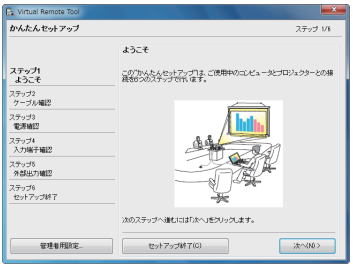
◆ スタートメニューから起動する

「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「Virtual Remote Tool」→「Virtual Remote Tool」の順にクリックする。

起動すると……

最初に起動したときは、かんたんセットアップ画面が表示されます。

以降は、画面のメッセージに従って操作してください。



かんたんセットアップを終了すると、Virtual Remote 画面が表示されます。

注意

- オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「省電力」に設定していると、コンピュータケーブルおよびネットワーク（有線 LAN ／無線 LAN）を介してプロジェクターの電源を ON する操作ができません。

参考

- かんたんセットアップ画面を表示せずに Virtual Remote 画面を表示することができます。
  かんたんセットアップ「ステップ 6」画面の「□次回からかんたんセットアップを使用しない。」をクリックし、チェックマークを付けてください。

次ページに続く

● Virtual Remote Tool の終了方法

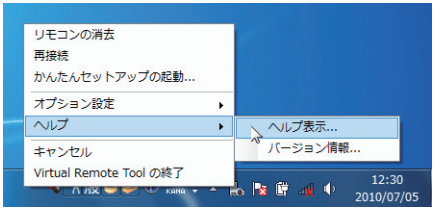
1 タスクトレイの Virtual Remote Tool アイコン をクリックする。
ポップアップメニューが表示されます。

2 「Virtual Remote Tool の終了」をクリックする。
Virtual Remote Tool が終了します。

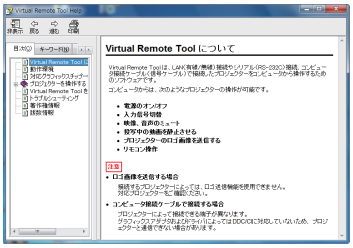
● Virtual Remote Tool のヘルプ表示方法

◆タスクトレイから表示する

1 Virtual Remote Tool が起動しているときに、タスクトレイの Virtual Remote Tool アイコン をクリックする。
ポップアップメニューが表示されます。



2 「ヘルプ」→「ヘルプ表示」をクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。



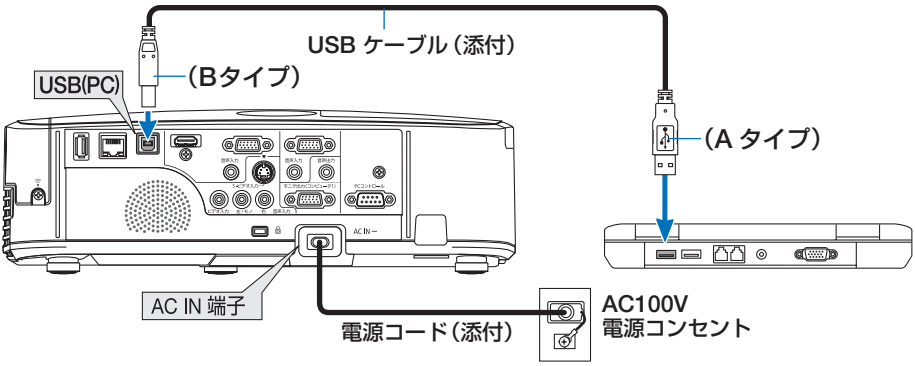
◆スタートメニューから表示する

1 「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「Virtual Remote Tool」→「Virtual Remote Tool Help」の順にクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

3-7. USBケーブルを接続して本機のリモコンでコンピュータのマウス操作を行う（リモートマウス）

添付の USB ケーブルを使ってコンピュータと本機を接続すると、本機のリモコンでコンピュータのマウス操作を行うことができます。

- 入力端子でコンピュータ 1 またはコンピュータ 2 を選択してコンピュータの画面を表示しているときに働きます。ただし、静止や部分拡大をしているときは働きません。
- USB ケーブルを使ってコンピュータと本機を接続すると、USB ディスプレイも起動します。（59 ページ）



注意

- リモートマウスは、次の OS において使用できます。
  Windows 7/Windows Vista/Windows XP
- Windows XP の SP2 より前のバージョンで使用する場合は、「マウスのプロパティ」内の「ポインタオプション」タブの「ポインタの精度を高める」のチェックボックスをオフに設定してください。
- コンピュータの USB ポートから USB ケーブルのプラグを抜いて、再び差し込む場合は、抜いたあと 5 秒以上おいてから差し込んでください。瞬間的なプラグの抜き差しを行うと、コンピュータが USB ケーブルを正しく認識できないことがあります。
- USB ケーブルを接続する際は、コンピュータを起動している状態で行ってください。コンピュータと本機を USB ケーブルで接続したあとコンピュータを起動すると、コンピュータが起動しないことがあります。

リモコンを使ったコンピュータのマウス操作

リモコンで以下のマウス操作ができます。

- 〔ページ ▽/△〕ボタン..... 画面を上下にスクロールしたり、PowerPoint の画面を切り替えます。
- 〔▼▲◀▶〕ボタン ..... マウスポインタを移動します。
- 〔マウス L クリック〕ボタン、〔決定〕ボタン.... マウスの左クリックの働きをします。
- 〔マウス R クリック〕ボタン..... マウスの右クリックの働きをします。

参考

- マウスポインタの動く速さは、Windows の「マウスのプロパティ」で調節することができます。詳しくは、コンピュータのオンラインヘルプまたは取扱説明書をご覧ください。

3-8. USB ケーブルを経由して画像を投写する（USB ディスプレイ）

添付の USB ケーブルを使ってコンピュータとプロジェクターを接続すると、コンピュータの画面をプロジェクターへ伝送して投写することができます。コンピュータケーブルは必要ありません。
また、コンピュータ側から、プロジェクターの電源の入／切や信号切替などの操作を行うことができます。

注意

- USB ディスプレイは、NEC Projector CD-ROM に収録しているユーティリティソフト Image Express Utility Lite の機能を利用しています。（74 ページ）
  お使いのコンピュータに Image Express Utility Lite がインストールされていない場合は、プロジェクター本体に内蔵している Image Express Utility Lite を自動的に起動します。その場合、Image Express Utility Lite はコンピュータにインストールされません。
- Windows XP では「コンピュータの管理者」権限のみ、USB ディスプレイが使用できます。
- USB ディスプレイ使用中は、コンピュータ 2 音声入力端子に入力している音声が出力されます。ただし、映像と音声は同期しないことがあります。

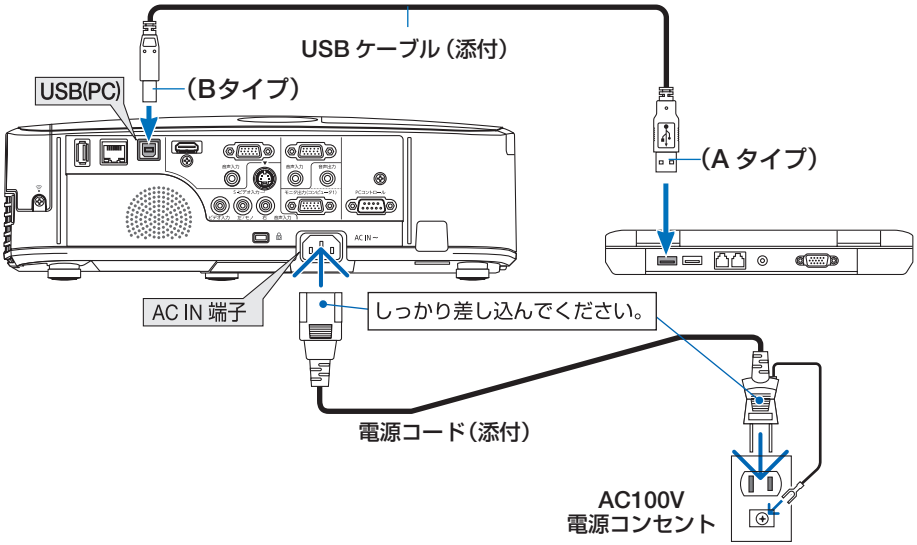
1 コンピュータを起動する。

2 プロジェクターの電源コードをコンセントに接続し、プロジェクターをスタンバイ状態にする。

・プロジェクターのレンズカバーを開いてください。

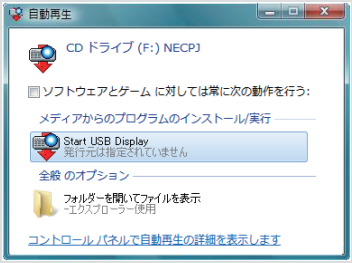
3 コンピュータとプロジェクターを USB ケーブルで接続する。

コンピュータの画面に「プロジェクターがスタンバイです。接続しますか？」と表示されます。
・画面の上部に Image Express Utility Lite のコントロールウィンドウが表示されます。



注意

- プロジェクターがスタンバイ状態のときに USB ケーブルを接続する場合は、プロジェクターのスタンバイモードが「省電力」に設定されていると、USB ディスプレイは起動しません。その場合はプロジェクターのスタンバイモードを「ノーマル」に切り替えてください。
- コンピュータ本体の設定によっては、プロジェクターとの接続を検出した際に、「自動再生」ウィンドウを表示する場合があります。「自動再生」ウィンドウが表示されたときは「Start USB Display」をクリックしてください。



4 「はい (Y)」をクリックする。

プロジェクターの電源が入り、画面に「プロジェクターを準備中です。しばらくお待ちください。」と表示されます。
しばらくすると、このウィンドウは自動的に消えます。

5 コントロールウィンドウを操作する。

名称	説　明
① （入力）	プロジェクターの入力信号を切り替えます。
② （映像）	ブランク（映像消去）、フリーズ（静止画）表示、GCT（幾何学補正）が行えます。 GCT（幾何学補正）については、76 ページをご覧ください。
③ （音声）	ミュート（音声消去）、再生、音量の調整が行えます。
④ （その他）	更新、HTTP サーバ (注)、設定、情報が行えます。 (注) HTTP サーバは、USB ケーブル接続時は選択できません。
⑤ （終了）	Image Express Utility Lite を終了します。同時にプロジェクターの電源を切ることもできます。
⑥ （ヘルプ）	Image Express Utility Lite のヘルプを表示します。

注意

- USB ディスプレイのコントロールウィンドウで （ヘルプ）をクリックしたとき、英語のヘルプが表示されることがあります。日本語のヘルプを表示するには、NEC Projector CD-ROM から Image Express Utility Lite をコンピュータにインストールしてください。

3-9. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作

概要

HTTP サーバ機能では次の設定や操作が行えます。

(1) 本機をネットワーク（有線 LAN ／無線 LAN）に接続するための設定を行います（NETWORK SETTINGS）。
無線 LAN を利用する場合は、あらかじめ別売の無線 LAN ユニットをお買い求めのうえ、本機に装着してください。（139 ページ）
有線 LAN ／無線 LAN の設定をする場合は、本機とコンピュータを市販の LAN ケーブルで接続してください。（138 ページ）

(2) メール通知の設定を行います（ALERT MAIL）。
本機をネットワーク（有線 LAN ／無線 LAN）に接続しているときに、ランプの交換時期や各種エラーを、設定したメールアドレスへ通知します。

(3) 本機の操作を行います。
本機の電源のオン／オフ、入力端子の切り替え、音量調整、映像調整などが行えます。

(4) PJLink PASSWORD や AMX BEACON などの設定を行います。

HTTP サーバ機能へのアクセスは、次の 2 つの方法があります。

- 本機とネットワークで接続されたコンピュータでウェブブラウザを起動し、アドレスまたは URL の入力欄へ http://〈本機の IP アドレス〉/index.html と指定する。
- 添付の NEC Projector CD-ROM に収録している Image Express Utility Lite を使用する。

参考

- 工場出荷時の IP アドレス設定は、DHCP が「オン」になっています。

注意

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
また続けてボタン操作を行うとプロジェクターが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作を行ってください。しばらく待っても応答がない場合は、本機の電源を入れなおしてください。
- ウェブブラウザでネットワーク設定画面が表示されない場合は、Ctrl +F5 キーを押してウェブブラウザの画面表示を更新してください。
- 本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザに対して行ってください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。

使用前の準備

ウェブブラウザによる操作を行う前にあらかじめ本機に市販の LAN ケーブルを接続してください。（138 ページ）
プロキシサーバの種類や設定方法によっては、プロキシサーバを経由したウェブブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ウェブブラウザから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバはできるだけ使用しないことを推奨します。

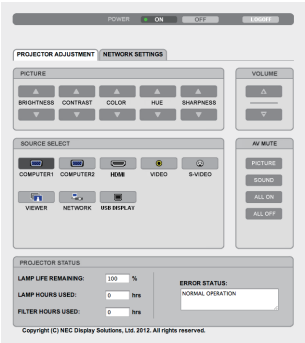
ウェブブラウザによる操作のアドレスの扱い

ウェブブラウザによる操作に際しアドレスまたは URL 欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメインネームサーバへ本機の IP アドレスに対するホスト名が登録されている場合、または使用しているコンピュータの「HOSTS」ファイルに本機の IP アドレスに対するホスト名が設定されている場合には、ホスト名がそのまま利用できます。

（例 1）本機のホスト名が「pj.nec.co.jp」と設定されている場合
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ
http://pj.nec.co.jp/index.html　と指定します。

（例 2）本機の IP アドレスが「192.168.73.1」の場合
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ
http://192.168.73.1/index.html　と指定します。

プロジェクター調整

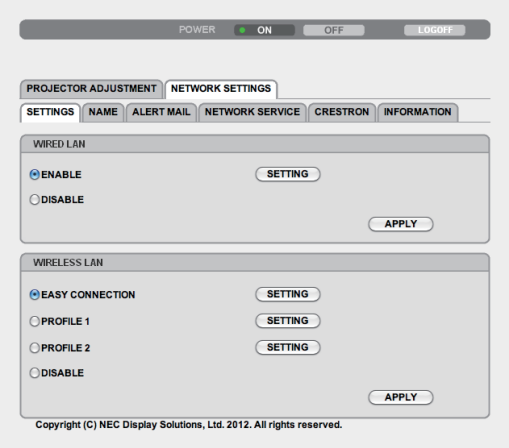


次ページに続く

POWER	**本機の電源をオン／オフします。**	
	ON	電源をオンにします。
	OFF	電源をオフにします。
VOLUME	**本機の音量をコントロールします。**	
	▲	音量調整値をアップします。
	▼	音量調整値をダウンします。
AV-MUTE	**本機の MUTE をコントロールします。**	
	PICTURE ⊘	映像をミュート（一時的に消去）します。
	PICTURE ⊘	映像ミュートを解除します。
	SOUND ⊘	音声をミュート（一時的に消去）します。
	SOUND ⊘	音声ミュートを解除します。
	ALL ON	映像、音声、メニュー表示をすべてミュート（一時的に消去）します。
	ALL OFF	映像、音声、メニュー表示のミュートをすべて解除します。
PICTURE	**本機の映像調整をコントロールします。**	
	BRIGHTNESS ▲	明るさの調整値をアップします。
	BRIGHTNESS ▼	明るさの調整値をダウンします。
	CONTRAST ▲	コントラストの調整値をアップします。
	CONTRAST ▼	コントラストの調整値をダウンします。
	COLOR ▲	カラーの調整値をアップします。
	COLOR ▼	カラーの調整値をダウンします。
	HUE ▲	色相の調整値をアップします。
	HUE ▼	色相の調整値をダウンします。
	SHARPNESS ▲	シャープネスの調整値をアップします。
	SHARPNESS ▼	シャープネスの調整値をダウンします。
※ 本機に入力されている信号によって、コントロールできる機能が変わります。詳しくは「5-4 調整」の「コントラスト／明るさ／シャープネス／カラー／色相」（105 ページ）をご覧ください。		
SOURCE SELECT	**本機の入力端子を切り替えます。**	
	COMPUTER 1	コンピュータ 1 映像入力に切り替えます。
	COMPUTER 2	コンピュータ 2 映像入力に切り替えます。
	HDMI	HDMI 映像入力に切り替えます。
	VIDEO	ビデオ映像入力に切り替えます。
	S-VIDEO	S- ビデオ映像入力に切り替えます。
	VIEWER	本機にセットした USB メモリのデータ表示に切り替えます。
	NETWORK	ネットワークから送られてくるデータ表示に切り替えます。
	USB Display	USB ディスプレイから送られてくるデータ表示に切り替えます。
PROJECTOR STATUS	**本機の状態を表示します。**	
	LAMP LIFE REMAINING	ランプの残り使用時間を%表示します。
	LAMP HOURS USED	ランプの使用時間を表示します。
	FILTER HOURS USED	フィルタの使用時間を表示します。
	ERROR STATUS	本機内部のエラー発生状況を表示します。
LOG OFF	**ログオフして認証画面（ログオン画面）に戻ります。**	

ネットワーク設定

http://〈本機の IP アドレス〉/index.html



● SETTINGS

WIRED または WIRELESS

SETTING	有線 LAN または無線 LAN に必要な設定を行います。
APPLY	「SETTING」の設定情報で有線 LAN または無線 LAN に接続します。
DHCP ON	DHCP サーバによって IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。
DHCP OFF	ネットワーク管理者から割り当てられた IP アドレスやサブネットマスクを設定します。
IP ADDRESS	本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。
SUBNET MASK	本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。
GATEWAY	本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。
AUTO DNS ON	DHCP サーバによって、本機を接続する DNS サーバの IP アドレスを自動的に設定します。
AUTO DNS OFF	本機を接続するネットワークの DNS サーバの IP アドレスを設定します。

WIRED のみ設定が必要

ENABLE	有線 LAN を有効にします。
DISABLE	有線 LAN を無効にします。

WIRELESS（無線 LAN ユニット使用時）のみ設定が必要

EASY CONNECTION	EASY CONNECTION（かんたん接続）で無線 LAN に接続します。

<table>
<tr><td>CHANNEL</td><td>国によって使用できるチャンネルが異なります。
INFRASTRUCTURE のときは、無線 LAN アクセスポイント、ADHOC のときは相手のコンピュータと同じチャンネルに設定してください。</td></tr>
<tr><td>PROFILE 1/PROFILE 2</td><td>無線 LAN ユニットを使用する場合、2 とおりの設定を本機のメモリに記憶することができます。</td></tr>
<tr><td>SSID</td><td>無線 LAN の識別名（SSID）を入力します。SSID が一致する機器とのみ、通信が行えます。</td></tr>
<tr><td>SITE SURVEY</td><td>その場所で接続可能な無線 LAN の SSID をリスト表示し、リストの中から接続する SSID を選択します。</td></tr>
<tr><td>NETWORK TYPE</td><td>無線 LAN を使用するときの通信方式を選択します。
・INFRASTRUCTURE
無線 LAN 端末と無線 LAN アクセスポイントを利用した形態の通信を行うときに選択します。
・ADHOC
無線 LAN アクセスポイントを使わず、無線 LAN 端末同士で通信を行うときに選択します。</td></tr>
<tr><td>SECURITY TYPE</td><td>無線 LAN でセキュリティを設定するかしないかを選択します。
セキュリティを行う場合は、WEP キーまたは暗号キーを設定します。
お使いのコンピュータや無線 LAN 機器の機能にあわせて、どのセキュリティを使用するか選択してください。
<table>
<tr><td>DISABLE</td><td>暗号化を行いません。他人から通信内容を傍受されるおそれがあります。</td></tr>
<tr><td>WEP 64bit</td><td>WEP 形式の暗号化を行い、秘密鍵に 64bit 長のデータを使います。</td></tr>
<tr><td>WEP 128bit</td><td>WEP 形式の暗号化を行い、秘密鍵に 128bit 長のデータを使います。64bit 長の秘密鍵に比べ、セキュリティが強化されます。</td></tr>
<tr><td>WPA PSK-TKIP/
WPA PSK-AES/
WPA2 PSK-
TKIP/WPA2
PSK-AES</td><td>これらは WEP 形式よりもセキュリティが強化さた形式です。</td></tr>
</table>
注意
● セキュリティの種類、WEP キー、暗号キーは、通信を行う相手の機器（コンピュータや無線 LAN アクセスポイント）と同じ設定にしてください。
● セキュリティ設定をすると、画像転送速度が低下します。
● NETWORK TYPE で「ADHOC」を使用している場合、WPA PSK-TKIP、WPA PSK-AES、WPA2 PSK-TKIP および WPA2 PSK-AES は使用できません。</td></tr>
<tr><td>INDEX</td><td>「SECURITY TYPE」で「WEP 64bit」または「WEP 128bit」を選択したとき、どの WEP キーを使うかを選択します。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>KEY</td><td>「SECURITY TYPE」で「WEP 64bit」または「WEP 128bit」を選択したとき
WEP キーを入力します。
● 最大入力文字数<table><tr><th>選択</th><th>英数文字（ASCII）</th><th>16 進数（HEX）</th></tr><tr><td>WEP 64bit</td><td>5 文字</td><td>10 文字</td></tr><tr><td>WEP 128bit</td><td>13 文字</td><td>26 文字</td></tr></table>「SECURITY TYPE」で「WPA PSK-TKIP」、「WPA PSK-AES」、「WPA2 PSK-TKIP」または「WPA2 PSK-AES」を選択したとき
暗号キーを入力します。暗号キーは、8 文字以上、63 文字以下の英数文字を入力します。</td></tr>
</table>

● NAME

PROJECTOR NAME	本機を含む複数のプロジェクターが LAN に接続されている場合、コンピュータ側でプロジェクターを識別するのに使います。 英数字および記号が使用でき、最大 16 文字まで入力できます。 参考 ● プロジェクター名は、リセットを行っても変更されません。
HOST NAME	本機のホスト名を設定します。英数字および記号が使用でき、最大 15 文字まで入力できます。
DOMAIN NAME	本機のドメイン名を設定します。英数字および記号が使用でき、最大 60 文字まで入力できます。

● ALERT MAIL

ALERT MAIL	本機を LAN に接続して使用する場合、本機のランプ交換時期や各種エラーが発生したときに、本機の状態を E メールでコンピュータなどへ通知します。 ☑（チェックマークを付ける）…以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。 ☐（チェックマークを外す）……メール通知機能は停止します。 【本機から送信される E メールの例】 The lamp and filters are at the end of its usable life. Please replace the lamp and filters. Projector Name: NEC Projector Lamp Hours Used: 100 [H]
SENDER'S ADDRESS	本機からメールを送信する際の差出人アドレスを設定します。 E メールの「from」にあたるアドレスです。
SMTP SERVER NAME	本機が接続をするネットワークの SMTP サーバを設定します。
RECIPIENT'S ADDRESS 1 RECIPIENT'S ADDRESS 2 RECIPIENT'S ADDRESS 3	本機からメールを送信する際の宛先のアドレスを設定します。宛先は 3 つまで設定できます。 E メールの「to」にあたるアドレスです。

TEST MAIL	E メールの設定を確認するために、テストメールを送信します。 注意 ● 送信テストを行って、送信エラーになったりメールが届かない場合は、ネットワークの設定を確認してください。 ● 宛先アドレスが間違っている場合は、送信テストでエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスの設定を確認してください。
SAVE	設定情報を本機のメモリへ記憶します。

● NETWORK SERVICE

PJLink PASSWORD	PJLink（ピージェイリンク）を使用する場合に、パスワードを設定します。 パスワードは最大 32 文字までの英数字で設定してください。
HTTP PASSWORD	HTTP サーバを使用する場合に、パスワードを設定します。 パスワードは最大 10 文字までの英数字で設定してください。
AMX BEACON	本機を AMX 社の NetLinx コントロールシステムに対応したネットワークに接続した場合、AMX Device Discovery からの検出の有効／無効を設定します。 参考 ● AMX Device Discovery は、対応した機器を接続すると自動的に検出し、制御に必要な Device Discovery Module を AMX のサーバからダウンロードする仕組みです。 ☑（チェックマークを付ける）…AMX Device Discovery からの本機の検出を有効にします。 ☐（チェックマークを外す）……AMX Device Discovery からの本機の検出を無効にします。

● CRESTRON

ROOMVIEW：コンピュータで制御する場合に設定します。

DISABLE	ROOMVIEW を無効にします。
ENABLE	ROOMVIEW を有効にします。

CRESTRON CONTROL：コントローラで制御する場合に設定します。

DISABLE	CRESTRON CONTROL を無効にします。
ENABLE	CRESTRON CONTROL を有効にします。
IP ADDRESS	CRESTRON SERVER の IP ADDRESS を設定します。
IP ID	CRESTRON SERVER の IP ID を設定します。

● INFORMATION

WIRED LAN	有線 LAN の設定情報を一覧表示します。
WIRELESS LAN	無線 LAN の設定情報を一覧表示します。
UPDATE	設定情報を変更した場合、一覧の表示を更新します。

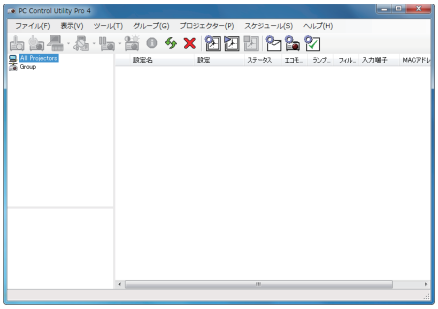
参考

- 登録したパスワードを忘れてしまった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（裏表紙）にご連絡ください。
- CRESTRON の項目は、CRESTRON ROOMVIEW を使用する場合に設定します。CRESTRON ROOMVIEW については、Crestron 社のホームページをご覧ください。（英語のみ）http://www.crestron.com

3-10. LAN を経由して本機を操作する（PC Control Utility Pro 4/Pro 5）

添付の NEC Projector CD-ROM に収録しているユーティリティソフト PC Control Utility Pro 4、PC Control Utility Pro 5 を使用すると、コンピュータから LAN を経由して本機を制御することができます。

PC Control Utility Pro 4 は、Windows 用のソフトウェアです。**（次ページ）**
PC Control Utility Pro 5 は、Mac OS 用のソフトウェアです。**（72 ページ）**



PC Control Utility Pro 4 画面

- **主な制御機能**
  電源オン／オフ、信号切替、フリーズ、映像ブランク、音声ミュート、調整、エラー通知メール、イベントスケジュール

ここでは、本機を LAN に接続して、PC Control Utility Pro 4/Pro 5 を使用するまでの流れを説明します。PC Control Utility Pro 4/Pro 5 の詳しい操作については、各々のソフトウェアのヘルプをご覧ください。

ステップ①：ソフトウェアをコンピュータにインストールする
ステップ②：本機を LAN に接続する
ステップ③：ソフトウェアを起動する

注意

- Windows XP Home Edition および Windows XP Professional において PC Control Utility Pro 4 を起動する場合は「Microsoft .NET Framework（Version 2.0 以上）」が必要です。
  「Microsoft .NET Framework」は、マイクロソフトのホームページからダウンロードし、コンピュータにインストールしてください。

参考

- PC Control Utility Pro 4 は、シリアル接続での制御も可能です。

Windows で使用する場合

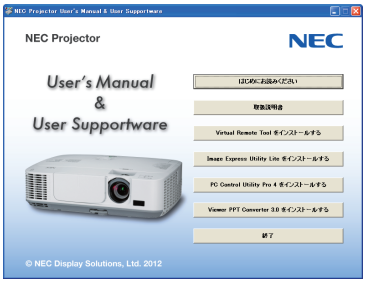
●ステップ①：PC Control Utility Pro 4 をコンピュータにインストールする

注意

- ソフトウェアのインストール／アンインストールは、Windows 7/Windows Vista の場合「管理者」権限、Windows XP の場合「コンピュータの管理者」権限で行ってください。
- インストールを行う前に、起動しているアプリケーションソフトをすべて終了してください。他のアプリケーションソフトが起動していると、インストールが正常に終了しない場合があります。

1 添付の NEC Projector CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

メニューウィンドウが表示されます。



参考

メニューウィンドウが表示されないときは、次の手順を行ってください。
（※ Windows 7 のときの例）

1. Windows の［スタート］をクリックする。
2. ［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［ファイル名を指定して実行］をクリックする。
3. ［名前 (O)］に CD-ROM ドライブ名 *1（例：「Q:¥」）と［LAUNCHER.EXE］を続けて入力する。（例：Q:¥LAUNCHER.EXE）
   *1 CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。
4. ［OK］をクリックする。
   メニューウィンドウが表示されます。

2 メニューウィンドウの［PC Control Utility Pro 4 をインストールする］をクリックする。

インストールの準備が始まります。

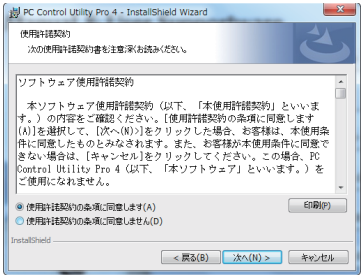
インストールの準備が終了すると、「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

3 「次へ (N)>」をクリックする。

「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。
「ソフトウェア使用許諾契約」の内容をよくお読みください

4 同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します (A)」をクリックし、「次へ (N)>」をクリックする。

・以降は、画面のメッセージに従って操作してください。
・インストールが完了すると、メニューウィンドウに戻ります。



参考

● **PC Control Utility Pro 4 のアンインストール方法**
PC Control Utility Pro 4 をアンインストールする操作は、「Virtual Remote Tool」のアンインストール方法と同じです。ソフト名を「PC Control Utility Pro 4」と読み替えてください。(54 ページ)

●ステップ②：本機を LAN に接続する

本書の「6-5. 有線LANと接続する」(138ページ)、「6-6. 無線LANと接続する(別売)」(139 ページ)、および「3-9. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作」(61 ページ)の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

●ステップ③：PC Control Utility Pro 4 を起動する

1 Windows の「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「PC Control Utility Pro 4」→「PC Control Utility Pro 4」の順にクリックする。

注意

● PC Control Utility Pro 4 のスケジュール機能を実行するにはコンピュータが起動している必要があります。
あらかじめコントロールパネルの『電源オプション』を確認して、スリープ設定やスタンバイ設定などを解除してください。
【例】Windows 7 の場合：
［コントロールパネル］→［システムとセキュリティ］→［電源オプション］→［コンピュータがスリープ状態になる時間を変更］の［コンピュータをスリープ状態にする］を「なし」に設定します。
● オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「省電力」に設定していると、ネットワーク（有線 LAN／無線 LAN）を介してプロジェクターの電源を ON する操作ができません。

参考

● **PC Control Utility Pro 4 のヘルプ表示方法**

◆ PC Control Utility Pro 4 の起動中に表示する

1 PC Control Utility Pro 4 ウィンドウの「ヘルプ (H)」→「ヘルプ (H)…」の順にクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

次ページに続く

◆スタートメニューから表示する

1 「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「PC Control Utility Pro 4」→「PC Control Utility Pro 4 Help」の順にクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

Mac OS で使用する場合

●ステップ①：PC Control Utility Pro 5 をコンピュータにインストールする

1 添付の NEC Projector CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。
デスクトップに CD-ROM アイコンが表示されます。

2 CD-ROM アイコンをダブルクリックする。
CD-ROM のウィンドウが表示されます。

3 「Mac OS X」フォルダをダブルクリックする。

4 「PC Control Utility.mpkg」をダブルクリックする。
インストーラがスタートします。

5 [続ける] をクリックする。
使用許諾契約が表示されます。

6 記載内容を確認し、[続ける] をクリックする。
確認ウィンドウが表示されます。

7 [同意する] をクリックする。

以降は、画面のメッセージに従って操作してください。

●ステップ②：本機を LAN に接続する

本書の「6-5. 有線LANと接続する」(138ページ)、「6-6. 無線LANと接続する(別売)」(139 ページ)、および「3-9. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作」(61 ページ) の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

●ステップ③：PC Control Utility Pro 5 を起動する

1 Mac OS の「アプリケーションフォルダ」を開く。

2 「PC Control Utility Pro 5」フォルダをクリックする。

3 「PC Control Utility Pro 5」アイコンをクリックする。
PC Control Utility Pro 5 が起動します。

注意

- PC Control Utility Pro 5 のスケジュール機能を実行するにはコンピュータが起動している必要があります。
  あらかじめシステム環境設定の『省エネルギー環境設定』を確認して、コンピュータのスリープ設定を解除してください。
- オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「省電力」に設定していると、ネットワーク（有線 LAN ／無線 LAN）を介してプロジェクターの電源を ON する操作ができません。

参考

● PC Control Utility Pro 5 のヘルプ表示方法

◆PC Control Utility Pro 5 の起動中に表示する

1. メニューバーの「ヘルプ」→「ヘルプ」の順にクリックする。
   ヘルプ画面が表示されます。

◆Dock から表示する

1. Mac OS の「アプリケーションフォルダ」を開く。
2. 「PC Control Utility Pro 5」フォルダをクリックする。
3. 「PC Control Utility Pro 5 Help」アイコンをクリックする。
   ヘルプ画面が表示されます。

3-11. LAN を経由して画像を投写する（Image Express Utility Lite）

添付の NEC Projector CD-ROM に収録しているユーティリティソフト Image Express Utility Lite を使用すると、コンピュータから USB ケーブルやネットワーク（有線 LAN ／無線 LAN）を経由してプロジェクターへ画像を伝送し、投写することができます。

Image Express Utility Lite は、Windows 用のソフトウェアです。**（次ページ）**
Image Express Utility Lite for Mac OS は、Mac OS 用のソフトウェアです。**（78 ページ）**

ここでは、本機を LAN に接続して、Image Express Utility Lite を使用するまでの流れを説明します。Image Express Utility Lite の詳しい操作については、Image Express Utility Lite のヘルプをご覧ください。

ステップ①：Image Express Utility Lite をコンピュータにインストールする
ステップ②：本機を LAN に接続する
ステップ③：Image Express Utility Lite を起動する

参考
- Image Express Utility Lite (Windows 用)は、コンピュータにインストールしなくても、市販の USB メモリや SD カードなどのリムーバブルメディアから起動して使用することができます。（78 ページ）

Image Express Utility Lite（および for Mac OS）でできること

●画像伝送（Windows 用／ Mac OS 用）
- コンピュータケーブルを接続する代わりに、ネットワーク（有線 LAN ／無線 LAN）を使ってコンピュータの画面をプロジェクターへ伝送して投写することができます。
- ネットワーク設定を省略し自動的にコンピュータとプロジェクターを接続することができます（かんたん接続）。
- 同時に最大 4 台のプロジェクターへコンピュータの画面を伝送できます。

● USB ディスプレイ（Windows 用のみ）
- コンピュータケーブルを接続する代わりに、USB ケーブルを接続して、コンピュータの画面をプロジェクターへ伝送して投写することができます。
- USB ディスプレイは、Image Express Utility Lite をインストールしていなくても、コンピュータ（Windows）とプロジェクターを USB ケーブルで接続するだけで働きます（プラグアンドプレイ）。（59 ページ）

●幾何学補正（Geometric Correction Tool）（Windows 用のみ）
- 「3-12. スクリーンに斜め方向から投写する（Image Express Utility Lite の幾何学補正）」をご覧ください。（80 ページ）

注意
- Image Express Utility Lite 使用中は 、コンピュータ 2 音声入力端子に入力している音声が出力されます。ただし、映像と音声は同期しないことがあります。

Windows で使用する場合

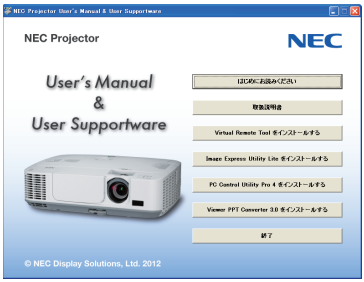
●ステップ①：Image Express Utility Lite をコンピュータにインストールする

注意

- ソフトウェアのインストール／アンインストールは、Windows 7/Windows Vista の場合「管理者」権限、Windows XP の場合「コンピュータの管理者」権限で行ってください。
- インストールを行う前に、起動しているアプリケーションソフトをすべて終了してください。他のアプリケーションソフトが起動していると、インストールが正常に終了しない場合があります。
- Image Express Utility Lite は、システムドライブにインストールします。
「インストール先の空き容量が不足しています」というエラーが表示された場合、十分な空き容量 (約 100 メガバイト程度) を確保してから、インストールしてください。

1 **添付の NEC Projector CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。**

メニューウィンドウが表示されます。



参考

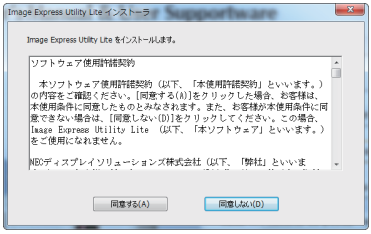
メニューウィンドウが表示されないときは、次の手順を行ってください。
（※ Windows 7 のときの例）

1. Windows の［スタート］をクリックする。
2. ［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［ファイル名を指定して実行］をクリックする。
3. ［名前 (O)］に CD-ROM ドライブ名 *1（例：「Q:¥」）と［LAUNCHER.EXE］を続けて入力する。（例：Q:¥LAUNCHER.EXE）
*1 CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。
4. ［OK］をクリックする。
メニューウィンドウが表示されます。

2 **メニューウィンドウの［Image Express Utility Lite をインストールする］をクリックする。**

インストールの準備が始まります。

「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。
「ソフトウェア使用許諾契約」の内容をよくお読みください

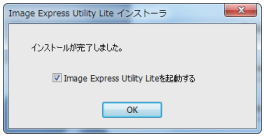


3 **同意する場合は「同意する (A)」をクリックする。**

インストールが完了すると完了メッセージが表示されます。

4 **［OK］をクリックする。**

インストールが終了しました。



参考

- **Image Express Utility Lite のアンインストール方法**
  Image Express Utility Lite をアンインストールする操作は、「Virtual Remote Tool」のアンインストール方法と同じです。ソフト名を「Image Express Utility Lite」と読み替えてください。（54 ページ）

●ステップ②：本機を LAN に接続する

本書の「6-5. 有線LANと接続する」（138ページ）、「6-6. 無線LANと接続する（別売）」（139 ページ）、および「3-9. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作」（61 ページ）の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

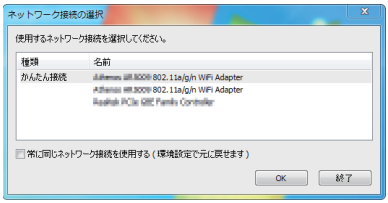
●ステップ③：Image Express Utility Lite を起動する

1 **Windows の［スタート］→［すべてのプログラム］→［NEC Projector User Supportware］→［Image Express Utility Lite］→［Image Express Utility Lite］の順にクリックする。**

Image Express Utility Lite が起動します。
ネットワーク接続の選択ウィンドウが表示されます。

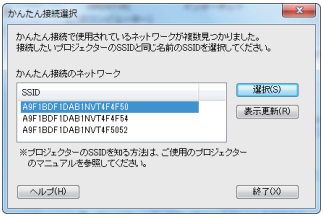
2 **使用するネットワークを選択し、［OK］をクリックする。**

- コンピュータとプロジェクターを 1 対 1 で接続する場合は「かんたん接続」をおすすめします。
- 「かんたん接続」で使用されているネットワークが複数見つかった場合は、**3**のウィンドウが表示されます。
- 接続するプロジェクターが使用しているネットワークを確認するには、プロジェクターのオンスクリーンメニューの［情報］→［無線 LAN］画面を表示し、「SSID」の文字列を確認してください。



3 **使用するネットワークを選択し、［選択 (S)］をクリックする。**

接続先選択ウィンドウが表示されます。



4 **接続するプロジェクターにチェックマークを付け、［接続 (C)］をクリックする。**

・複数のプロジェクターが表示された場合は、接続するプロジェクターのオンスクリーンメニューの［情報］→［無線 LAN］画面を表示し、「IP アドレス」を確認してください。

プロジェクターと接続すると、コントロールウィンドウを操作してコンピュータをコントロールできるようになります。

コントロールウィンドウについては 60 ページをご覧ください。

注意

● オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「省電力」に設定して、電源をオフにしている状態のプロジェクターは、接続先選択に表示されません。

参考

● **Image Express Utility Lite のヘルプ表示方法**

◆ Image Express Utility Lite の起動中に表示する

1 コントロールウィンドウの ? (ヘルプ) をクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

◆ GCT (幾何学補正) の起動中に表示する

1 編集ウィンドウの「ヘルプ」→「ヘルプ」をクリックする
ヘルプ画面が表示されます。

◆スタートメニューから表示する

1「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「Image Express Utility Lite」→「Image Express Utility Lite Help」の順にクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

●USB メモリや SD カードから Image Express Utility Lite を起動する

市販の USB メモリや SD カードなどのリムーバブルメディアに Image Express Utility Lite をコピーしておけば、コンピュータにインストールすることなく、Image Express Utility Lite を起動することができます。

1 リムーバブルメディアに Image Express Utility Lite をコピーする。
添付の NEC Projector CD-ROM 内の「IEU_Lite (removable-media)」フォルダ内の全てのフォルダおよびファイル（ファイルサイズ合計約 6 MB）をリムーバブルメディアのルートディレクトリにコピーします。

2 コンピュータにリムーバブルメディアを挿入する。
「自動再生」ウィンドウが表示されます。

参考
- 「自動再生」ウィンドウが表示されない場合は、「コンピュータ」(Windows XP の場合は「マイ コンピュータ」) からフォルダを開いてください。

3 「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックする。
IEU_Lite.exe およびその他のフォルダやファイルが表示されます。

4 IEU_Lite.exe アイコン（ ）をダブルクリックする。
Image Express Utility Lite が起動します。

注意
- リムーバブルメディアから Image Express Utility Lite を起動した場合は、「かんたん接続」は使用できません。

Mac OS で使用する場合

●ステップ①：Image Express Utility Lite for Mac OS をコンピュータにインストールする

1 添付の NEC Projector CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。
デスクトップに CD-ROM アイコンが表示されます。

2 CD-ROM アイコンをダブルクリックする。
CD-ROM のウィンドウが表示されます。

3 「Mac OS X」フォルダをダブルクリックする。

4 「Image Express Utility Lite.dmg」をダブルクリックする。
Image Express Utility Lite ウィンドウが表示されます。

5 このウィンドウ内の「Image Express Utility Lite」フォルダを Mac OS の「アプリケーション」フォルダにドラッグ・アンド・ドロップする。

●ステップ②：本機を LAN に接続する

本書の「6-5. 有線LANと接続する」(138ページ)、「6-6. 無線LANと接続する(別売)」(139ページ)、および「3-9. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作」(61ページ) の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

●ステップ③：Image Express Utility Lite for Mac OS を起動する

1 Mac OS の「アプリケーションフォルダ」を開く。

2 「Image Express Utility Lite」フォルダをダブルクリックする。

3 「Image Express Utility Lite」アイコンをダブルクリックする。

Image Express Utility Lite for Mac OS が起動すると、接続先選択ウィンドウが表示されます。

- 初回起動時には、接続先選択ウィンドウが表示される前に使用許諾契約ウィンドウが表示されます。
  使用許諾契約書の内容をお読みのうえ、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し［OK］をクリックしてください。

4 接続先選択ウィンドウで、プロジェクターを選択し、［接続］をクリックする。

デスクトップ画面がプロジェクターから投写されます。

参考

● Image Express Utility Lite for Mac OS のヘルプ表示方法

◆ Image Express Utility Lite for Mac OS の起動中に表示する

1 メニューバーの「ヘルプ」→「Image Express Utility Lite ヘルプ」の順にクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

3-12. スクリーンに斜め方向から投写する（Image Express Utility Lite の幾何学補正）

Image Express Utility Lite の「GCT」（幾何学補正／ Geometric Correction Tool）を使用すると、スクリーンに対して斜め方向から投写したときなどの画面の歪みを調整できます。

幾何学補正（GCT）でできること

- 幾何学補正（GCT）には、以下の 3 つの機能があります。
  - ・4 点補正 …… 歪んだ投写画面の 4 つの角を移動してスクリーンの角に合わせることにより、簡易な操作でスクリーンの枠内に投写画面を収めることができます。
  - ・多点補正 …… 4 点補正から、さらに画面を分割して補正を行うことにより、コーナーや複雑なスクリーンに投写画面を合わせることができます。
  - ・パラメータ補正 … あらかじめ用意した変形規則を組み合わせて補正を行います。

  ここでは、4 点補正について説明します。
  多点補正とパラメータ補正については、Image Express Utility Lite のヘルプをご覧ください。（77 ページ）
- 補正した情報をプロジェクター本体またはコンピュータに保存し、必要なときに呼び出すことができます。
- 幾何学補正は、USB ケーブル、ネットワーク（有線 LAN ／無線 LAN）、映像ケーブルでの接続時に使用できます。

スクリーンに斜め方向から投写する（4 点補正）

ここでは、ＵＳＢディスプレイ（コンピュータとプロジェクターをＵＳＢケーブルで接続）の場合で説明します。

・ＵＳＢディスプレイ機能を使用すると、コントロールウィンドウが自動で表示されます。
・映像ケーブルやネットワーク接続の場合は、コンピュータに Image Express Utility Lite をインストールして起動し、コントロールウィンドウを表示してください。（75 ページ）

準備：スクリーン全体が入るように投写画面の向きや大きさ（ズーム）を調整してください。

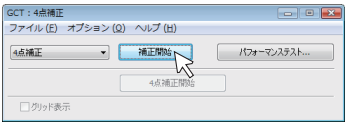
1 **（映像）アイコンをクリックし、GCT ボタンをクリックする。**

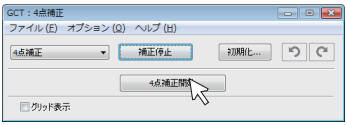
4 点補正編集ウィンドウが表示されます。

2 **4 点補正編集ウィンドウの「補正開始」ボタンをクリックし、「4 点補正開始」ボタンをクリックする**

投写画面に緑色の枠とマウスポインタ「✛」が表示されます。

・緑色の枠の 4 つの角には「●」が表示されます。

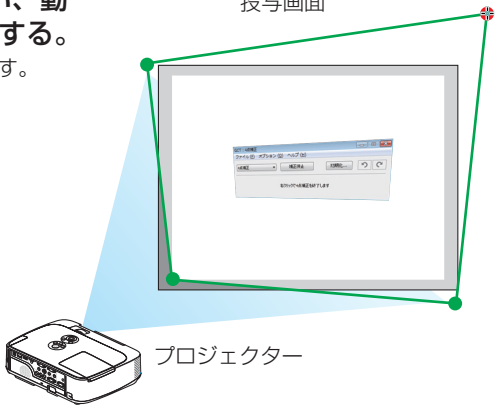




3 **投写画面上でマウス操作を行い、動かしたい角の「●」をクリックする。**

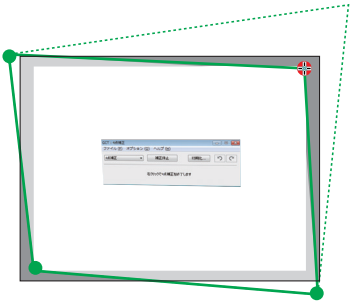
・選択されている「●」は赤色になります。

（Windows の画面は省略しています）

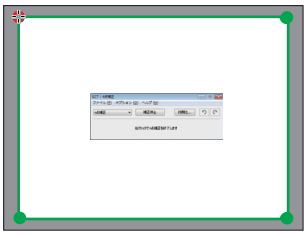


4 **補正したいところまでドラッグ＆ドロップする。**

・投写画面内でマウスクリックすると、 最も近い角がマウスポインタの位置に動きます。



5 **3、4の手順を繰り返し、画面の歪みを調整する。**



6 **調整が終わったら、マウスを右クリックする。**

投写画面から緑色の枠とマウスポインタが消えて、調整が終了します。

7 **4 点補正編集ウィンドウの をクリックする。**

4 点補正編集ウィンドウが消え、 4 点補正の調整が確定されます。

8 **コントロールウィンドウの をクリックして終了する。**

参考

- 調整終了後、4 点補正編集ウィンドウの「ファイル」→「プロジェクターに書き出し」をクリックすることで、 4 点補正の調整値を保存しておくことができます。
- 4 点補正編集ウィンドウの詳しい操作については、Image Express Utility Lite のヘルプをご覧ください。(77 ページ)

4. ビューワを使う

4-1. ビューワでできること

ビューワには次のような特長があります。

- 画像を保存した市販の USB メモリを本機の USB ポート（タイプ A）に挿すと、USB メモリ内の画像を本機で投写することができます。これにより、コンピュータを使わずにプレゼンテーションを行えます。
- ビューワで投写できる画像の種類は、JPEG です。
- ビューワではサムネイル表示（JPEG Exif のみ）が行え、投写する画像を素早く選択できます。
- 複数の画像を連続して投写する場合（スライドショー）は、手動操作で切り替える方法（手動再生）と、自動的に切り替える方法（自動再生）があります。また、自動再生のときのスライド切り替え時間の選択ができます。
- 投写する順番は、画像のファイル名、日付、サイズで指定でき、昇順を選択できます。
- 画像の向きを 90° 単位で変えることができます。

注意

- 本機のUSBポートは、USBハブをサポートしていません。
- ビューワ（サムネイル画面、スライドおよびスライドショー画面）表示中は、プロジェクター本体またはリモコンの次のボタン操作はできません。
  - ◀/▶ ボタンによる音量調整
  - ▼/▲ ボタンによる台形補正
  - 自動調整 ボタンによる自動調整

  ビューワ表示中に台形補正および入力切り替えを行う場合は、メニュー ボタンを2回押してオンスクリーンメニューを表示し操作してください。
- ビューワ表示中は、リモコンの 静止 ボタンは働きません。
- オンスクリーンメニューでリセット→全データを行うと、ビューワのメニュー設定は工場出荷状態に戻ります。
- 本機のビューワで使用するUSBメモリは、FAT32形式、またはFAT16形式でフォーマットしてください。
  本機は、NTFS形式でフォーマットされたUSBメモリを認識できません。
  本機に挿したUSBメモリが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。
  フォーマット方法については、お使いのWindowsの取扱説明書またはヘルプファイルを参照してください。
  - 本機のUSBポートは、市販されているすべてのUSBメモリの動作を保証するものではありません。

次ページに続く

- 対応画像について
  - ビューワで投写できる画像は次のとおりです。

画像フォーマット	拡張子	対応詳細フォーマット
JPEG	JPG/JPEG	ベースライン、Exif

  - Viewer PPT Converter 3.0で作成した画像ファイルを再生する場合、PowerPoint側で設定したスライドショーや効果音やエフェクトなどは再生できません。
  - 本機で投写できる最大解像度は、10000×10000ピクセルです。
  - 上記の条件を満たしている画像であってもビューワで投写できない場合があります。
- サムネイル画面では200を超えるアイコン(画像ファイルアイコンとフォルダアイコンの総数)は表示できません。
- フォルダ、画像ファイルの名前の文字数が規定値より長い場合は、表示可能文字数のみ表示し「…」が付け加えられます。
- 1つのフォルダ内のファイル数が多いと、画面を切り替えるのに時間がかかります。画面の切り替えを速くするには、1つのフォルダ内のファイル数を減らしてください。

参考

- Exif (Exchangeable image file format) とは、デジタルカメラで撮影した画像データに、撮影条件に関する情報を付加している画像ファイル形式です。

4-2. USBメモリに保存した画像を投写する

ここでは、ビューワの基本操作を説明します。ビューワの各メニュー（89ページ）が工場出荷時の状態になっているときの操作手順です。

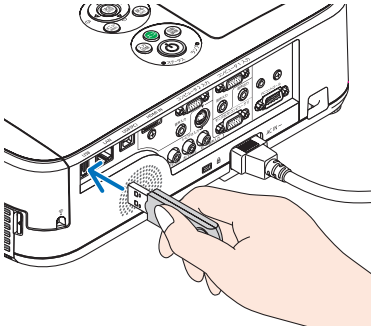
- ビューワを起動する　……このページ
- 本機からUSBメモリを取り外す　……87ページ
- ビューワを終了する　……87ページ

準備：コンピュータを使って複数の画像をUSBメモリに保存してください。

ビューワを起動する

1 **本機の電源を入れる。（30ページ）**

2 **本機のUSBポートにUSBメモリを挿す。**



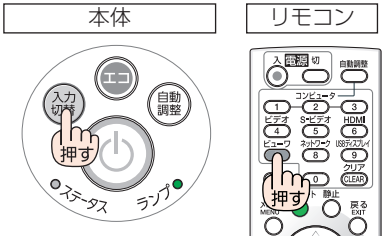
注意

- USBメモリのアクセスインジケータが点滅しているときは、保存データが破損しますので取り外さないでください。

3 **（入力切替）ボタンを押す。**

ビューワが起動しビューワ起動画面が表示されます。

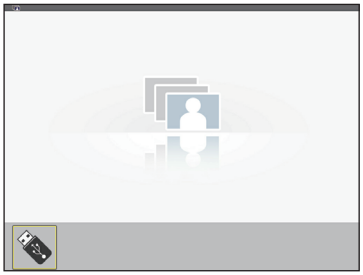
・リモコンの場合は（ビューワ）ボタンを押します。



4 **（決定）ボタンを押す。**

サムネイル画面に変わります。

・サムネイル画面については88ページをご覧ください。



5 (▼▲◀▶)ボタンを押して、カーソルをアイコンに合わせる。

・右端に→アイコンを表示しているとき、(ページ▽)ボタン（ページダウン）を押すと次ページに切り替わります。また、左端に←アイコンを表示しているとき、(ページ△)ボタン（ページアップ）を押すと前ページに切り替わります。

6 (決定)ボタンを押す。

スライドが表示されます。

・フォルダアイコンを選択したときは、フォルダ内のアイコンを表示します。

7 (▶)ボタンを押して次のスライドに切り替える。

サムネイル画面での１つ右の画像を表示します。

・(◀/▶)ボタンでサムネイル画面での上下左右の画像に切り替わります。

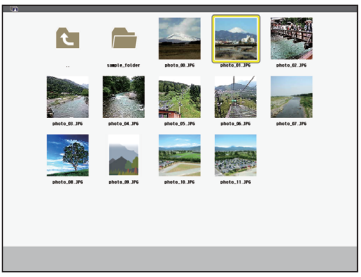
・サムネイル画面、スライド画面、スライドショー画面で(メニュー)ボタンを押すと、メニューを表示します。メニューで画面の選択や画像回転などの設定を行います。（89 ページ）

・メニューを消すには、(メニュー)を１回押すとメニューが消え、入力端子画面を表示します。もう１回押すと入力端子画面が消えます。

8 メニューを表示していないときに(戻る)ボタンを押す。

サムネイル画面に戻ります。

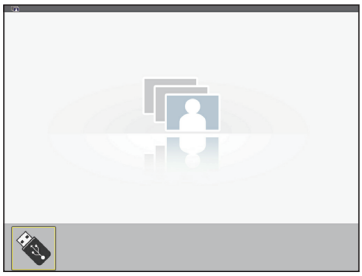
・(決定)ボタンを押しても戻ります。



本機からUSBメモリを取り外す

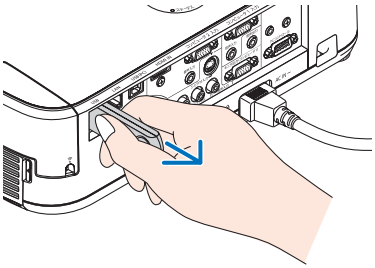
1 ビューワ起動画面に切り替える。

メニューを表示していない画面で（戻る）ボタンを押します。



2 本機からUSBメモリを取り外す。

USBメモリのアクセスインジケータが点滅していないことを確認してから取り外してください。



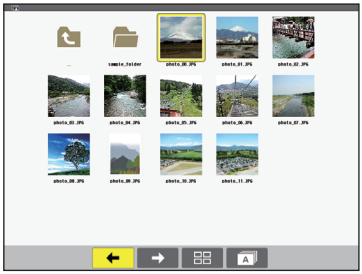
注意

- スライドを表示中にUSBメモリを取り外した場合、本機の動作が不安定になることがあります。その場合は、いったん本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
  その後約3分待って、電源コードをコンセントに接続し、本機の電源を入れてください。

ビューワを終了する

1 （メニュー）ボタンを2回押す。

1回押すとメニューが表示されます。
もう一度押すと、メニューが消え、オンスクリーンメニューの入力端子画面が表示されます。
スライドおよびスライドショー画面でも同じです。



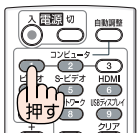
2 「ビューワ」以外の入力端子にカーソルを合わせ、（決定）ボタンを押す。

ビューワが終了し、選択した入力に切り替わります。

・再びビューワを選択するとビューワ接続画面が表示されます。

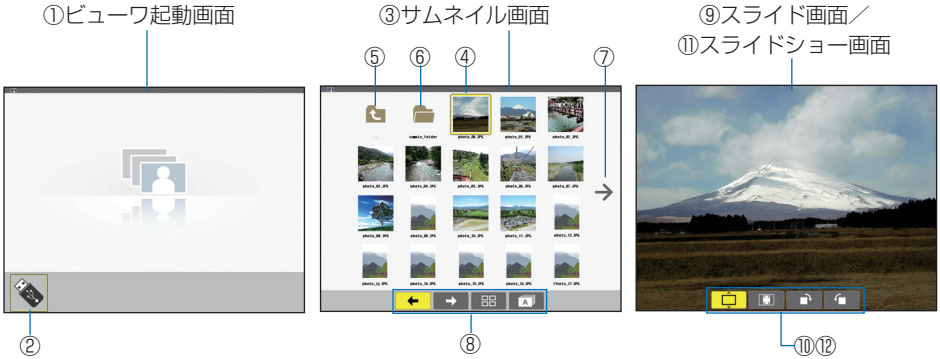
参考

- リモコンで操作する場合は、「ビューワ」以外の入力端子を選択すると、ビューワが終了します。



画面の見かた

ビューワには 4 つの画面があります。



名　称	説　明
① ビューワ起動画面	ビューワに切り替えたときはじめに表示します。
② USBアイコン	本機にUSBメモリを挿してあると表示します。
③ サムネイル画面	USB メモリ内のフォルダと画像ファイルを一覧表示します。JPEG Exif のみサムネイル画像を表示します。 • 1 ページのフォルダおよび画像ファイルの表示数は機種によって異なります。 NP-M361XJL/NP-M311XJL/NP-M271XJL は横 5 × 縦 4 、NP-M311WJL/NP-M271WJL は横 6 × 縦 4 です。
④ カーソル	(▼▲◀▶)ボタンを押して目的のフォルダや画像を選択します。
⑤ 戻るアイコン	上（親）の階層のフォルダに戻ります。
⑥ フォルダアイコン	USBメモリ内にフォルダがあることを示します。
⑦ ページダウン（ページアップ）アイコン	表示がある場合は、次ページにフォルダや画像ファイルがあることを示します。(▶)ボタンを押してカーソルを右端まで移動し、さらに右へ移動するとひとつ下の段の左端にカーソルが移動します。下の段がない場合は次ページに切り替わります。画面の左端に←カーソルを表示しているときは、前ページにフォルダや画像ファイルがあることを示します。 リモコンの(ページ ▽)を押すと次ページ、(ページ △)を押すと前ページに直接切り替わります。
⑧ サムネイルメニュー	サムネイル画面のメニューです。(メニュー)ボタンを押すと表示します。（次ページ）
⑨ スライド画面	手動再生の画面です。選択した画像を画面いっぱいに表示します。
⑩ スライドメニュー	スライド画面のメニューです。(メニュー)ボタンを押すと表示します。（90 ページ）
⑪ スライドショー画面	自動再生の画面です。自動でスライドが切り替わります。
⑫ スライドショーメニュー	スライドショー画面のメニューです。(メニュー)ボタンを押すと表示します。（90 ページ）

メニューを使う

●メニューの操作

1 各画面で(メニュー)ボタンを押す。

メニューが表示されます。
ビューワ起動画面はオンスクリーンメニューの入力端子画面が表示されます。

2 (◀/▶)ボタンを押して項目にカーソルを合わせ、(▼/▲)ボタンを押して内容を選択する。

カーソルを合わせると黄色に変わります。
▲▼表示の項目は選択枝があることを表しています。

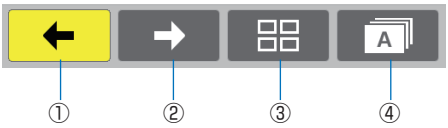
3 (決定)ボタンを押す。

選択内容に切り替わります。

4 (メニュー)ボタンを 2 回押す。

メニューが消え入力端子画面を表示します。もう一度(メニュー)ボタンを押すと、入力端子画面が消えます。

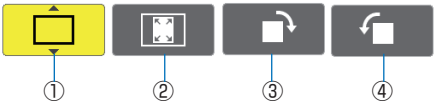
●サムネイルメニュー



メニュー	選択項目	説　明
①戻る ←	なし	カーソルを 1 つ左へ進めます。画面左上まで戻ると前ページに戻ります。1 ページのファイルの左端まで移動します。
②進む →	なし	カーソルを 1 つ右へ進めます。画面右下まで進むと次ページに進みます。最終ページの右端まで移動します。
③画面表示		メニューを閉じてサムネイル画面に切り替わります。
		メニューを閉じてカーソルのある画像からスライドショーを開始します。
		メニューを閉じてスライド画面に切り替わります。
④並び順		ファイル作成日の新しい順にアイコン表示を並び替えます。
		名前を昇順（数字→英字→日本字の順）にアイコン表示を並び替えます。
		ファイルの容量が小さい順にアイコン表示を並べ替えます。

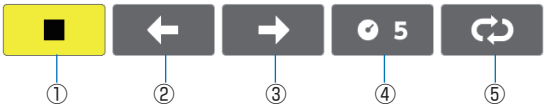
●スライドメニュー

スライドメニューでは次の設定が行えます。



メニュー	選択項目	説　明
①画面表示		メニューを閉じてスライド画面に切り替わります。
		メニューを閉じてサムネイル画面に切り替わります。
		メニューを閉じてカーソルのある画像からスライドショーを開始します。
②画像表示		メニューを閉じて本機の表示可能な最大サイズで画像を表示します。
		メニューを閉じて実サイズの画面で表示します。 ・ 本機の解像度より小さい画像のみ実サイズで表示されます。
③右回転	なし	メニューを閉じて画像を時計回りに 90˚ 回転します。
④左回転	なし	メニューを閉じて画像を反時計回りに 90˚ 回転します。

●スライドショーメニュー



メニュー	選択項目	説　明
①停止	なし	メニューを閉じてスライド画面に切り替わります。
②戻る	なし	前の画像に戻ります。
③進む	なし	次の画像に進みます。
④表示間隔		画像の表示間隔を設定します。 0, 1, 3, 5, 10, 15, 20, 30, 60, 120 秒の設定ができます。 · 表示間隔は次の画像を表示させるまでの待ち時間です。
⑤リピート		フォルダ内の最後の画像を表示した後、最初の画像から再生します。
		フォルダ内の最後の画像を表示した後、自動再生を終了しサムネイル画面に戻ります。

参考

- スライド画面およびスライドショー画面で再生できない画像は画面中央に画像アイコンを表示します。
- スライドメニューで設定した画像回転設定はフォルダを移動すると解除されます。

4-3. PowerPointファイルをスライド画像に変換する(Viewer PPT Converter 3.0)

添付の NEC Projector CD-ROM に収録しているユーティリティソフト Viewer PPT Converter 3.0 を使用すると、PowerPoint で作成したファイルを JPEG ファイルに変換することができます。変換したJPEGファイルをUSBメモリに保存すると、ビューワを使って投写することができます。この場合、本機にコンピュータを接続する必要がありません。

注意

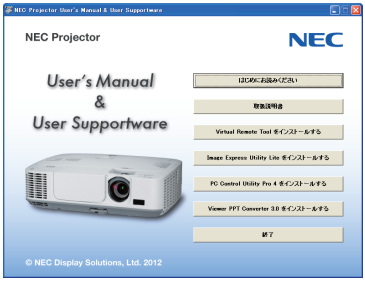
- Viewer PPT Converter 3.0 を使って PowerPoint ファイルを変換すると、インデックスファイル（拡張子が .idx）が作成されます。それと同時に同じ名前のフォルダが作成され、そのフォルダ内に JPEG ファイルが保存されます。
  本機のビューワでは、インデックスファイル（拡張子が .idx）をサポートしていません。

Viewer PPT Converter 3.0 をコンピュータにインストールする

注意

- ソフトウェアのインストール／アンインストールは、Windows 7/Windows Vista の場合「管理者」権限、Windows XP の場合「コンピュータの管理者」権限で行ってください。
- インストールを行う前に、起動しているアプリケーションソフトをすべて終了してください。他のアプリケーションソフトが起動していると、インストールが正常に終了しない場合があります。

1 **添付の NEC Projector CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。**
メニューウィンドウが表示されます。



参考 メニューウィンドウが表示されないときは、次の手順を行ってください。
（※ Windows 7 のときの例）

1. Windows の［スタート］をクリックする。
2. ［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［ファイル名を指定して実行］をクリックする。
3. ［名前 (O)］に CD-ROM ドライブ名 *1（例：「Q:¥」）と［LAUNCHER.EXE］を続けて入力する。（例：Q:¥LAUNCHER.EXE）
   *1 CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。
4. ［OK］をクリックする。
   メニューウィンドウが表示されます。

2 メニューウィンドウの［Viewer PPT Converter 3.0 をインストールする］をクリックする。

インストールの準備が始まります。

インストールの準備が終了すると、「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

Viewer PPT Converter 3.0 - InstallShield Wizard
Viewer PPT Converter 3.0用のInstallShield ウィザードへようこそ
InstallShield(R) ウィザードは、ご使用のコンピュータへ Viewer PPT Converter 3.0 をインストールします。「次へ」をクリックして、続行してください。
警告：このプログラムは、著作権法および国際協定によって保護されています。
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

3 「次へ (N)>」をクリックする。

「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。
「ソフトウェア使用許諾契約」の内容をよくお読みください

4 同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します (A)」をクリックし、「次へ (N)>」をクリックする。

- 以降は、画面のメッセージに従って操作してください。
- インストールが完了すると、メニューウィンドウに戻ります。

注意

- PowerPoint がインストールされているコンピュータに、Viewer PPT Converter 3.0 をインストールすると、PowerPoint に Viewer PPT Converter 3.0 のアドイン機能が自動的に登録されます。
  Viewer PPT Converter 3.0 のアドイン機能は、Viewer PPT Converter 3.0 をアンインストールする前に解除しておく必要があります。
  アドイン機能の解除については、Viewer PPT Converter 3.0 のヘルプをご覧ください。
- Viewer PPT Converter 3.0 をインストールした場合は、インストールしたときの権限のまま、一度 Viewer PPT Converter 3.0 を起動してください。起動したら、そのまま Viewer PPT Converter 3.0 を終了してください。
  ※ 起動方法
  Windows の［スタート］→［すべてのプログラム］→［NEC Projector User Supportware］→［Viewer PPT Converter 3.0］→［Viewer PPT Converter 3.0］の順にクリックする。

参考

● **Viewer PPT Converter 3.0 のアンインストール方法**

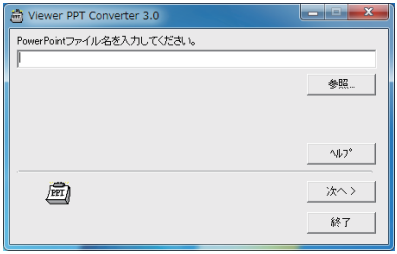
Viewer PPT Converter 3.0 のアンインストール方法をアンインストールする操作は、「Virtual Remote Tool」のアンインストール方法と同じです。ソフト名を「Viewer PPT Converter 3.0」と読み替えてください。（54 ページ）

PowerPoint ファイルを変換して USB メモリへ保存する

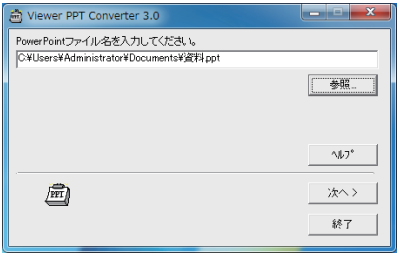
1 **お使いのコンピュータの USB ポートに、USB メモリをセットする。**

2 **Windows の［スタート］→［すべてのプログラム］→［NEC Projector User Supportware］→［Viewer PPT Converter 3.0］→［Viewer PPT Converter3.0］の順にクリックする。**

Viewer PPT Converter 3.0 が起動します。



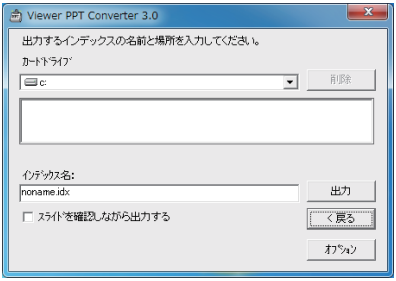
3 **［参照］をクリックして、変換する PowerPoint ファイルを選択し、［開く］をクリックする。**



4 **［次へ >］をクリックする。**

5 **［カードドライブ］を選択し、［インデックス名］を入力する。**

インデックス名は、 8 文字以内の半角英数字で指定してください。半角カタカナ、全角文字、およびロングファイル名は使用できません。



6 **［出力］をクリックする。**

確認メッセージが表示されます。

7 **［OK］をクリックする。**

ファイルの出力が始まります。

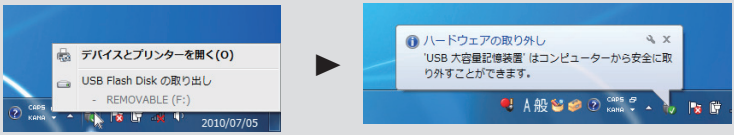
8 [OK] をクリックする。

9 [終了] をクリックする。
Viewer PPT Converter 3.0 が終了します。

10 コンピュータから USB メモリを取り外す。

注意

- コンピュータの USB ポートから USB メモリを取り外す場合は、タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックしてください。



5. オンスクリーンメニュー

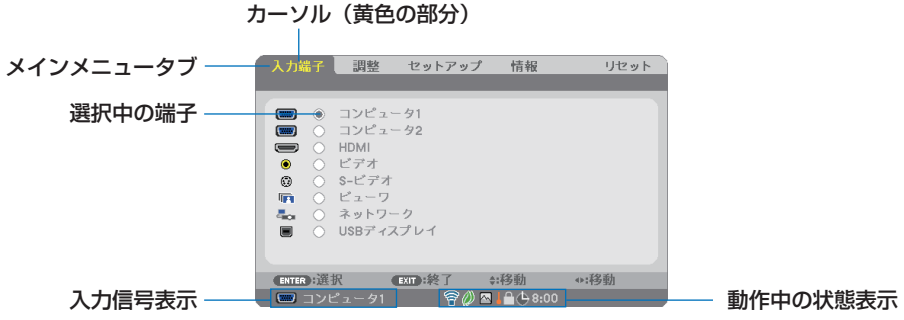
5-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する映像の画質調整や、本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

オンスクリーンメニュー画面の構成

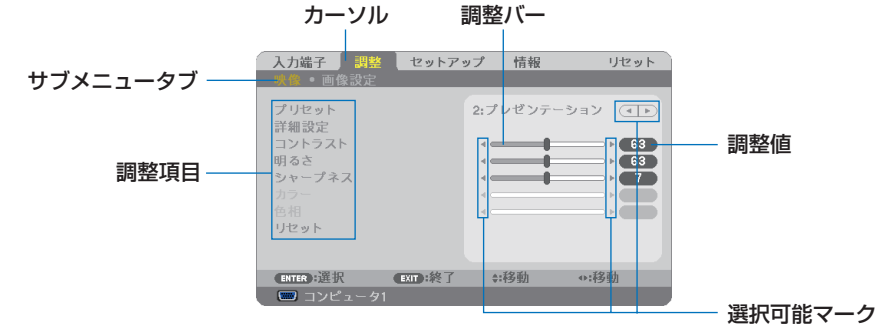
メニューを表示するには〔メニュー〕ボタンを押します。また、メニューを消す場合は〔戻る〕ボタンを押します。
ここでは、メニューを操作しながら、メニュー画面の構成や各部の名称を説明します。
準備：本機の電源を入れて、スクリーンに映像を投写してください。

1 〔メニュー〕ボタンを押す。
ご購入後、はじめて操作したときは入力端子のメニューが表示されます。



無線 LAN ユニット（別売）の動作中、エコモード設定、ファンモードの「高地」設定、強制エコモード、本体キーロック中、8:00 オフタイマーの残り時間のアイコン

2 〔▶〕ボタンを 1 回押す。
カーソルが「調整」に移動し、調整のメニューが表示されます。

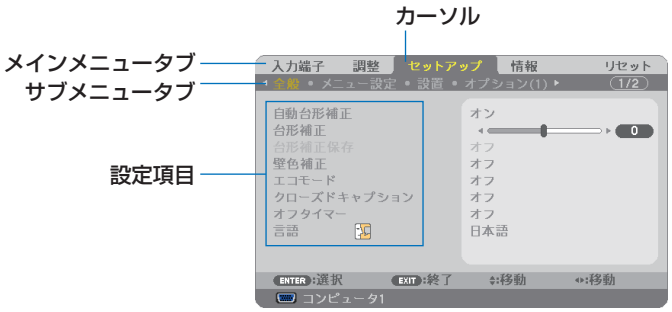


3 (▼/▲)ボタンを押す。
カーソルが上下に移動し、調整項目を選択することができます。

4 「明るさ」にカーソルを合わせ、(◀/▶)ボタンを押す。
画面の明るさが調整されます。
- 「◀ ▶ (選択可能マーク)」が付いている項目は(◀/▶)ボタンで設定を切り替えることができます。
  「◀ ▶ (選択可能マーク)」が付いていない項目の設定を行う場合は、その項目にカーソルを合わせ(決定)ボタンを押します。
- 調整項目内のリセットにカーソルを合わせ(決定)ボタンを押すと、映像の調整や設定を工場出荷状態に戻します。

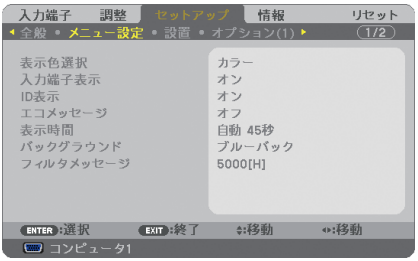
5 (戻る)ボタンを2回押す。
カーソルがメインメニュータブの調整に移動します。

6 (▶)ボタンを1回押す。
カーソルがセットアップに移動し、セットアップのメニューが表示されます。



7 (決定)ボタンを押す。
全般にカーソルが移動します。
- セットアップには全般、メニュー設定、設置、オプション(1)、オプション(2)、有線LAN、無線LANという7つのサブメニュータブがあります。(◀/▶)ボタンで選択します。

8 (▶)ボタンを1回押して「メニュー設定」にカーソルを合わせる。
メニュー設定のメニューに切り替わります。



次ページに続く

9 (▼)ボタンを押して「バックグラウンド」にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
バックグラウンド選択画面が表示されます。
・ バックグラウンドとは、無信号時に表示される画面のことです。

10 (▼/▲)ボタンを押して「ブルーバック」、「ブラックバック」、「ロゴ」のいずれかにカーソルを合わせる。
11 選択したい項目にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
バックグラウンドが設定されます。
・ 選択を取り消す場合は、(戻る)ボタンを押します。
12 (メニュー)ボタンを 1 回押す。
メニューが消えます。

注意 ● 入力信号や設定内容によっては、メニューの一部の情報が欠ける場合があります。

調整画面、設定画面の操作例

●ラジオボタンの選択

選択肢の中からから 1 つ「◉」を選びます。

【例 1】「壁色補正」の選択

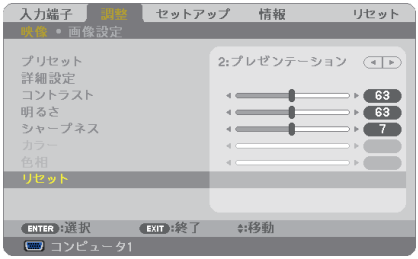
セットアップ→全般→壁色補正

1 (▼/▲)ボタンを押す。
選択されているマーク (◉) が移動します。
2 選択する項目に「◉」を移動したら、(決定)ボタンを押す。

●実行ボタン

機能を実行します。
実行ボタンを選択して機能を実行すると、サブメニュー画面で 戻る ボタンを押しても実行を取り消すことができません。

【例 2】調整のリセット



1. 「リセット」にカーソルが合っていることを確認する。
2. 決定 ボタンを押す。
   確認メッセージが表示されます。
3. 実行する場合は、◀/▶ ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、決定 ボタンを押す。
   機能が実行されます。
   - 機能を実行しない場合は、確認メッセージで「いいえ」を選択し、決定 ボタンを押します。

5-2. オンスクリーンメニュー一覧

は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メニュー					選択項目	参照ページ
メインメニュー	サブメニュー					
入力端子	—				コンピュータ 1	102
					コンピュータ 2	
					HDMI	
					ビデオ	
					S- ビデオ	
					ビューワ	
					ネットワーク	
					USB ディスプレイ	
調整	映像	プリセット			1：高輝度モード、2：プレゼンテーション、3：ビデオ、4：ムービー、5：グラフィック、6：sRGB、7：DICOM SIM.	103
		詳細設定	全般	参照	高輝度モード、プレゼンテーション、ビデオ、ムービー、グラフィック、sRGB、DICOM SIM.	104
				ガンマ補正※1	ダイナミック、ナチュラル、ソフト	
				スクリーンサイズ※2	大、中、小	
				色温度	5000、6500、7800、8500、9300、10500	
				ダイナミックコントラスト	オフ、オン	
				画面モード	静止画、動画	105
				カラーエンハンスメント	オフ、オン	
			ホワイトバランス		コントラスト 赤、コントラスト 緑、コントラスト 青、明るさ 赤、明るさ 緑、明るさ 青	
		コントラスト				105
		明るさ				
		シャープネス				
		カラー				
		色相				
		リセット				106
	画像設定	クロック周波数				106
		位相				
		水平				
		垂直				107
		オーバースキャン			0[%]、5[%]、10[%]	
		アスペクト			NP-M361XJL/NP-M311XJL/NP-M271XJL：自動、4:3、16:9、15:9、16:10、ワイドズーム、リアル NP-M311WJL/NP-M271WJL：自動、4:3、16:9、15:9、16:10、レターボックス、リアル	108

※1：ガンマ補正は、参照で「DICOM SIM.」以外を選択しているときに表示されます。

※2：スクリーンサイズは、参照で「DICOM SIM.」を選択しているときに表示されます。

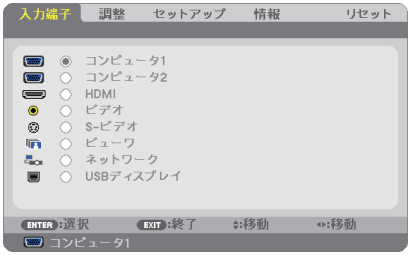
メニュー				選択項目	参照ページ
メインメニュー	サブメニュー				
調整	画像設定	表示位置※3			110
セットアップ	全般	自動台形補正		オフ、オン	111
		台形補正			
		台形補正保存		オフ、オン	
		壁色補正		オフ、ホワイトボード、黒板、黒板（グレー）、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、スカイブルー、ライトローズ、ピンク	112
		エコモード		オフ、オートエコ、エコ 1、エコ 2	
		クローズドキャプション		オフ、キャプション 1、キャプション 2、キャプション 3、キャプション 4、テキスト 1、テキスト 2、テキスト 3、テキスト 4	
		オフタイマー		オフ、0:30、1:00、2:00、4:00、8:00、12:00、16:00	113
		言語		ENGLISH、DEUTSCH、FRANÇAIS、ITALIANO、ESPAÑOL、SVENSKA、日本語、DANSK、PORTUGUÊS、ČEŠTINA、MAGYAR、POLSKI、NEDERLANDS、SUOMI、NORSK、TÜRKÇE、РУССКИЙ、عربي、ΕΛΛΗΝΙΚΆ、简体中文、한국어、ROMÂNĂ、HRVATSKI、БЪЛГАРСКИ、ไทย、हिंदी、INDONESIA、ئۇيغۇر、繁體中文	
	メニュー設定	表示色選択		カラー、モノクロ	113
		入力端子表示		オフ、オン	
		ID 表示		オフ、オン	
		エコメッセージ		オフ、オン	114
		表示時間		手動、自動 5 秒、自動 15 秒、自動 45 秒	
		バックグラウンド		ブルーバック、ブラックバック、ロゴ	
		フィルタメッセージ		NP-M361XJL/NP-M311WJL：オフ、100[H]、500[H]、1000[H]、2000[H]、5000[H] NP-M311XJL/NP-M271XJL/NP-M271WJL：オフ、100[H]、500[H]、1000[H]、2000[H]、6000[H]	115
	設置	投写方法		デスク／フロント、天吊り／リア、デスク／リア、天吊り／フロント	115
		本体キーロック		オフ、オン	116
		セキュリティ		オフ、オン	117
		通信速度		4800bps、9600bps、19200bps、38400bps	
		コントロール ID	コントロール ID 番号	1- 254	
			コントロール ID	オフ、オン	
		テストパターン			118
	オプション (1)	自動調整		オフ、ノーマル、ファイン	119
		ファンモード		自動、高速、高地	
		信号選択	コンピュータ 1	RBG/ コンポーネント、RGB、コンポーネント	120

※ 3：NP-M311WJL/NP-M271WJL は表示されません。

メニュー				選択項目	参照ページ
メインメニュー	サブメニュー				
セットアップ	オプション (1)	信号選択	コンピュータ 2	RBG/ コンポーネント、RGB、コンポーネント	120
			ビデオ	自動判別、NTSC3.58、NTSC4.43、PAL、PAL-M、PAL-N、PAL60、SECAM	
			S- ビデオ	自動判別、NTSC3.58、NTSC4.43、PAL、PAL-M、PAL-N、PAL60、SECAM	
		WXGA モード※4		オフ、オン	
		デインターレース		オフ、オン	
		HDMI 設定	ビデオレベル	自動、標準、拡張	121
			音声選択	HDMI、コンピュータ 2	
		ビープ音		オフ、オン	
	オプション (2)	スタンバイモード		ノーマル、省電力	121
		ダイレクトパワーオン		オフ、オン	122
		オートパワーオン（COMP1）		オフ、オン	
		オートパワーオフ		オフ、0:05、0:10、0:20、0:30、1:00	123
		初期入力選択		ラスト、自動、コンピュータ 1、コンピュータ 2、HDMI、ビデオ、S- ビデオ、ビューワ、ネットワーク、USB ディスプレイ	
	有線 LAN	有線 LAN		無効、有効	123
		設定	DHCP	オフ、オン	124
			IP アドレス		
			サブネットマスク		
			ゲートウェイ		
			自動 DNS	オフ、オン	
			DNS		
		再接続			
	無線 LAN	プロファイル		無効、かんたん接続、プロファイル 1、プロファイル 2	124
		再接続			
情報	使用時間			ランプ残量、ランプ使用時間、フィルタ使用時間、総 CO2 削減量	127
	信号			信号名、信号番号、水平同期周波数、垂直同期周波数、信号形式、ビデオ標準、同期形態、同期極性、走査方式	
	有線 LAN			IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレス	
	無線 LAN			IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレス、SSID、通信モード、WEP/WPA、チャンネル、信号レベル	
	VERSION			FIRMWARE、DATA、	
	その他			プロジェクター名、MODEL NO.、SERIAL NUMBER、LAN UNIT TYPE、CONTROL ID※5	
リセット	—			表示中の信号	129
				全データ	
				ランプ使用時間クリア	
				フィルタ時間クリア	

※4：NP-M311WJL/NP-M271WJL では、「オン」が工場出荷時の値です。
※5： CONTROL ID はコントロール ID を設定しているときに表示されます。

5-3. 入力端子



投写する入力端子を選択します。
現在選択されている入力端子には「●」(ドット) を表示します。

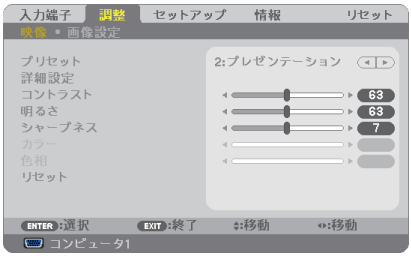
コンピュータ 1	コンピュータ 1 映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
コンピュータ 2	コンピュータ 2 映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
HDMI	HDMI 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
ビデオ	ビデオ映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
S －ビデオ	S- ビデオ映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
ビューワ	本機にセットした USB メモリのデータを投写します。
ネットワーク	LAN ポート（RJ-45）または別売の無線 LAN ユニットを介してコンピュータから送られてくるデータを投写します。
USB ディスプレイ	USB（PC）ディスプレイ端子に接続しているコンピュータの画面を投写します。

参考

- コンポーネント入力信号をコンピュータ 1 およびコンピュータ 2 映像入力端子に接続している場合は、コンピュータ 1 およびコンピュータ 2 を選択してください。コンピュータ 1 およびコンピュータ 2 映像入力端子の入力信号は、コンピュータ信号とコンポーネント信号を自動的に判別します。

5-4. 調整

映像



●プリセット

投写した映像に最適な設定を選択します。
鮮やかな色調にしたり、淡い色調にしたり、ガンマ（階調再現性）を設定できます。
本機の工場出荷時は、プリセット項目 1 ～ 7 に、あらかじめ次の設定がされています。
また、詳細設定でお好みの色調およびガンマにするための細かな設定ができ、設定値をプリセット項目 1 ～ 7 に登録できます。

1：高輝度モード	明るい部屋で投写するときに適した設定にします。
2：プレゼンテーション	PowerPoint などでプレゼンテーションを行うときに適した設定にします。
3：ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。
4：ムービー	映画を投写するときに適した設定にします。
5：グラフィック	グラフィック画面に適した設定にします。
6：sRGB	sRGB に準拠した色が再現されます。
7：DICOM SIM.	医療業界で用いられている DICOM 規格に近似した設定にします。

注意

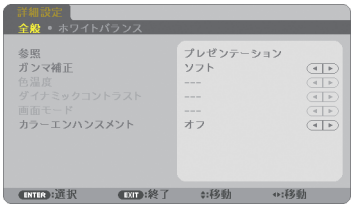
- 本機の「DICOM SIM.」は、DICOM 規格に近似した映像に調整する設定であり正しく投写できない場合があります。そのため「DICOM SIM.」は教育用途のみに使用し、実際の診断には使用しないでください。

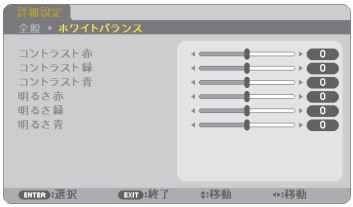
参考

- 「sRGB」は、機器間の色再現の違いを統一するために、コンピュータやディスプレイ、スキャナ、プリンタなどの色空間を規定· 統一した国際標準規格です。1996年に Hewlett-Packard社と Microsoft社が策定し、1999年に IECの国際規格となりました。
- 「DICOM SIM.」の DICOM（ダイコム）は、医療用画像の保存や通信に用いられている世界標準規格の名称です。コンピュータ断層撮影（CT）、磁気共鳴映像法（MRI）や内視鏡などの診療で用いられています。

詳細設定

お客様のお好みに調整した設定にします。
調整値を登録するには、プリセット項目１～７のいずれかを選択し、「詳細設定」にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押します。
ガンマ補正、スクリーンサイズ、色温度、ダイナミックコントラスト、画面モード、カラーエンハンスメント、ホワイトバランスの項目について、細かな設定ができます。





全般 ― 参照

詳細設定のもとになるモードを選択します。

全般 ― ガンマ補正

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

ダイナミック	メリハリのある映像設定です。
ナチュラル	標準的な設定です。
ソフト	信号の暗い部分が鮮明になります。

注意

- 参照で「DICOM SIM.」を選択した場合は、ガンマ補正は設定できません。

全般 ― スクリーンサイズ

投写画面のサイズに応じた適切なガンマ補正を行います。

大	150 型前後のサイズのときに選択します。
中	100 型前後のサイズのときに選択します。
小	50 型前後のサイズのときに選択します。

注意

- 参照で「DICOM SIM」を選択した場合のみ設定できます。

全般 ― 色温度

色（R, G, B）のバランスを調整して色再現性を最良にします。
高い数値の色温度は青みがかった白になり、低い数値の色温度は赤みがかった白になります。

注意

- 参照で「高輝度モード」および「プレゼンテーション」を選択した場合、色温度は選択できません。

全般 ― ダイナミックコントラスト

「オン」に設定すると、最適なコントラスト比に調整します。

全般 ― 画面モード

投写する映像が静止画の場合、またはアニメーションなどの動きのある映像の場合に応じて、最適な画面のモードに設定します。

注意

- 参照で「高輝度モード」を選択した場合のみ設定できます。

全般―カラーエンハンスメント

「オン」に設定すると、色が鮮やかになります。

注意

- 参照で「プレゼンテーション」を選択した場合のみ設定できます。

ホワイトバランス

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

明るさ　赤 明るさ　緑 明るさ　青	映像の黒色を調整します。
コントラスト　赤 コントラスト　緑 コントラスト　青	映像の白色を調整します。

注意

- ホワイトバランスを操作した場合は、色温度の数値と実際の色合いが異なります。

●コントラスト／明るさ／シャープネス／カラー／色相

スクリーンに投写している映像の調整を行います。

コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。
カラー	色を濃くしたり、淡くします。
色相	赤みがかった映像にしたり、緑がかった映像にします。

注意

- 各調整項目は入力信号によって調整できない場合があります。

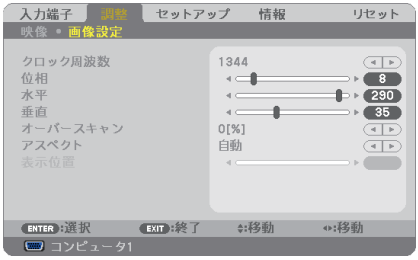
入力信号	コントラスト	明るさ	シャープネス	カラー	色相
コンピュータ/HDMI（RGB）	○	○	○	×	×
コンピュータ /HDMI（コンポーネント）	○	○	○	○	○
USB ディスプレイ	○	○	○	×	×
ビデオ、S- ビデオ	○	○	○	○	○
ビューワ、ネットワーク	○	○	○	×	×

（○：調整可、×：調整不可）

●リセット

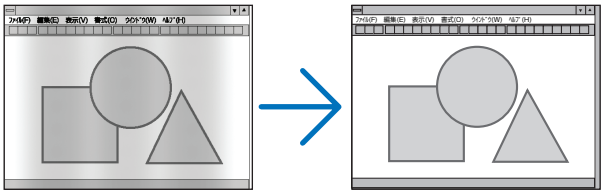
「映像」の調整および設定を工場出荷状態に戻します。プリセットの番号、およびそのプリセット内の参照はリセットされません。現在選択されていないプリセットの詳細設定もリセットされません。

画像設定



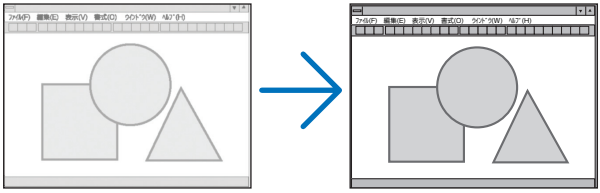
●クロック周波数

画面の明るさが一定になる（明暗の縦帯が出なくなる）ように調整します。



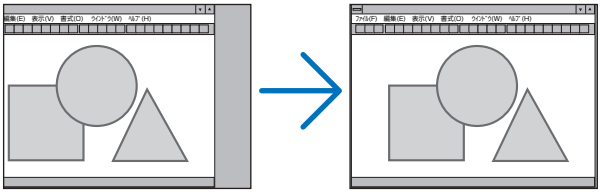
●位相

画面の色ずれ、ちらつきが最小になるように調整します。



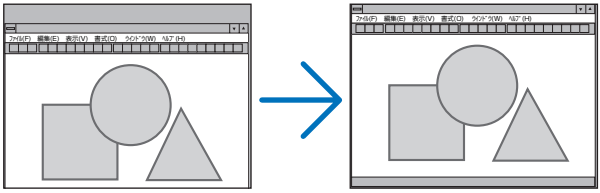
●水平

画面を水平方向に移動します。



●垂直

画面を垂直方向に移動します。

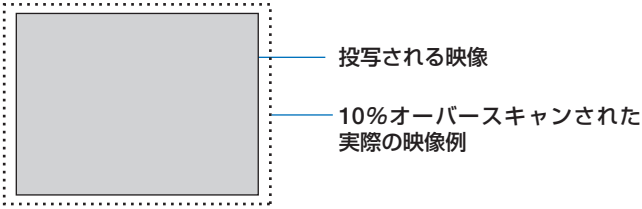


注意

- クロック周波数、位相を調整中に画面が乱れることがありますが故障ではありません。
- クロック周波数、位相、水平、垂直を調整すると、そのとき投写している信号に応じた調整値として本機に記憶します。そして、次回同じ信号(解像度、水平･垂直走査周波数）を投写したとき、本機に記憶している調整値を自動的に呼び出して設定します。
  本機に記憶した調整値を消去する場合は、オンスクリーンメニューのリセット→「表示中の信号」または「全データ」を行ってください。

●オーバースキャン

オーバースキャン（画面周囲のフレーム部分をカットする処理）の割合を設定します。



注意

- アスペクトが「リアル」のときは選択できません。
- ビデオ入力および S-ビデオ入力時は 0[%] を選択できません。

●アスペクト

画面の縦横の比率を選択します。
本機は、入力された信号を自動的に判別して最適なアスペクト比を選択します。
・コンピュータの主な解像度とアスペクト比は次のとおりです。

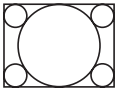
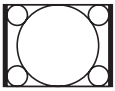
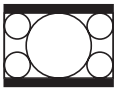
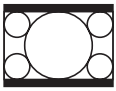
解像度		アスペクト比
VGA	640 × 480	4：3
SVGA	800 × 600	4：3
XGA	1024 × 768	4：3
WXGA	1280 × 768	15：9
WXGA	1280 × 800	16：10
WXGA+	1440 × 900	16：10
SXGA	1280 × 1024	5：4
SXGA+	1400 × 1050	4：3
UXGA	1600 × 1200	4：3
WUXGA	1920 × 1200	16：10

選択項目	説　明
自動	入力信号のアスペクト比を自動判別して投写します。（次ページ） 入力信号によっては、アスペクト比を誤判別することがあります。誤判別したときは、以下の項目から適切なアスペクト比を選択してください。
4：3	4：3 のサイズで投写します。
16：9	16：9 のサイズで投写します。
15：9	15：9 のサイズで投写します。
16：10	16：10 のサイズで投写します。
ワイドズーム (NP-M361XJL/NP-M311XJL/ NP-M271XJL)	映像を左右に引き伸ばして投写します。映像の左端と右端は表示されません。
レターボックス (NP-M311WJL/NP-M271WJL)	レターボックスの信号が適切に投写されるように縦方向、横方向を均等に拡大して投写します。映像の上端と下端は表示されません。
リアル	コンピュータ入力信号の解像度が本機の解像度よりも小さいときに、コンピュータ入力信号の解像度のまま投写します。 【例 1】NP-M361XJL/NP-M311XJL/NP-M271XJL に、解像度が 800 × 600 の信号を入力したとき 【例 2】NP-M311WJL/NP-M271WJL に、解像度が 800 × 600 の信号を入力したとき 注意 ● コンピュータ以外の信号を投写しているときは「リアル」は選択できません。 ● コンピュータ入力信号の解像度が本機の解像度以上のときは「リアル」は選択できません。

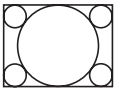
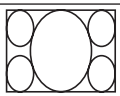
【例】アスペクト比を適切に自動判別したときの画面イメージ

適応機種 NP-M361XJL/NP-M311XJL/NP-M271XJL

コンピュータ信号のとき

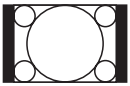
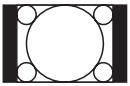
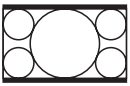
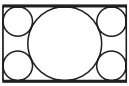
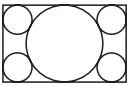
入力信号のアスペクト比	4:3	5:4	16:9	15:9	16:10
適切に自動判別したときの画面イメージ					

ビデオ信号のとき

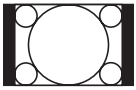
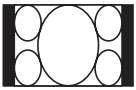
入力信号のアスペクト比	4:3	レターボックス	スクイーズ
自動判別したときの画面イメージ			 （注）スクイーズを適切に投写するには「16:9」または「ワイドズーム」を選択してください。

適応機種 NP-M311WJL/NP-M271WJL

コンピュータ信号のとき

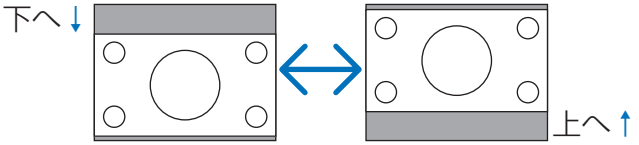
入力信号のアスペクト比	4:3	5:4	16:9	15:9	16:10
適切に自動判別したときの画面イメージ					

ビデオ信号のとき

入力信号のアスペクト比	4:3	レターボックス	スクイーズ
自動判別したときの画面イメージ		（注）レターボックスを適切に投写するには「レターボックス」を選択してください。	 （注）スクイーズを適切に投写するには「16:9」を選択してください。

●表示位置

アスペクトで「16:9」、「15:9」、または「16:10」を選択しているとき、表示領域の垂直位置を調整します。



注意

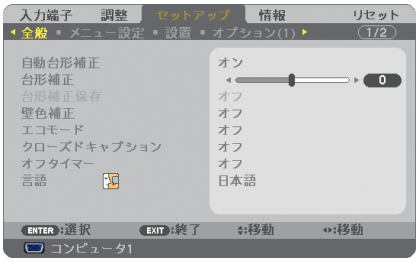
- NP-M311WJL/NP-M271WJLには、この機能はありません。

参考

- ビデオ映像の標準アスペクト比 4：3 より横長の映像を、「レターボックス」と呼びます。映画フィルムのビスタサイズ 1.85：1 やシネマスコープ 2.35：1 のアスペクト比があります。
- アスペクト比 16:9 の映像を横方向にスクイーズ（圧縮）して 4:3 にした映像を「スクイーズ」と呼びます。

5-5. セットアップ

全般



●自動台形補正

自動台形補正を行います。自動台形補正を「オン」にした場合、台形補正保存は使用できません。

オフ	自動台形補正を行いません。台形補正を手動で行うときは、次の台形補正のメニュー項目で調整します。
オン	自動台形補正を行います。

注意
- 「投写方法」で「デスク／フロント」以外の項目（天吊り／リア、デスク／リア、天吊り／フロント）を選択すると、「自動台形補正」は無効となり選択できません。

参考
- 自動台形補正が対応している傾きの範囲は、上下約 30˚ です。˚
- 自動台形補正は、投写中、投写角度を固定してから約 2 秒後に行われます。

●台形補正

台形補正画面を表示して、投写画面の台形歪みを調整します。
操作について詳しくは、「2-6. 台形歪みを手動で調整する」（38 ページ）をご覧ください。

●台形補正保存

台形補正で調整した調整値を保存します。電源を切っても調整値は失われません。

オフ	次に本機の電源を入れたときに、調整値を工場出荷状態に戻します。
オン	本機の電源が切れる際に、本体内部のメモリに調整値を上書き保存します。

●壁色補正

映像を投写する面がスクリーンではなく、部屋の壁などの場合、メニューから壁の色に近い項目を選択すると、壁の色に適応した色合いに補正して投写できます。

注意

- 「ホワイトボード」を選択すると、明るさが低下します。

●エコモード

エコモードを設定すると、本機の CO_2 排出量（消費電力削減量より換算）を削減することができます。エコモードは主にランプの輝度を下げて消費電力を削減します。このためにランプ交換時間（目安）※を延ばすことにもなります。（46,128 ページ）

※保証時間ではありません。

●クローズドキャプション

ビデオ信号、S- ビデオ信号にクローズドキャプション信号が含まれている場合に字幕や文字を画面に表示します。

オフ	表示しません。
キャプション 1 ～ 4、テキスト 1 ～ 4	選択した字幕や文字を表示します。

注意

- 次の状態のときクローズドキャプションは表示されません。
  - ・オンスクリーンメニュー表示中
  - ・メッセージ表示中
  - ・（部分拡大 +/−）ボタンによる画面拡大中
  - ・（静止）ボタンによる静止画中
  - ・（AVミュート）ボタンによる映像と音声の消去中
- 台形補正で極端に補正をかけた場合、補正の組み合わせによっては、クローズドキャプションの文字が画面からはみ出すことがあります。
  はみ出したときは画面におさまるように調整してください。

参考

- クローズドキャプションは、アメリカで聴覚に障害を持つ人々のために、ビデオ信号などを画面に投写する際、音声情報を字幕や文字で表示する技術です。

●オフタイマー

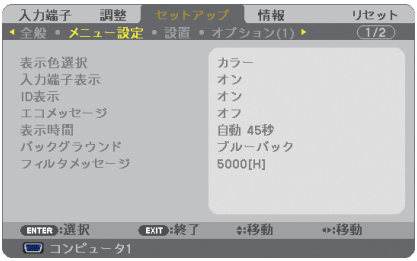
オフタイマーを設定しておくと、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。設定した時間後に本機の電源が切れます（スタンバイ状態になります）。
オフタイマーを設定するとオンスクリーンメニュー下部には、本機の電源が切れるまでの残り時間が表示されます。また、オフタイマー動作時は電源インジケータの青色が長い点滅になります。

●言語

メニューに表示される言語を選択します。

参考
- 言語は、リセットを行っても変更されません。

メニュー設定



この画面は NP-M361XJL/NP-M311WJL のものです。

●表示色選択

本機のメニューをカラーで表示するか、モノクロで表示するかを選択します。

●入力端子表示

画面右上に入力端子を表示するか、しないかを選択します。
「オン」を選択した場合は、次の表示を行います。

- 入力信号を切り替えたときに、画面右上に「コンピュータ 1」などの入力端子名を表示します。
- 信号が入力されていないときは、画面中央に入力端子の確認を促す無信号ガイダンスが表示されます。ただし、入力端子でビューワまたはネットワークを選択しているときは、無信号ガイダンスを表示しません。

● ID 表示

複数台のプロジェクターを本機のリモコンやコントロール ID 機能対応のリモコンを使って操作する場合、リモコンの ID SET ボタンを押したときに、コントロール ID 画面を表示するか、しないかを選択します。設定はコントロール ID（117 ページ）をご覧ください。

●エコメッセージ

本機の電源を入れたときに下の画面のようなエコメッセージを表示するか、しないかを選択します。
エコメッセージは、本機の利用者に省エネをすすめるためのメッセージで、エコモードが「オフ」の場合はエコモードを設定するように促します。

エコモードを設定しているときのエコメッセージ

表示を消すにはいずれかのボタンを押します。30 秒間ボタン操作をしない場合は自動で消えます。

エコモードが「オフ」のときのエコメッセージ

決定ボタンを押すとエコモード選択画面を表示します。(46 ページ)
表示を消すには戻るボタンを押します。

- 30 秒間ボタン操作をしない場合は自動で消えます。

●表示時間

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動的に閉じるまでの時間を選択します。

●バックグラウンド

入力信号がないときの背景色を選択します。

ブルーバック	背景色が青
ブラックバック	背景色が黒
ロゴ	背景に画像を表示

注意

- バックグラウンド「ロゴ」を選択していても、入力端子がネットワークまたは USB ディスプレイのときは「ブルーバック」になります。
- 入力端子表示を「オン」にしているときは、バックグラウンドの設定に関わらず、画面中央に入力端子の確認を促す無信号ガイダンスが表示されます。

参考

- バックグラウンドは、リセットを行っても変更されません。

●フィルタメッセージ

本機には、フィルタの清掃時期をお知らせする機能があります。フィルタメッセージで設定した時間を超えると、画面上に「フィルタ清掃時期です。」のメッセージが表示されます。
この場合はフィルタの清掃時期ですので、フィルタを清掃してください。清掃のしかたは「7-1. フィルタの清掃」（143 ページ）をご覧ください。
フィルタの汚れかたに応じて、工場出荷時の設定（5000[H]※1／6000[H]※2）を変更してください。たとえば、フィルタの汚れかたがひどい場合は、設定時間を短くしてこまめに清掃してください。

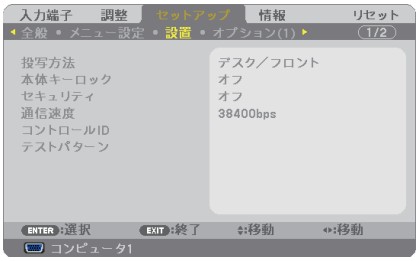
オフ	フィルタ清掃のメッセージは表示されません。
100[H]／500[H]／1000[H]／2000[H]／5000[H]※1／6000[H]※2	設定した時間（100 時間／500 時間／1000 時間／2000 時間／5000 時間／6000 時間）を超えると、画面上にフィルタ清掃のメッセージが表示されます。

※1：NP-M361XJL/NP-M311WJL のみ表示されます。
※2：NP-M311XJL/NP-M271XJL/NP-M271WJL のみ表示されます。

参考

- フィルタ清掃のメッセージは、電源投入時の 1 分間、および本機の⏻ボタンまたはリモコンの電源（切）ボタンを押したときに表示されます。電源投入時にフィルタ清掃のメッセージを消す場合は、本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。
- フィルタメッセージは、リセットを行っても変更されません。

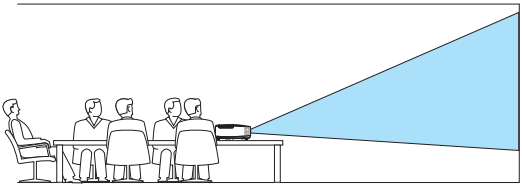
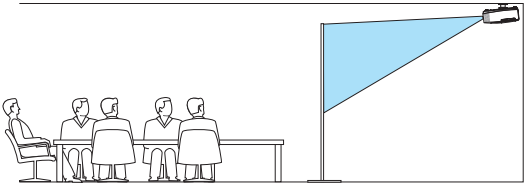
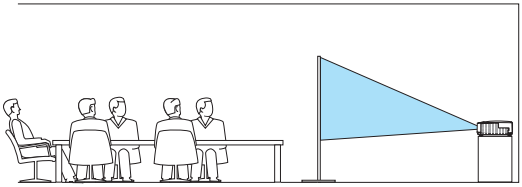
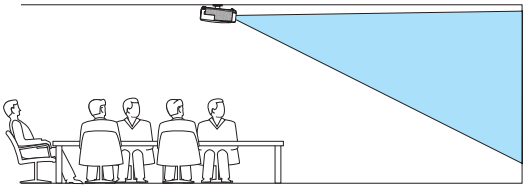
設置



●投写方法

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。

⚠警告	天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。 お客様による設置は絶対にしないでください。 落下してけがの原因となります。

デスク／フロント	テーブルに設置してスクリーンの前面から投写 
天吊り／リア	天井に設置してスクリーンの背面から投写 
デスク／リア	テーブルに設置してスクリーンの背面から投写 
天吊り／フロント	天井に設置してスクリーンの前面から投写 

●本体キーロック

プロジェクター本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

オフ	本体操作部のボタンが働きます。
オン	本体操作部のボタンが利かなくなります（ロック）。

注意

- 本体キーロックの解除方法
  本体キーロックが「オン」に設定されているときに、本体の（戻る）ボタンを約 10 秒間押すと、本体キーロックの設定が解除されます。

参考

- 本体キーロック中は、メニュー画面右下に「🔒」アイコンが表示されます。
- 本体の操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。

●セキュリティ

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。
セキュリティを有効にすると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ映像は投写されません。
セキュリティ設定のしかたは「3-5. セキュリティを設定して無断使用を防止する」（49 ページ）をご覧ください。

オフ	セキュリティを無効にします。
オン	セキュリティキーワードを設定してセキュリティを有効にします。

参考

- セキュリティは、リセットを行っても解除されません。

●通信速度

PC コントロール端子のデータ転送速度の設定を行います。接続する機器と転送速度を合わせてください。

参考

- 通信速度は、リセットを行っても変更されません。

●コントロール ID

複数台のプロジェクターに ID を割り振り、1 個のリモコンを使用して、ID を切り替えることにより、各々のプロジェクターを個別に操作することができます。
また、複数台のプロジェクターに同じ ID を設定し、1 個のリモコンで一括操作する場合などに利用します。

コントロール ID 番号	割り当てる番号を 1 ～ 254 の中から選択します。	
コントロール ID	オフ	コントロール ID 機能が無効になります。
	オン	コントロール ID 機能が有効になります。

注意

- コントロール ID を「オン」にすると、コントロール ID 機能に対応していないリモコンからは操作できなくなります（本体操作ボタンは除く）。

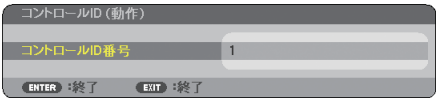
参考

- コントロール IDは、リセットを行っても変更されません。
- 本体の（決定）ボタンを 10秒間押し続けると、コントロール IDを解除するメニューが表示されます。

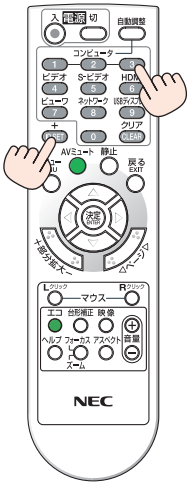
リモコンへの ID の設定／変更方法

1 プロジェクターの電源を入れる。

2 リモコンの(ID SET)ボタンを押す。
コントロール ID 画面が表示されます。



このとき、現在のリモコン ID で操作できる場合は「動作」、操作できない場合は「非動作」画面が表示されます。
「非動作」になっているプロジェクターを操作したい場合は、手順**3**でプロジェクターのコントロール ID 番号と同じ番号をリモコンに設定します。



3 リモコンの(ID SET)ボタンを押したまま数字ボタンを押して、リモコンの ID を設定する。
たとえば「3」に変更するには数字の 3 を押します。
ID なし（すべてのプロジェクターを一括操作）にするには、000 を入力するか、または(CLEAR)ボタンを押します。

参考
- リモコンの ID は 1 ～ 254 まで登録できます。

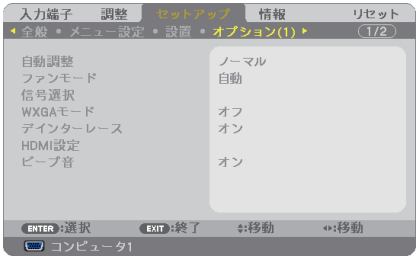
4 (ID SET)ボタンを離す。
コントロール ID 画面が表示されます。
このとき、変更されたリモコン ID で動作・非動作画面が更新されます。

注意
- リモコンの電池が消耗した場合や電池を抜いた場合、しばらくすると ID はクリアされることがあります。
- リモコンの電池を抜いた状態でいずれかのボタンを押してしまうと、設定している ID はクリアされます。

●テストパターン

プロジェクター設置時の画面の歪み状態を確認する際に表示します。
(決定)ボタンを押すとメニュー表示が消えテストパターンを表示します。(戻る)ボタンを押すとテストパターンが消えメニュー画面に戻ります。
テストパターンを表示しているときはメニュー操作および台形補正調整はできません。台形歪みを調整するときは、テストパターンを消してから行ってください。

オプション（1）



●自動調整

調整されていないコンピュータ入力信号に切り替わったときに、表示位置と画素のずれについて調整方法を設定します。

オフ	自動調整を行いません。 （自動調整）を押して表示を調整してください。 または、オンスクリーンメニューを表示して、クロック周波数や位相を調整してください
ノーマル	簡易的な自動調整を行います。
ファイン	より精密な自動調整を行います。 「ノーマル」よりも処理時間がかかるため、信号を切り替えたあと映像が表示されるまで時間がかかります。

参考

- 工場出荷時は「ノーマル」に設定されています。
- （自動調整）を押したときは、「ファイン」と同じ調整処理を行います。

●ファンモード

本機内部の温度を下げるための冷却ファンの動作を設定します。

自動	本機内部の温度センサにより、適切な速度で回転します。
高速	常に高速で回転します。
高地	標高約 1600m 以上の高地など気圧の低い場所で本機を使用する場合に選びます。常に高速で回転します。

注意

- 数日間連続して本機を使用する場合は、必ず「高速」に設定してください。
- 標高約 1600m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- ファンモードを「高地」に設定しないまま、標高約 1600m 以上の高地で本機を使用した場合、温度プロテクタが働き、自動的に電源が切れることがあります。
  さらに、ランプ消灯後ランプの温度が上昇するため、温度プロテクタが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。
- 「高地」を選択した状態のまま本機を低地（標高約 1600m 未満）で使用すると、ランプが冷えすぎて画面がちらつくことがあります。
- 高地で使用すると、光学部品（ランプなど）の交換時期が早まる場合があります。
- ファンモードは、リセットを行っても変更されません。

参考
- 「高地」を選択するとオンスクリーンメニュー下部に アイコンが表示されます。

●信号選択

各映像入力端子について入力信号を設定します。

コンピュータ 1 コンピュータ 2	DVD プレーヤなどのコンポーネント信号を、コンピュータ 1 映像入力端子およびコンピュータ 2 映像入力端子に専用ケーブルで接続する場合に選択します。
ビデオ S- ビデオ	NTSC や PAL など、国によって異なるテレビジョン映像信号方式を選択します。 工場出荷状態は「自動判別」に設定されています。プロジェクターが自動的に判別できない信号のときに設定します。

● WXGA モード

「オン」にすると、入力信号を認識する際、ワイド信号（WXGA：1280 × 768 ドット／WUXGA：1920 × 1200 ドット）を優先します。
WXGA モードを「オン」に設定しているとき、XGA（1024 × 768 ドット）信号または UXGA（1600 × 1200 ドット）信号を入力すると、正しく認識されない場合があります。その場合は WXGA モードを「オフ」にしてください。

参考
- NP-M311WJL/NP-M271WJL は、工場出荷時の設定が「オン」になっています。NP-M361XJL/NP-M311XJL/NP-M271XJL は、工場出荷時の設定が「オフ」になっています。

●デインターレース

ビデオや DVD など標準画質映像（480i または 575i 信号）および HDTV（1080 i 信号）のときにインターレース信号の映像のちらつきを低減させます。

注意
- 動画信号によっては、映像にギザギザが目立つ場合があります。このようなときは「オフ」に設定してください。
- HDTV（プログレッシブ）、コンピュータ入力信号のときは選択できません。
- 接続する機器によっては、選択できない場合があります。

● HDMI 設定

本機の HDMI 入力端子と外部機器とを接続した場合の映像信号レベルと音声入力端子の選択です。

ビデオレベル	自動	信号を出力する機器の情報をもとにビデオレベルを自動的に切り替えます。 接続している機器によっては正しく設定できない場合があります。その場合は、メニューで「標準」または「拡張」に切り替え最適な状態で視聴してください。
	標準	拡張を無効にします。
	拡張	映像のコントラストが向上し、暗部および明部がよりダイナミックに表現されます。
音声入力選択	HDMI	HDMI 入力端子のデジタル音声になります。
	コンピュータ 2	コンピュータ 2 の音声入力端子になります。

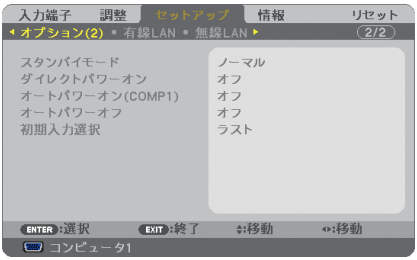
●ビープ音

電源の入／切や入力切り替えなどの操作をしたとき、また本機にエラーが発生したときなどに確認音を鳴らします。

参考

- ビープ音の音量は調整できません。また、(AVミュート)ボタンを押しても消えません。ビープ音を出したくない場合は、ビープ音を「オフ」に設定してください。

オプション (2)



●スタンバイモード

本機がスタンバイ状態になったときの電力消費量の設定を行います。

ノーマル	スタンバイ状態のとき、ステータスインジケータが緑色で点灯します。
省電力	省電力状態になり、本機のスタンバイ状態のときの消費電力が下がります。 スタンバイ状態のとき、電源インジケータは赤色で点灯し、ステータスインジケータが消灯します。 スタンバイ状態のときに次の端子や機能が働きません。 モニタ出力（コンピュータ 1）端子、音声出力端子、LAN 機能、メール通知機能、オートパワーオン（COMP1）、本体の⏻ボタン以外の操作ボタン、リモコンの電源 入 以外の操作ボタン、Virtual Remote Tool、USB ディスプレイ

注意

- 本体キーロック、コントロールID、オートパワーオン（COMP1）のいずれかが「オン」に設定されていると、スタンバイモードを「省電力」に設定していても無効になります。

参考

- スタンバイモードを「省電力」にしていても、ＰＣコントロール端子を使った電源のオン／オフは行えます。
- スタンバイモードは、リセットを行っても変更されません。
- スタンバイモードはカーボンメータの CO_2 削減量の計算から除外しています。

●ダイレクトパワーオン

本機の電源プラグに AC 電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。
本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

オフ	AC 電源が供給されるとスタンバイ状態になります。
オン	AC 電源が供給されると電源が入ります。 初期入力選択（次ページ）で設定している信号が投写されます。

●オートパワーオン（COMP1）

本機がスタンバイ状態のとき、コンピュータ信号が入力されると自動的に投写する設定です。
本機のコンピュータ１映像入力端子とコンピュータをコンピュータケーブルで接続し、本機をスタンバイ状態にします。

オフ	オートパワーオン（COMP1）機能は働きません。
オン	コンピュータ信号を感知すると本機の電源を自動で入れてコンピュータ画面を投写します。

注意

- コンピュータ１映像入力端子にコンポーネント信号を入力したときやシンクオングリーン（Sync on Green）またはコンポジットシンク（Composite Sync）のコンピュータ信号の場合は働きません。
- オートパワーオン（COMP1）を「オン」に設定すると、スタンバイモードを「省電力」に設定していても無効になります。
- 本機の電源を切ったあとにオートパワーオン（COMP1）を働かせたい場合は、電源を切ったあと３秒以上待ってから、コンピュータ信号を入力してください。本機の電源を切りスタンバイ状態になるときに、コンピュータ信号が本機に入力され続けていると、本機の電源は入らずスタンバイ状態を継続します。

●オートパワーオフ

設定した時間以上信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源を切ります。

オフ	オートパワーオフ機能は働きません。
0:05 ／ 0:10 ／ 0:20 ／ 0:30 ／ 1:00	設定した時間（5 分／ 10 分／ 20 分／ 30 分／ 1 時間）以上信号入力がないと自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。

●初期入力選択

本機の電源を入れたとき、どの入力信号（入力端子）にするかの設定を行います。

ラスト	最後に投写した入力信号を投写します。
自動	入力信号の自動検出を行い、最初に見つかった入力信号を投写します。
コンピュータ 1	コンピュータ 1 映像入力端子の入力信号を投写します。
コンピュータ 2	コンピュータ 2 映像入力端子の入力信号を投写します。
HDMI	HDMI 入力端子の入力信号を投写します。
ビデオ	ビデオ映像入力端子の入力信号を投写します。
S- ビデオ	S- ビデオ映像入力端子の入力信号を投写します。
ビューワ	ビューワを表示します。（83 ページ）
ネットワーク	LAN ポート（RJ-45）または別売の無線 LAN ユニットを介してコンピュータから送られてくるデータを投写します。
USB ディスプレイ	USB（PC）ディスプレイ端子の入力信号を投写します。

有線 LAN

重要

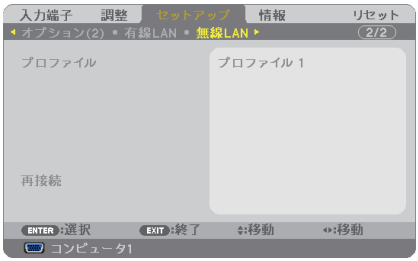
- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- 有線 LAN を使う場合は、本機の LAN ポート（LAN）に LAN ケーブル（Ethernet ケーブル）を接続してください。（138 ページ）

参考

- ネットワーク設定で設定した内容は、「リセット」を行っても変更されません。

有線	無効	有線 LAN を無効にします。
	有効	有線 LAN を有効にします。
設定	DHCP	オン .... DHCP サーバによって IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。 オフ .... ネットワーク管理者から割り当てられた IP アドレスやサブネットマスクを設定します。
	IP アドレス	本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。
	サブネットマスク	本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。
	ゲートウェイ	本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。
	自動 DNS	オン .... DHCP サーバによって、本機を接続する DNS サーバの IP アドレスを自動的に設定します。 オフ .... 本機を接続するネットワークの DNS サーバの IP アドレスを設定します。

無線 LAN（別売の無線 LAN ユニット接続時）



重要

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- 無線 LAN を使う場合は、本機に別売の無線 LAN ユニットを取り付けてください。（139 ページ）

プロファイル	・ 無線 LAN ユニットを使用する場合の設定を 2 とおり、本機のメモリに記憶することができます。（65 ページ） ・ 本機のメモリに記憶した設定を呼び出す場合は、「プロファイル」から選んで画面下の「確定」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押します。 ・ 添付の NEC Projector CD-ROM に収録している Image Express Utility Lite を使って“かんたん接続”を行う場合は、無線 LAN ページのプロファイルのリストから「かんたん接続」を選択します。
再接続	ネットワークの接続を試みます。「プロファイル」を変更したときなどに実行してください。

注意

- プロファイルで「かんたん接続」を選択した場合は、DHCP、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、自動 DNS の項目の設定を変更できません。ただし、「チャンネル」の設定は変更できます。

本機に LAN の設定を行うヒント

- **LAN の設定を行うには？**
  HTTP サーバ機能（61 ページ）へアクセスし、NETWORK SETTINGS → SETTINGS → WIRELESS LAN の「PROFILE 1」および「PROFILE 2」から、設定を記憶するプロファイルのラジオボタンを◉にします。
  本機では、無線 LAN ユニットを使用する設定を 2 とおり、メモリに記憶することができます。
  続いて、選択したプロファイルの「SETTING」をクリックし、「DHCP」の ENABLE（有効）／DISABLE（無効）、「IP ADDRESS」、「SUBNET MASK」、「GATEWAY」などの設定後、「SAVE」をクリックします。保存した内容を反映するには、「SETTING」タブをクリックし、「APPLY」をクリックします。（64 ページ）

- **プロファイル番号に記憶した設定を呼び出すには？**
  HTTP サーバから設定した「PROFILE 1」を使用する場合は、本機のオンスクリーンメニュー（セットアップ→無線 LAN ページ）のプロファイルのリストから「プロファイル 1」、「PROFILE 2」を使用する場合は「プロファイル 2」を選択します。続いて「確定」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押します。（124 ページ）

- **DHCP サーバに接続するには？**
  有線 LAN ページで「設定」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押します。
  設定ページを表示します。「DHCP」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押します。
  「オン」を選択し、決定ボタンを押します。
  DHCP サーバを使用せず直接 IP アドレスを設定する場合は、HTTP サーバ機能をご使用ください。（61 ページ）

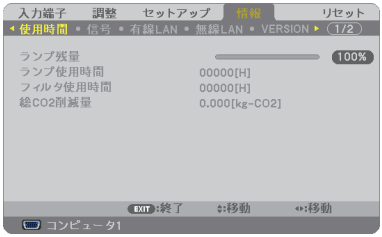
- **無線 LAN 特有の設定（通信モードや WEP/WPA (セキュリティ通信)）を行うには？**
  HTTP サーバ機能（61 ページ）へアクセスし、NETWORK SETTINGS → SETTINGS → WIRELESS LAN の「PROFILE 1」および「PROFILE 2」から、設定を記憶するプロファイルのラジオボタンを◉にします。
  「SETTING」をクリックし、必要な設定を行い「SAVE」をクリックします。
  本機のオンスクリーンメニュー（セットアップ→無線 LAN ページ）のプロファイルのリストから、HTTP サーバで設定を行ったプロファイルを選択します。

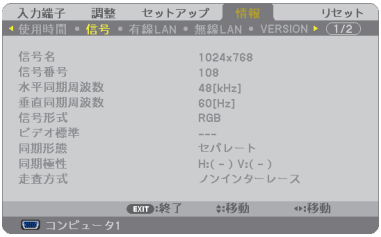
- **接続する SSID を選択するには？**
  HTTP サーバ機能（61 ページ）へアクセスし、NETWORK SETTINGS → SETTINGS → WIRELESS LAN → CONNECTION ページで「SITE SURVEY」をクリックし、リストの中から、接続する SSID を選択します。
  「SITE SURVEY」を使用しない場合は、同じ CONNECTION ページで、SSID を直接入力し、「INFRASTRUCTURE」または「ADHOC」を選択します。（65 ページ）

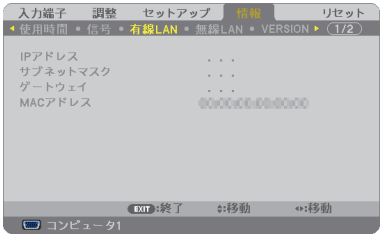
- **プロジェクターのランプ交換時期や各種のエラーをＥメールで受け取るには？**
  HTTP サーバ機能（61 ページ）へアクセスし、NETWORK SETTINGS → ALERT MAIL ページで「SENDER'S ADDRESS」や「SMTP SERVER NAME」、「RECIPIENT'S ADDRESS」などを設定し、「SAVE」をクリックします。（66 ページ）

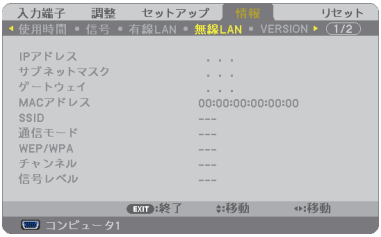
- **Image Express Utility Lite を使って“かんたん接続”を行うには？**
  添付の NEC Projector CD-ROM に収録している Image Express Utility Lite では、無線 LAN を使ったコンピュータとプロジェクターの接続を少ない手順で行う“かんたん接続”モードがあります。
  “かんたん接続”を行う場合は、HTTP サーバ機能（61 ページ）へアクセスし、NETWORK SETTINGS → SETTINGS → WIRELESS LAN ページで「EASY CONNECTION」のラジオボタンを◉にします。続いて「SETTING」をクリックし、使用する CHANNEL を選択して「SAVE」をクリックします。
  本機のオンスクリーンメニュー（セットアップ→無線 LAN ページ）のプロファイルのリストから、「かんたん接続」を選択します。

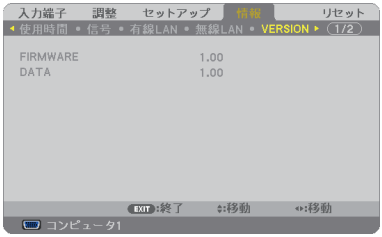
5-6. 情報

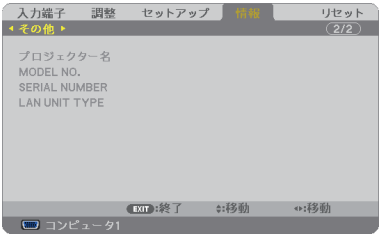












ランプ使用時間、総 CO2 削減量、有線 LAN や無線 LAN(無線 LAN ユニットは別売) のアドレス情報、入力選択されている入力信号の詳細、製品の形名や製造番号、ファームウェアなどの情報を表示します。

- 使用時間ページの「総 CO2 削減量」は、プロジェクターの省エネ効果を表示します。(48 ページ)
- 信号ページは、色が極端におかしかったり、画面が流れたり、映像が投写されない場合、入力信号が本機に適しているかの確認に使います。「対応解像度一覧」(159 ページ) もあわせてご覧ください。

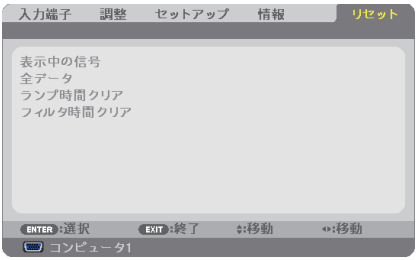
参考

● ランプ残量／ランプ使用時間の表示について
本機にはエコモード機能があります。エコモードを「オフ」または「オートエコ」で使用した場合と、「エコ 1」または「エコ 2」で使用した場合はランプの交換時間(目安)※が異なります。
ランプ使用時間はランプの通算使用時間を示し、ランプ残量はランプの使用時間に対する残量をパーセントで表示しています。
・0%になると、電源オフ時の確認メッセージと同時に「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」のメッセージが表示されます。新しいランプと交換してください。交換のしかたは「7-4. ランプとフィルタの交換」(148 ページ)をご覧ください。
・ランプ交換のメッセージは電源投入時の 1 分間および本機の ⏻ ボタンまたはリモコンの電源 (切) ボタンを押したときに表示されます。
電源投入時にランプ交換のメッセージを消す場合は本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。
・ランプ交換時間（目安）※に到達（ランプ残量 0%）後、ランプ残量表示は赤色の時間表示に変わります。このとき、ランプ残量表示は「100 時間」と表示され、そのあとランプを投写しただけ時間がマイナスされていきます。そしてランプ残量表示が「0 時間」になると、本機の電源が入らなくなります。
・ランプ使用時間は、ランプの個体差や使用条件によって差があり、下の表の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。

	ランプ使用時間			ランプ残量
	エコモード「オフ」または「オートエコ」のみで使用（最小）	エコモード「エコ 1」のみで使用	エコモード「エコ 2」のみで使用（最大）	
工場出荷時	0000 時間			100%
ランプ交換時間（目安）※				
NP-M311XJL/ NP-M271XJL/ NP-M271WJL	5000 時間	6000 時間	10000 時間	0%
NP-M361XJL/ NP-M311WJL	4000 時間	5000 時間	8000 時間	0%

※：保証時間ではありません。

5-7. リセット



本機に記憶されている全調整・設定値、または表示中の信号について、調整した調整値を工場出荷状態に戻します。
リセットの処理には多少時間がかかります。

●表示中の信号

表示中の信号について、調整した調整値が工場出荷状態に戻ります。

●全データ

すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

【リセットされないデータ】
言語・バックグラウンド・フィルタメッセージ・セキュリティ・通信速度・コントロール ID・スタンバイモード・ファンモード・ランプ残量・ランプ使用時間・フィルタ使用時間・総 CO2 削減量・有線 LAN・無線 LAN

●ランプ時間クリア

ランプ交換を行ったときに「ランプ残量」と「ランプ使用時間」をクリアします。

注意
- ランプ使用時間は、リセット→全データではクリアされません。

●フィルタ時間クリア

フィルタの清掃または交換を行ったときに「フィルタ使用時間」をクリアします。
「フィルタメッセージ」を「オフ」に設定している場合は「フィルタ時間クリア」を行う必要はありません。

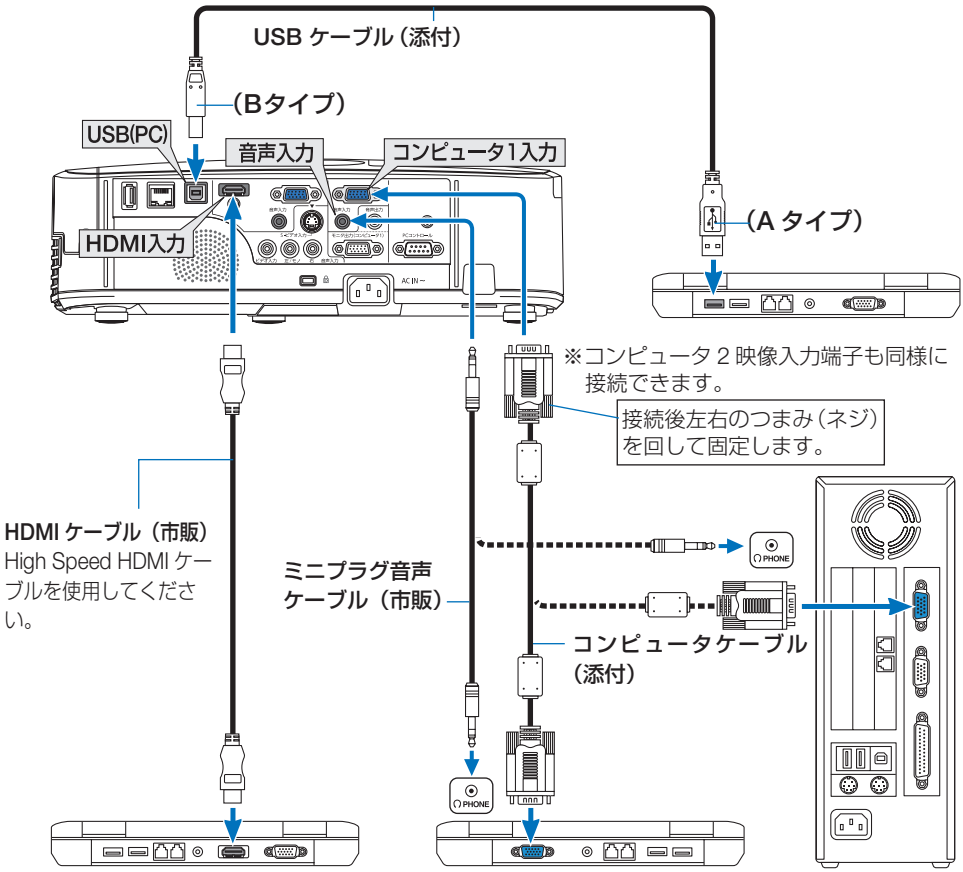
注意
- フィルタ使用時間は、リセット→全データではクリアされません。

6. 機器と接続する

6-1. コンピュータと接続する

コンピュータとの接続は、コンピュータケーブル（添付）、HDMI ケーブル（市販）、および USB ケーブル（添付）を使用する方法があります。

- 添付のコンピュータケーブルは、コンピュータ側のディスプレイ出力端子（ミニ D-Sub15 ピン）と、本機のコンピュータ 1 映像入力端子またはコンピュータ 2 映像入力端子を接続します。
- 市販の HDMI ケーブルは、コンピュータの HDMI 出力端子と本機の HDMI 入力端子を接続します。
- 添付の USB ケーブルはコンピュータの USB（タイプ A）と本機の USB（PC）ディスプレイ端子（タイプ B）を接続します。（59 ページ）



コンピュータによって、端子の名称、位置や向きが異なりますので、コンピュータの取扱説明書でご確認ください。

●本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
コンピュータ 1 映像入力端子	コンピュータ 1	(コンピュータ1)
コンピュータ 2 映像入力端子	コンピュータ 2	(コンピュータ2)
HDMI 入力端子	HDMI	(HDMI)
USB (PC) ディスプレイ端子	USB ディスプレイ	(USBディスプレイ)

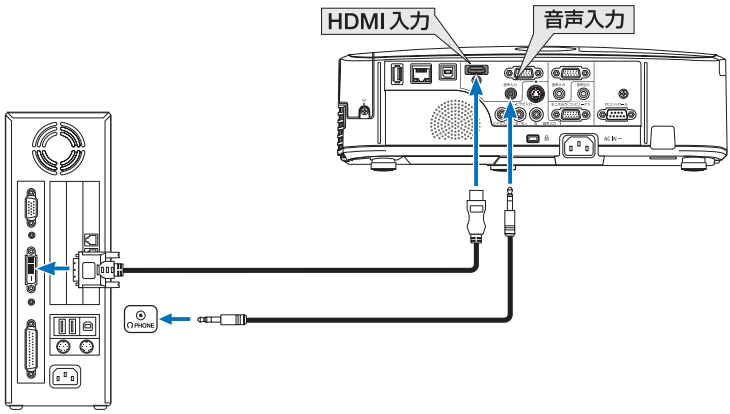
注意

- コンピュータや本機の電源を切ってから接続してください。
- 音声ケーブルをヘッドフォン端子と接続する場合、接続する前にコンピュータの音量を低めに調整してください。そして、コンピュータと本機を接続して使用する際に、本機の音量とコンピュータの音量を相互に調整し、適切な音量にしてください。
- コンピュータにミニジャックタイプの音声出力端子がある場合は、その端子に音声ケーブルを接続することをおすすめします。
- 当社製のビデオユニット（形名 ISS-6020J）のビデオデコード出力には対応していません。
- スキャンコンバータなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り・巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。
- 接続機器によっては、接続している HDMI ケーブルを抜き挿ししたときに HDMI 入力端子の映像が映らなくなることがあります。そのときは、HDMI 入力端子を再度選択してください。

  【入力端子の再選択方法】
  - リモコンで操作する場合は(HDMI)ボタンを押してください。
  - プロジェクター本体で操作する場合は(メニュー)ボタンを押して入力端子画面で HDMI を再選択してください。

参考

- コンピュータ 1 映像入力端子とコンピュータ 2 映像入力端子は、Windows のプラグ・アンド・プレイに対応しています。
- Mac との接続では、Mac 用信号アダプタ（市販）が必要になる場合があります。
- コンピュータ側が DVI 出力端子の場合は、市販の DVI-HDMI 変換ケーブルを使用して本機の HDMI 入力端子に接続します（デジタル映像信号のみ入力できます）。
  また、コンピュータの音声出力は、本機のコンピュータ 2 音声入力端子に接続してください。その場合は、本機のオンスクリーンメニューの HDMI 設定→音声入力選択の設定を「コンピュータ 2」に切り替えてください。（121 ページ）

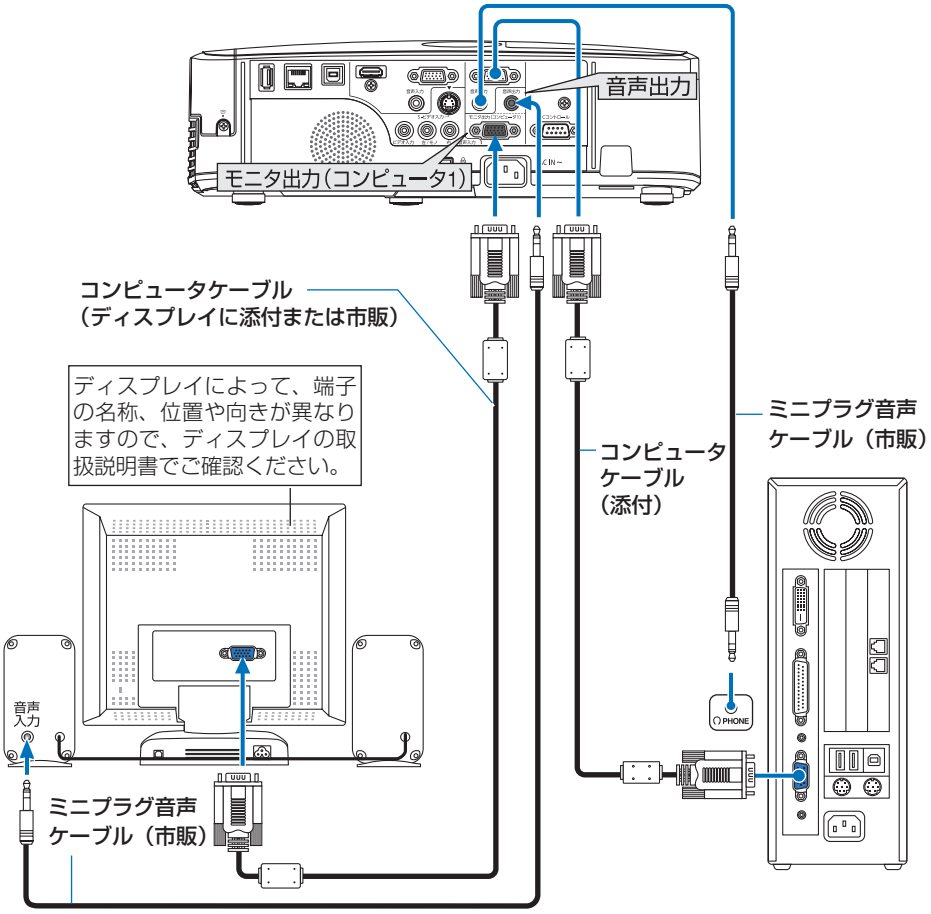


注意

- DVI（デジタル）入力時の注意事項
  - ・DVI-HDMI 変換ケーブルは、DDWG Revision1.0 に準拠した 5 m以内のものを使用してください。
  - ・DVI-HDMI 変換ケーブルを接続するときは、本機とコンピュータの電源が切れた状態で行ってください。
  - ・DVI（デジタル）信号を投写する際は、ケーブル接続後、まず本機の電源を入れ、HDMI 入力を選択します。最後にコンピュータを起動してください。上記の手順どおりに操作しないと、映像が投写されないことがあります。映像が投写されない場合はコンピュータを再起動してください。
  - ・コンピュータのグラフィックカードによっては、アナログ RGB（D-Sub）と DVI（または DFP）の両端子を有するものがあります。この場合、D-Sub 端子に RGB 信号ケーブルを接続していると、DVI デジタル信号が出力されないものがあります。
  - ・本機の電源が入っているときに信号ケーブルを抜かないでください。
    一度抜いて、再度接続した場合、映像が正常に投写されないことがあります。その場合はコンピュータを再起動してください。

6-2. ディスプレイと接続する

図のように、デスクトップコンピュータと本機を接続したときなど、本機で投写している画面と同じ画面を、手もとのディスプレイにも表示（モニタ）して確認できます。コンピュータ 1 映像入力端子に入力された信号だけがモニタ出力（コンピュータ 1）端子から出力されます。



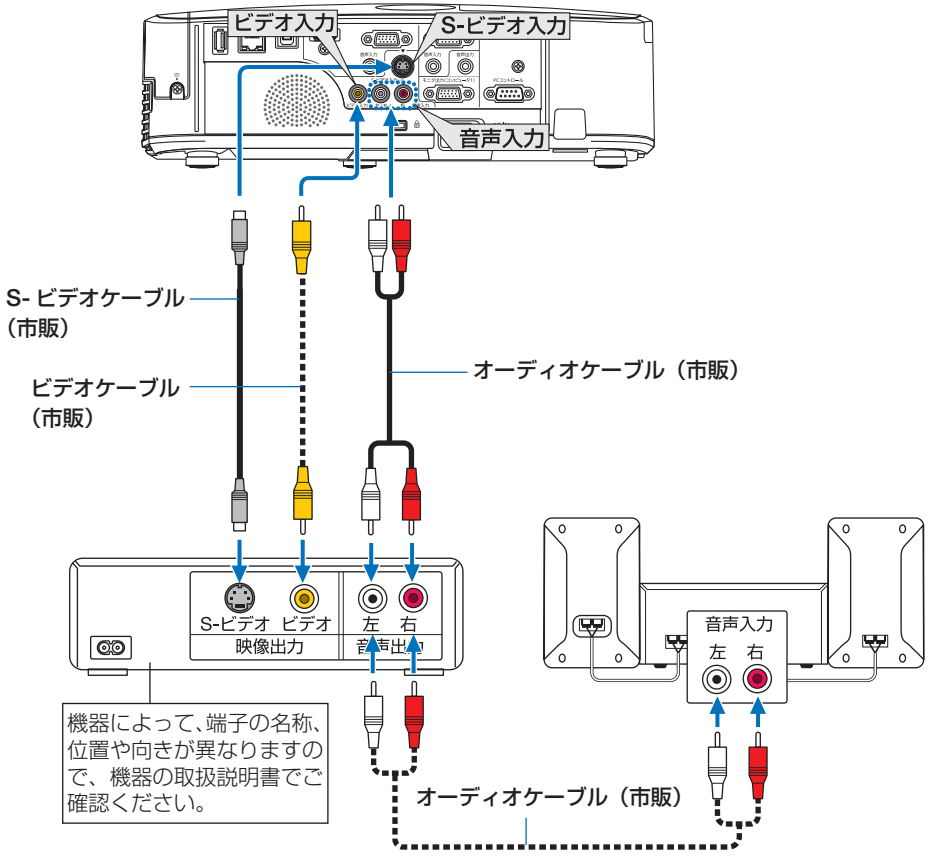
注意

- 本機のモニタ出力（コンピュータ 1）端子は、1 台のディスプレイへ映像信号を出力するためのものです。
  複数のディスプレイやプロジェクターを連続してつなぐような使いかたはできません。
- 本機の音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカから音声が出なくなります。
- 本機がスタンバイ状態のときは、本機の電源を切る前に投写されていた映像信号および音声信号がモニタ出力（コンピュータ 1）端子および音声出力端子から出力されます。また、音声信号の音量も本機の電源を切ったときと同じになります。なお、スタンバイモードが「省電力」に設定されているときは出力しません。

6-3. DVD プレーヤなどの AV 機器と接続する

ビデオ信号／ S- ビデオ信号の接続

DVD プレーヤ、テレビチューナなどのビデオ機器の映像を投写する場合は、市販のケーブルを使用してください。
本機の内蔵スピーカはモノラルですので、ビデオ機器の音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



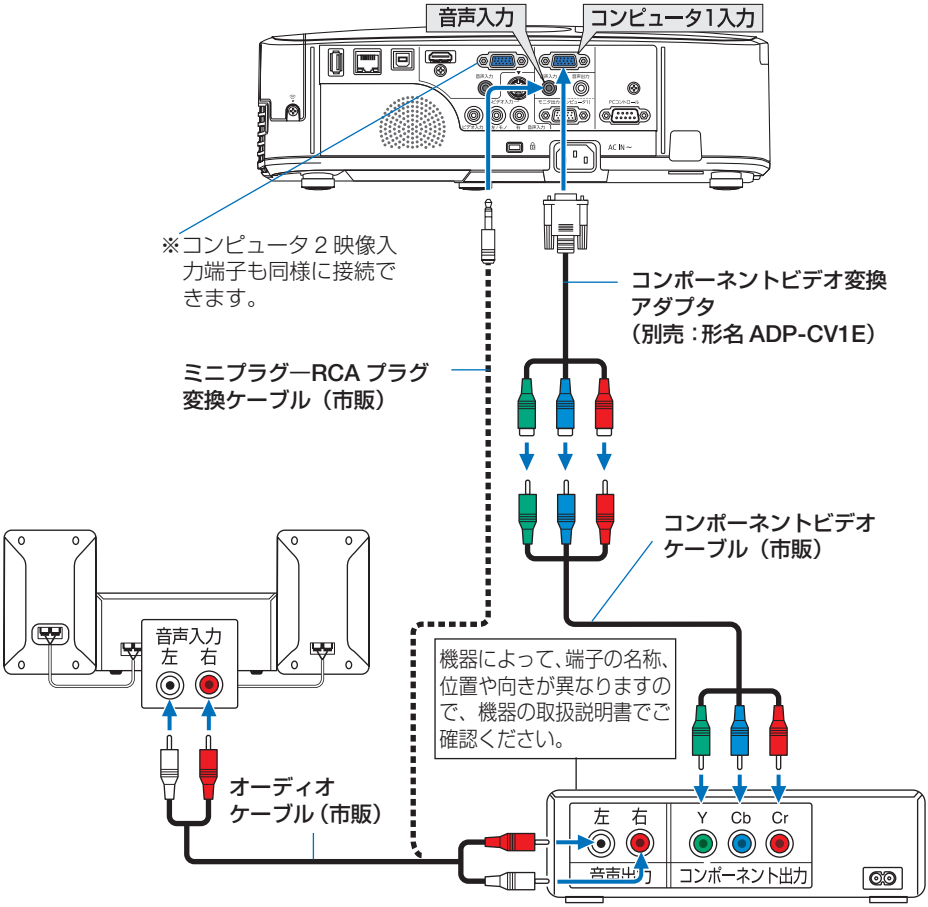
●本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の（入力切替）ボタン	リモコンのボタン
ビデオ映像入力端子	ビデオ	（ビデオ）
S- ビデオ映像入力端子	S- ビデオ	（S-ビデオ）

注意
- ビデオと S- ビデオの音声入力端子は共用です。

コンポーネント信号の接続

DVD プレーヤの色差出力端子（DVD 映像出力）やハイビジョンビデオなどの YPbPr 出力端子（HD 映像出力）を使って本機で投写することができます。
DVD プレーヤの音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



●本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

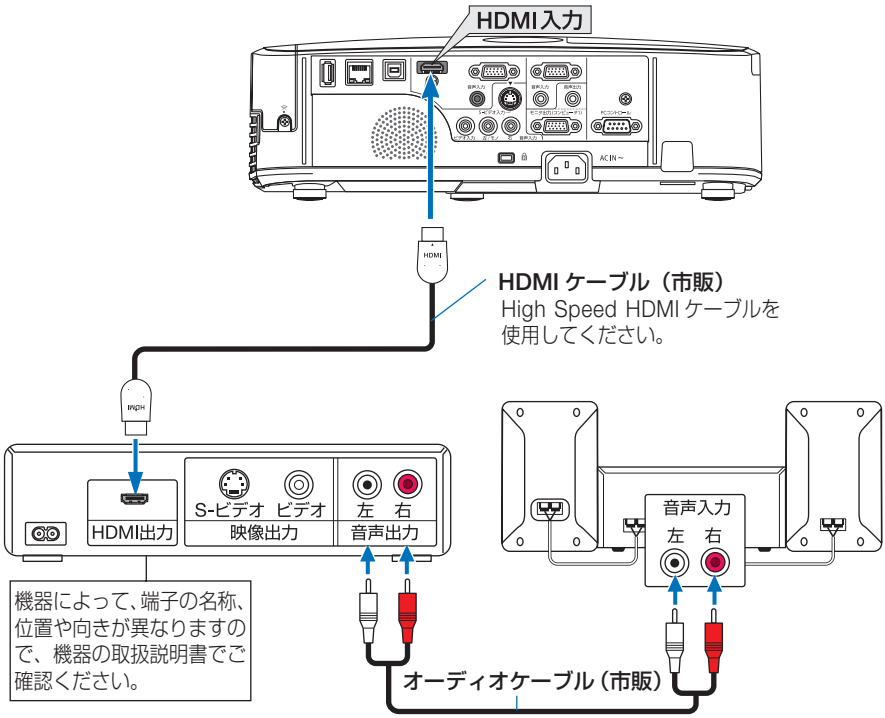
接続端子	本体の（入力切替）ボタン	リモコンのボタン
コンピュータ 1 映像入力端子	コンピュータ 1	（コンピュータ1）
コンピュータ 2 映像入力端子	コンピュータ 2	（コンピュータ2）

参考

- 通常は自動でコンピュータ信号とコンポーネント信号を判別して切り替えますが、判別できない場合は、本機のオンスクリーンメニューからセットアップ→オプション（1）→信号選択→コンピュータ 1 またはコンピュータ 2 の設定画面でコンピュータ信号を「コンポーネント」に設定してください。（120 ページ）
- D 端子付きの映像機器と接続する場合は、別売の D 端子変換アダプタ（形名 ADP-DT1E）をお使いください。

デジタル映像・音声信号（HDMI）の接続

ブルーレイプレーヤまたはデジタル放送チューナなどの HDMI 出力端子を本機に接続してハイビジョン映像を投写することができます。本機の HDMI 入力端子はデジタル映像とデジタル音声を入力しますが、本機の内蔵スピーカはモノラルですので、音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



●本機の電源を入れたあとに HDMI を選択してください。

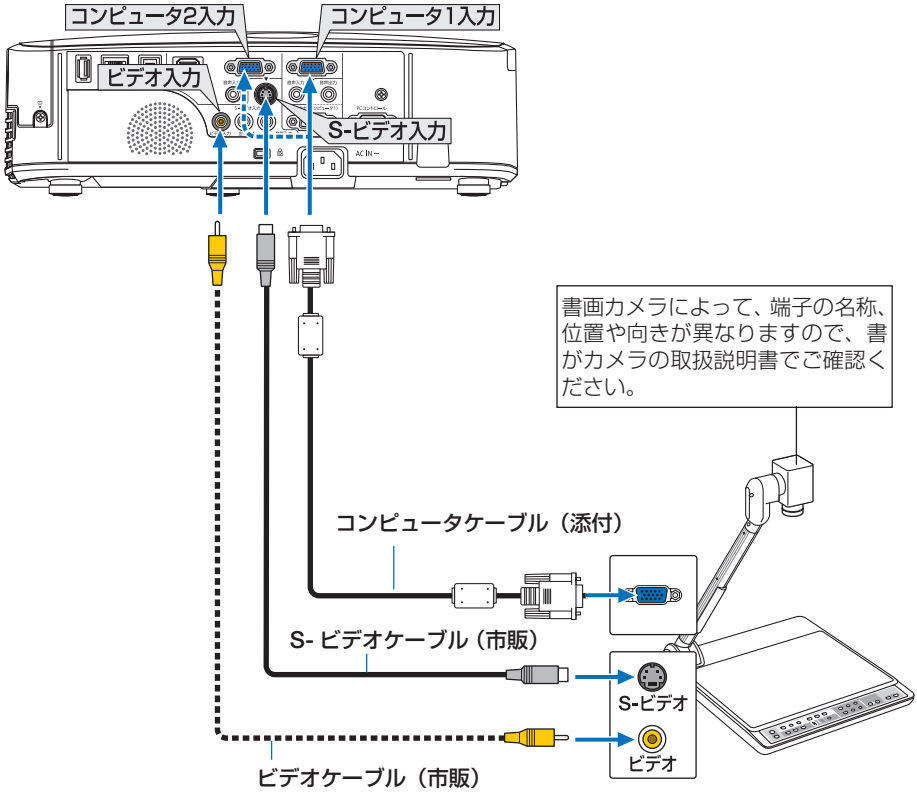
接続端子	本体の（入力切替）ボタン	リモコンのボタン
HDMI 入力端子	HDMI	（HDMI）

参考

- 本機の HDMI 入力端子に DVD プレーヤを接続している場合に、DVD プレーヤのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定できます。本機のオンスクリーンメニューの HDMI 設定→ビデオレベルで設定します。DVD プレーヤのビデオレベルの設定については、DVD プレーヤの取扱説明書をご覧ください。
- 本機は HDCP（不正コピー防止を目的とする著作権保護用システム）を装備しています。ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、HDMI 入力端子の映像が表示されないことがあります。
- HDMI 入力の音声が出力されない場合は、本機のオンスクリーンメニューの HDMI 設定→音声入力選択が「HDMI」に設定されているか確認してください。
（121 ページ）

6-4. 書画カメラと接続する

本機に市販の書画カメラを接続すると、印刷された資料や立体をスクリーンに投写することができます。



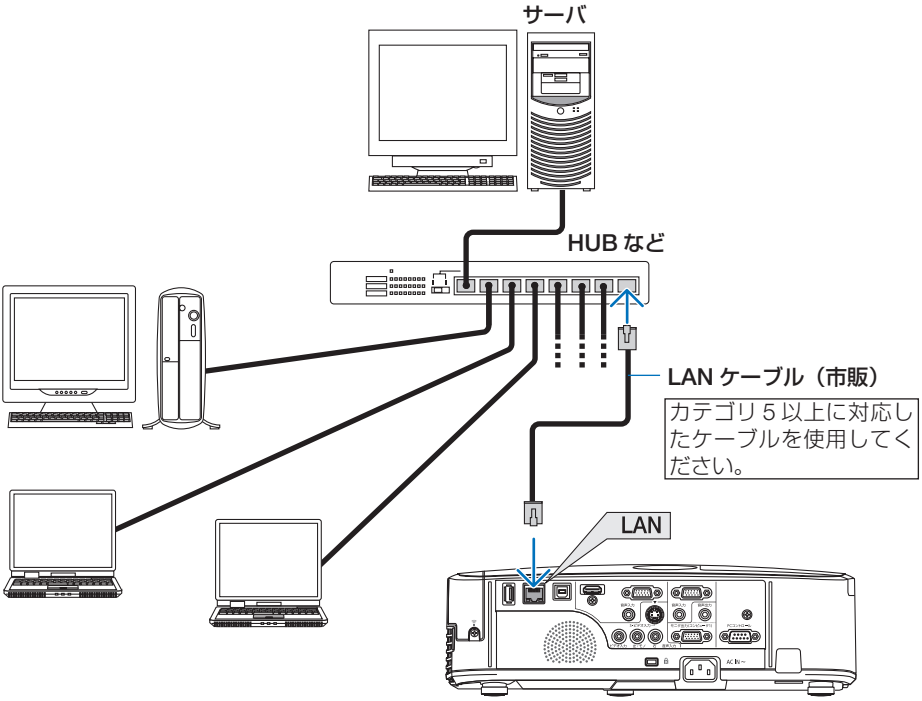
●本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の〔入力切替〕ボタン	リモコンのボタン
コンピュータ 1 映像入力端子 または コンピュータ 2 映像入力端子	コンピュータ 1 または コンピュータ 2	〔コンピュータ1〕 または 〔コンピュータ2〕
ビデオ映像入力端子	ビデオ	〔ビデオ〕
S- ビデオ映像入力端子	S- ビデオ	〔S-ビデオ〕

6-5. 有線 LAN と接続する

本機には LAN ポート（RJ-45）が標準装備されています。LAN ケーブルを接続すると LAN 環境を利用することができます。本機を LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります。本機への LAN の設定について詳しくは、本書のオンスクリーンメニュー→セットアップ→有線 LAN（123 ページ）をご覧ください。

接続例



6-6. 無線 LAN と接続する（別売）

別売の無線 LAN ユニットにより、無線 LAN 環境を利用することができます。本機を無線 LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります。

重要

- 本機を無線機器が禁止されている区域で使用する場合は、無線 LAN ユニットを取り外してください。
- 別売の無線 LAN ユニットは、日本国内仕様をお買い求めください。

注意

- 無線 LAN ユニットの動作中は、無線 LAN ユニットにある緑色 LED が点滅します。
- コンピュータ側の無線 LAN アダプタ（またはユニット）は、Wi-Fi（IEEE802.11b/g/n）規格のものを使用してください。

無線 LAN 設定の流れ

ステップ 1

本機に無線 LAN ユニットを取り付ける（次ページ）

ステップ 2

コンピュータと本機を有線 LAN で接続する（138 ページ）

コンピュータのブラウザを使って、本機の HTTP サーバを表示してください。（61 ページ）

ステップ 3

HTTP サーバで無線 LAN の設定を行う（64 ページ）

HTTP サーバ機能にアクセスし、NETWORK SETTINGS → WIRELESS ページで「EASY CONNECTION（かんたん接続）」、「PROFILE 1（プロファイル 1）」、「PROFILE 2（プロファイル 2）」の設定を行います。

注意

- HTTP サーバ機能を使用するには、ネットワークに接続する必要があります。まず有線 LAN で本機をネットワークに接続し、HTTP サーバで無線 LAN に必要な設定を行います。
- HTTP サーバで無線 LAN の設定を行った後、NETWORK SETTINGS → WIRED ページで有線 LAN を無効（HTTP サーバでは「DISABLE」）にします。

無線 LAN 接続後、プロジェクター側で設定を切り替える場合

オンスクリーンメニューで無線 LAN の設定を行う（124 ページ）

HTTP サーバで設定した「無効」、「かんたん接続」、「プロファイル 1」、「プロファイル 2」のいずれかを選択します。

無線 LAN ユニットの取り付けかた

注意

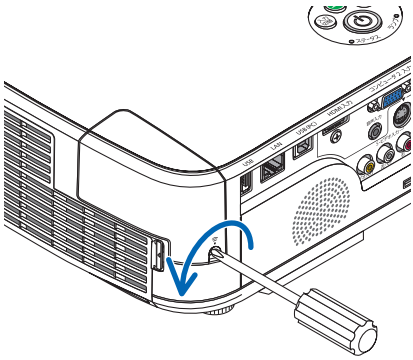
- 無線 LAN ユニットには表と裏があり、無線 LAN ユニット専用ポートに取り付ける向きが決まっています。逆に取り付けようとしてもできないようになっていますが、無理に押し込もうとすると、無線 LAN ユニット専用ポートが壊れます。
- 静電気による破損を防ぐため、無線 LAN ユニットに触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
- 無線 LAN ユニットの取り付け／取り外しは、電源コードを外して行ってください。本機の電源が入っているときやスタンバイ状態のときに無線 LAN ユニットの取り付け／取り外しを行うと、無線 LAN ユニットが壊れたり、本機が誤動作することがあります。万一本機が誤動作した場合は、本機の電源を切り、電源コードを抜いてください。その後電源コードを差し込んでください。
- USB（LAN）ポートには、無線 LAN ユニット以外の USB 機器を取り付けないでください。また、USB ポートには無線 LAN ユニットを取り付けないでください。

準備：プラスドライバーを用意してください。

1 電源ボタンを押して本機をスタンバイ状態にし、電源コードを抜く。

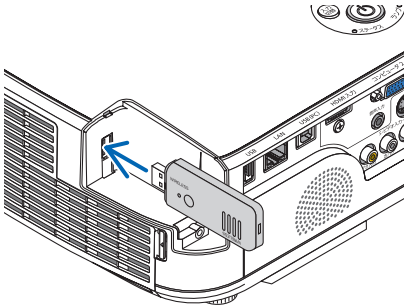
2 USB（LAN）ポートカバーを取り外す。

カバーを固定しているネジを左へ回して本体から取り外します。
・ネジは外れません。



3 無線 LAN ユニットを USB（LAN）ポートにゆっくり差し込む。

・無線 LAN ユニットのキャップを外し、表面（インジケータのある面）を外側にして差し込んでください。
外したキャップは、取り外したときに使いますので大切に保管してください。

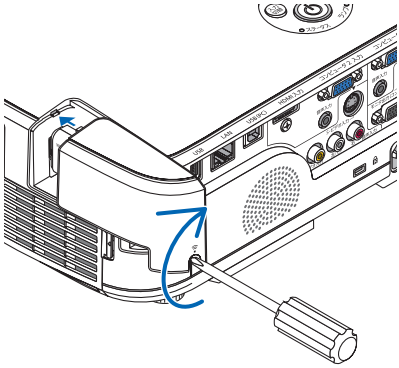


注意

- 挿入しづらい場合は、無理に押し込まないでください。

4 USB（LAN）ポートカバーを取り付ける

USB（LAN）ポートカバーの先端のツメを本体のミゾに入れ、ネジを右へ回してカバーを固定します。



※ 取り外すときも電源コードを抜いてから同じ要領で行ってください。

注意

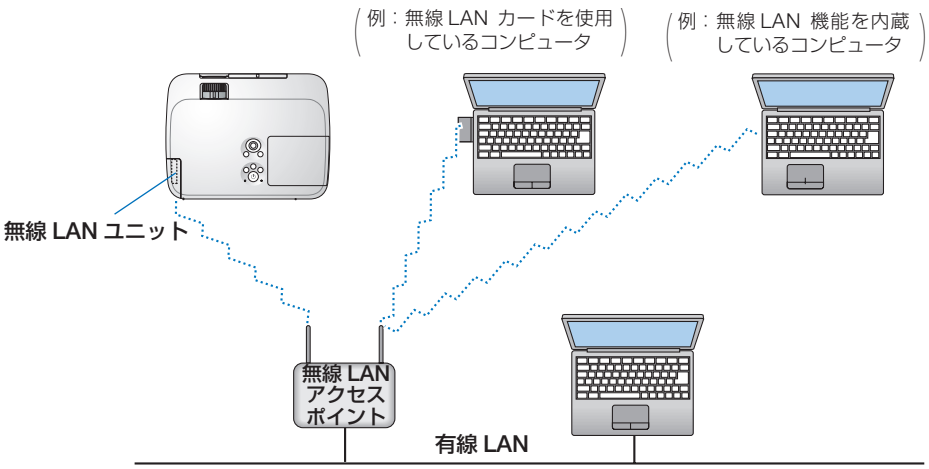
- 無線 LAN ユニットが動作中には、無線 LAN ユニットにある緑色 LED が点滅します。無線 LAN ユニットが正しく取り付けられていない場合、LED は点滅しません。
- 無線 LAN ユニットのボタンは押さないでください。本機では使用できません。

無線 LAN への接続例

●通信モード：インフラストラクチャ

無線 LAN アクセスポイントを介して有線 / 無線 LAN と接続する場合は、通信モードを「インフラストラクチャ」に設定します。

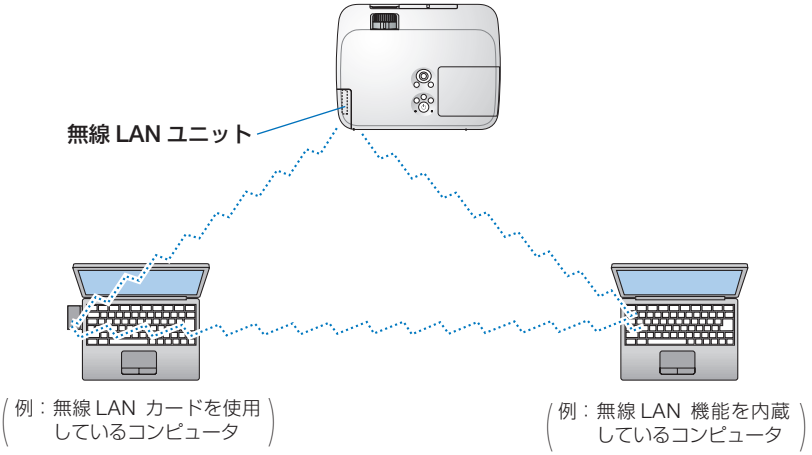
HTTP サーバ機能にアクセスして設定します。（64 ページ）



●通信モード：アドホック

無線 LAN アクセスポイントを使わず、無線 LAN 端末同士で通信を行う場合は、通信モードを「アドホック」に設定します。

HTTP サーバ機能にアクセスして設定します。（64 ページ）



7. 本体のお手入れ／ランプの交換

7-1. フィルタの清掃

吸気口のフィルタはプロジェクター内部をほこりや汚れから守っています。
フィルタにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、汚れが気になるときは清掃をしてください。

参考

- フィルタ清掃時期の表示について
  本機には、フィルタの清掃時期をお知らせする機能があります。あらかじめ設定した時間を超えて本機を使用すると、画面上に「フィルタ清掃時期です。」のメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、フィルタを清掃してください。
  - 設置する環境に合わせて、フィルタ清掃のメッセージ表示間隔を変更することができます。設定についてはオンスクリーンメニューの「フィルタメッセージ」（115 ページ）をご覧ください。
  - フィルタ清掃のメッセージは、電源投入時の 1 分間、および本機の⏻ボタンまたはリモコンの電源(切)ボタンを押したときに表示されます。
  - 「フィルタ清掃時期です。」というメッセージは、本機またはリモコンのいずれかのボタンを押すと消えます。

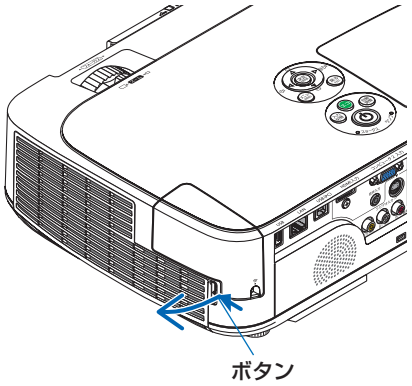
本機のフィルタは大型 2 層構造で冷却と防塵効果を向上させています。ほこりは 1 層目および 2 層目フィルタの外側（空気の入る方）で除去します。このためフィルタの清掃はフィルタユニットおよびフィルタカバーを取り外して清掃します。

注意	フィルタの清掃は、電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分冷えてから行ってください。動作中にフィルタユニットを外すとやけどや内部に触れて感電のおそれがあります。

1 ボタンを左側に押して、手前にフィルタユニットを引いて外す。

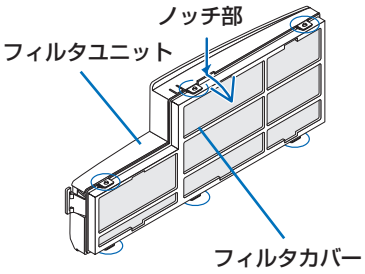
参考

- 以後の説明では、購入時に添付のフィルタ（スポンジ製で目の細かいタイプと目の粗いタイプ）で説明していますが、交換用ランプに添付のフィルタと交換後は、それぞれジャバラ状のやわらかいタイプ、ハニカム状の硬いタイプに読み換えてください。



2 フィルタカバーを取り外す。

フィルタカバーはフィルタユニットの６箇所のツメで固定されています。フィルタカバーのノッチ部を指で押してたわませ（突起部が外れます）、フィルタカバーを開いて外します。

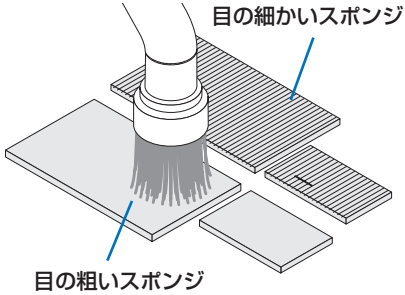


3 フィルタ４枚を取り外し、掃除機でほこりを吸い取る。

目の細かいスポンジ製フィルタのすき間のほこりもていねいに取り除いてください。

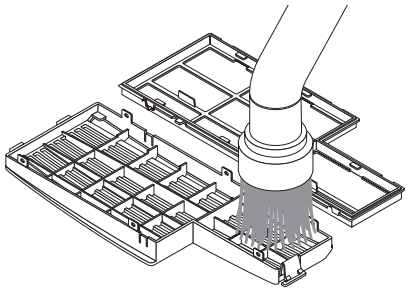
注意

- フィルタの清掃はブラシ付きアダプタを使用してください。アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。
- 水洗いをしないでください。目づまりの原因となります。



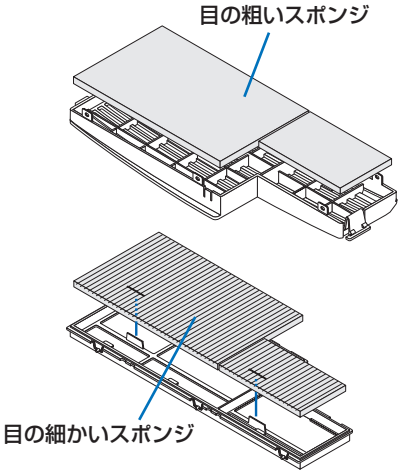
4 フィルタユニットおよびフィルタカバーのほこりを取り去る。

表側と裏側を清掃してください。



5 フィルタユニットおよびフィルタカバーにフィルタ４枚を取り付ける。

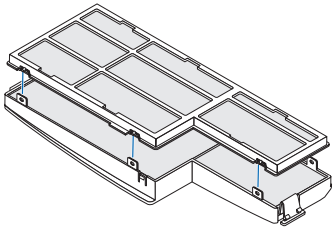
フィルタユニット：
目の粗いスポンジ製フィルタ（大、小）を取り付けます。
フィルタカバー：
目の細かいスポンジ製フィルタ（大、小）を取り付けます。このフィルタにはスリット（切れ目）があります。フィルタのスリットをフィルタカバーの突起部に合わせてください。



6 フィルタカバーをフィルタユニットに取り付ける。

フィルタユニットにフィルタカバーを合わせ突起部付近（6 箇所）を押さえます。

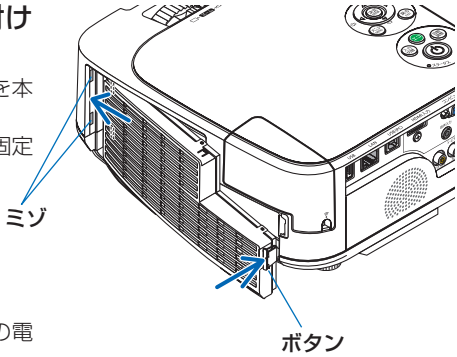
・6 箇所のツメ部の穴に突起部が入っていることを確認してください。



7 フィルタユニットを本体に取り付ける。

フィルタユニットの先端にあるツメ 2 箇所を本体のミゾに入れ、ボタンを押して閉めます。

・「カチッ」と音がしてフィルタユニットが固定されます。



8 フィルタ使用時間をクリアする。

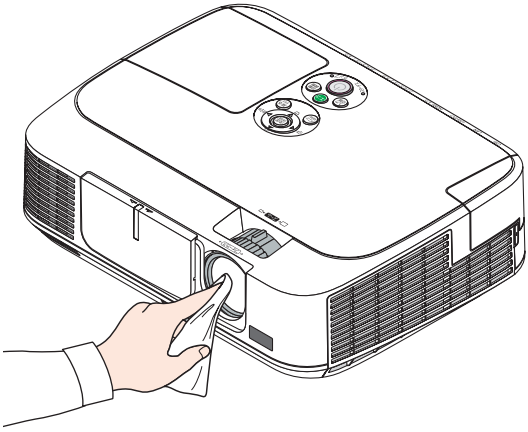
電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。

オンスクリーンメニューのリセットの「フィルタ時間クリア」を選択してください。

（129 ページ）

7-2. レンズの清掃

本機のレンズはプラスチック製です。レンズを清掃する際は、プラスチックレンズ手拭専用洗浄液（オリンパス製 EE-3310 または EE-3320）を使用して汚れをふき取ってください。
オリンパス製 EE-3310 または EE-3320 は、カメラ販売店等でお買い求めください。



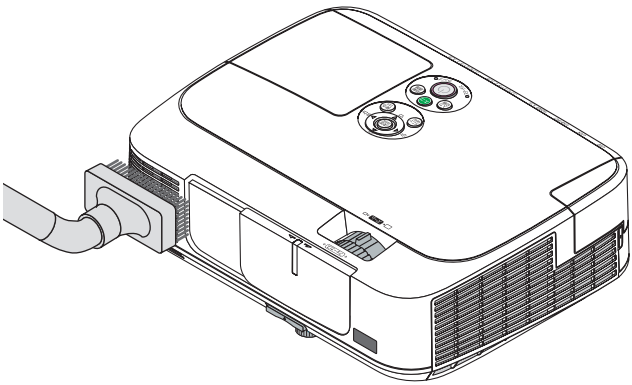
注意

- ガラス用クリーナーやアルコールなどは絶対に使用しないでください。プラスチックレンズの表面を侵食し、輝度低下や画質劣化の原因となります。

7-3. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。
  汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
  化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風孔やスピーカ部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取ってください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。



通風孔のほこりを吸い取ります。

- 通風孔にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

注意

- キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
  また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

7-4. ランプとフィルタの交換

光源に使われているランプの使用時間がランプ交換時間（目安）※1（128 ページ）を超えるとランプインジケータが赤く点滅し、メッセージ「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」が画面上に表示されます※2。
この場合は光源ランプの交換時期ですので、新しいランプと交換してください。
なお、エコモードで使用している割合が多いとランプ交換時間（目安）※1 が延びます。したがってこの場合ランプ使用時間は延びることになります。現在のランプ使用残量の目安はオンスクリーンメニューの「情報（使用時間）」（127 ページ）をご覧ください。

- 安全・性能維持のため指定ランプを使用してください。
- 交換用ランプは販売店でお求めください。ご注文の際は次の交換用ランプの形名をご指定ください。

適用機種	ランプの形名
NP-M311XJL/NP-M271XJL/NP-M271WJL	NP15LP
NP-M361XJL/NP-M311WJL	NP16LP

- 交換用ランプにはフィルタが添付されていますので、ランプを交換したあとにフィルタも交換してください。購入時に装着されているフィルタはスポンジ素材（黒）ですが、交換用ランプに添付されているフィルタは不織布（白）製です。どちらを使っても性能に違いはありません。
- 指定のネジ以外は外さないでください。
- ランプには、ランプ保護のためガラスが付いています。誤って割らないよう取り扱いには注意してください。
  また、ガラス表面には触れないでください。輝度にかかわる性能劣化の原因となります。
- メッセージが表示されてもなお使用を続けると、ランプが切れることがあります。ランプが切れるときには、大きな音をともなって破裂し、ランプの破片がランプハウス内に散らばります。この場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに交換を依頼してください。
- 本機を天吊りで設置した状態でランプ交換を行う場合は、本機の下部に人が入らないように注意してください。ランプが破裂している場合に、ランプの破片が飛散するおそれがあります。
- ランプ交換時間（目安）※1 に到達後 100 時間を超えて使用すると、ランプインジケータが赤く点灯するとともにスタンバイ状態になり電源が入らなくなります。

※ 1 保証時間ではありません。

※ 2 ランプ交換のメッセージは電源投入時の 1 分間、および本機の⏻ボタンまたはリモコンの電源（切）ボタンを押したときに表示されます。
電源投入時にランプ交換のメッセージを消す場合は本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。

⚠注意	ランプの交換は、電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、約 1 時間おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。

ランプとフィルタ交換の流れ

ステップ 1
ランプを交換する（このページ）

↓

ステップ 2
フィルタを交換する（152 ページ）

↓

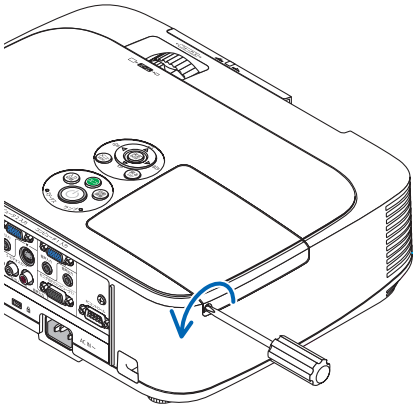
ステップ 3
ランプ使用時間とフィルタ使用時間をクリアする（154 ページ）

ランプを交換する

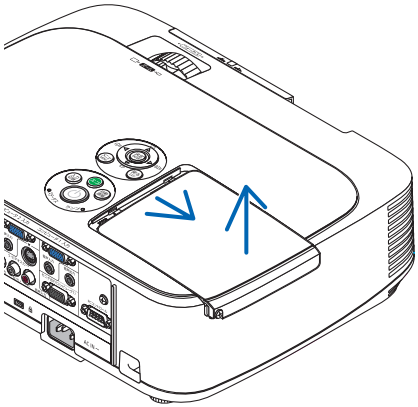
準備： プラスドライバーを用意してください。

1 ランプカバーを外す。

❶ランプカバーネジを空転するまで左にゆるめる。
・ネジは外れません。

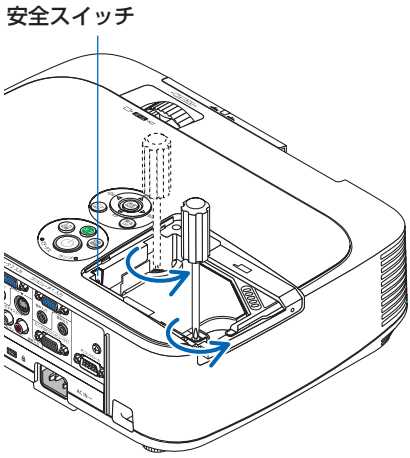


❷ランプカバーを手前にスライドさせ、持ち上げて取り外す。



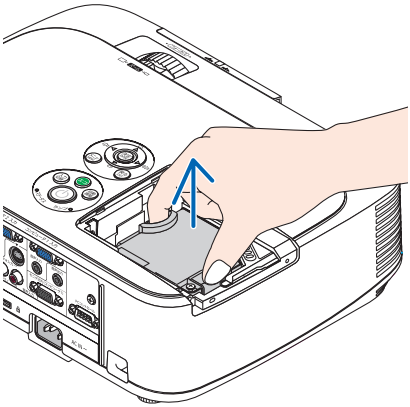
2 ランプを外す。

❶ランプ固定のネジ（2 箇所）を左に空転するまでゆるめる。
- ネジは外れません。
- 本機には安全スイッチが付いています。安全スイッチには触れないでください。



❷ランプのつまみを指で挟んで持ち上げる。

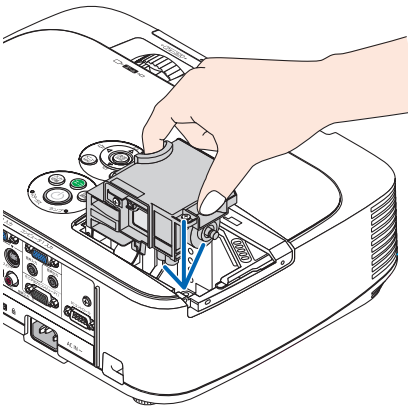
⚠注意	高温に注意してください。ランプが冷えていることを確認してから外してください。



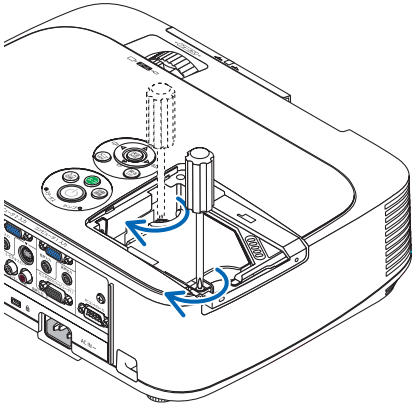
3 新しいランプを取り付ける。

❶ランプを静かに入れる。
- 奥まで押し込んでください。

❷ランプの中央部分を押して、ランプのプラグを本体のソケットへ確実に差し込む。

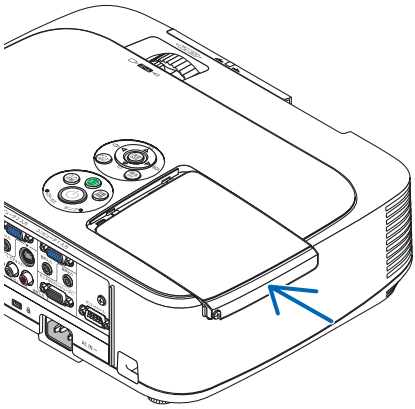


❸ランプ固定のネジ（2 箇所）を右に回してしめる。
・ネジは確実にしめてください。



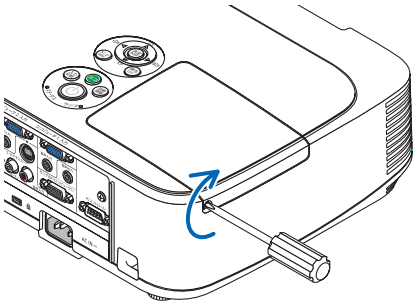
4 ランプカバーを取り付ける。

❶ランプカバーをスライドさせて取り付ける。



❷ランプカバーネジを右に回してしめる。
・ネジは確実にしめてください。

これで、ランプ交換が終わりました。
続いてフィルタを交換してください。



参考

- ランプ交換時間（目安）※（128 ページ）に到達後 100 時間を超えて使用すると、電源が入らなくなります。その場合は、スタンバイ状態でリモコンの〈ヘルプ〉ボタンを 10 秒以上押すことでランプ残量とランプ使用時間をクリアできます。クリアされたかどうかは、ランプインジケータが消灯することで確認できます。
※保証時間ではありません。

フィルタを交換する

交換ランプに添付されているフィルタ（不織布製で白）は 4 枚あります。
ハニカム状の硬いフィルタ…大と小
ジャバラ状のやわらかいフィルタ…大と小
説明に従って間違わないように交換してください。

注意

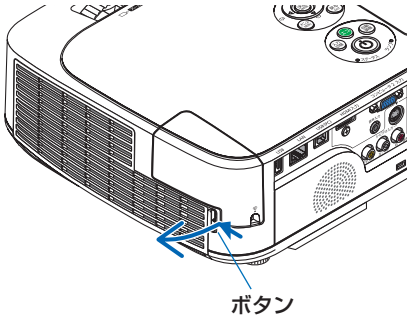
- フィルタは、4 枚とも同時期に交換してください。
- フィルタを交換するときは、プロジェクター本体のほこりをよくふき取ってから行ってください。
- プロジェクターは精密機器ですので、内部にほこりが入らないようにご注意ください。
- フィルタは水洗いしないでください。目づまりの原因となります。
- 必ずフィルタを正しく取り付けてください。フィルタを正しく取り付けていないと、内部にほこりなどが入り故障の原因となります。

参考

- 購入時に装着されているフィルタと交換用ランプに 添付されているフィルタは材質が異なりますが、性能に違いはありません。

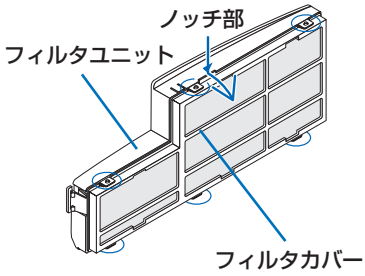
準備：先にランプの交換を行ってください。（149 ページ）

1 ボタンを左側に押して、手前にフィルタユニットを引いて外す。



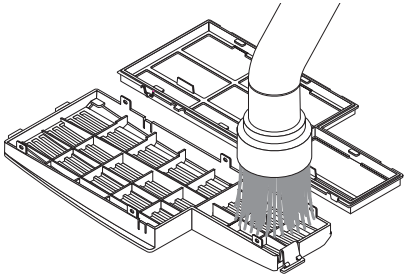
2 フィルタカバーを取り外す。

フィルタカバーはフィルタユニットの 6 箇所のツメで固定されています。フィルタカバーのノッチ部を指で押してたわませ（突起部が外れます）、フィルタカバーを開いて外します。



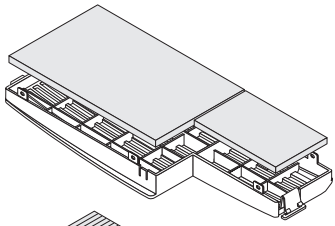
3 フィルタ（4 枚）を交換する。

❶ フィルタ（スポンジ製で黒）を外して、フィルタユニットおよびフィルタカバーを清掃する。

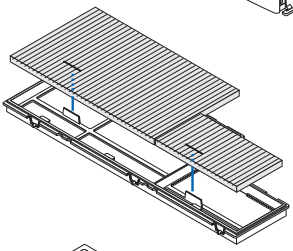


❷ 新しいフィルタ（不織布製で白）を取り付ける。

フィルタユニット：
ハニカム状の硬いフィルタ（大、小）を取り付けます。



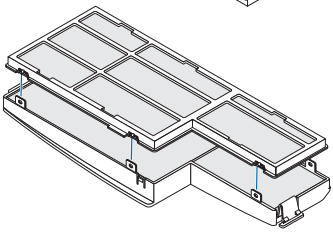
フィルタカバー：
ジャバラ状のやわらかいフィルタ（大、小）を取り付けます。このフィルタにはスリット（切れ目）があります。
フィルタのスリットをフィルタカバーの突起部に合わせてください。



4 フィルタカバーをフィルタユニットに取り付ける。

フィルタユニットにフィルタカバーを合わせ突起部付近を押さえます。

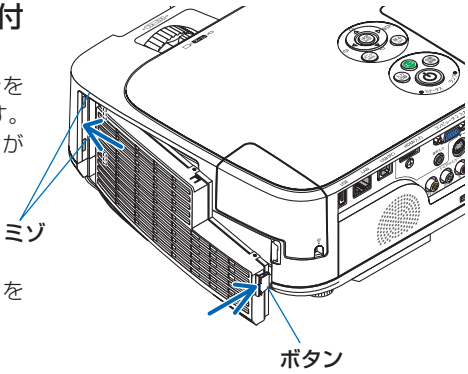
・ 6 箇所のツメ部の穴に突起部が入っていることを確認してください。



5 フィルタユニットを本体に取り付ける。

フィルタユニットの先端にあるツメ 2 箇所を本体のミゾに入れ、ボタンを押して閉めます。

・「カチッ」と音がしてフィルタユニットがが固定されます。



これで、フィルタ交換が終わりました。
続いてランプ使用時間とフィルタ使用時間をクリアしてください。

ランプ使用時間とフィルタ使用時間をクリアする

1 **本機を投写する場所に設置する。**

2 **電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。**

3 **ランプ使用時間やフィルタ使用時間をクリアする。**

❶オンスクリーンメニューのリセットで「ランプ時間クリア」を実行してください。(129 ページ)

❷続いて「フィルタ時間クリア」を実行してください。

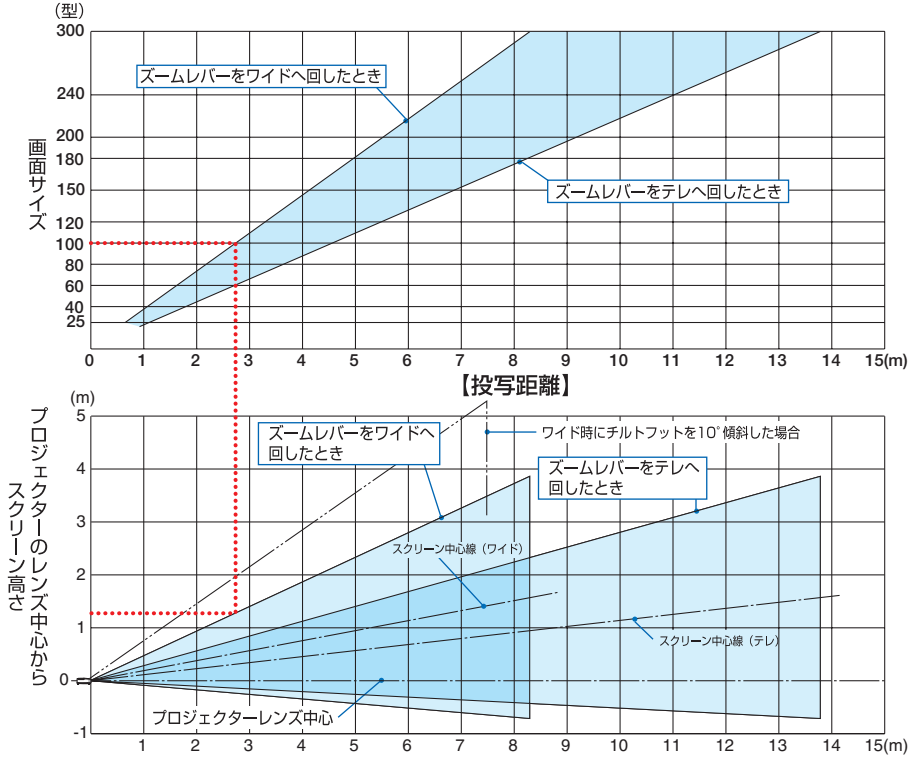
8. 付　録

投写距離とスクリーンサイズ

この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、どのくらいのスクリーンを用意すればいいのか、また、目的の大きさで投写するにはどのくらいの距離が必要かを知りたいときの目安にしてください。対応する機種名の投写距離をご覧ください。

適応機種 **NP-M361XJL/NP-M311XJL/NP-M271XJL**

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 0.6m（25 型の場合）～13.8m（300 型の場合）です。ただし、25 型未満は、テレ側のみ対応しています。この範囲で設置してください。



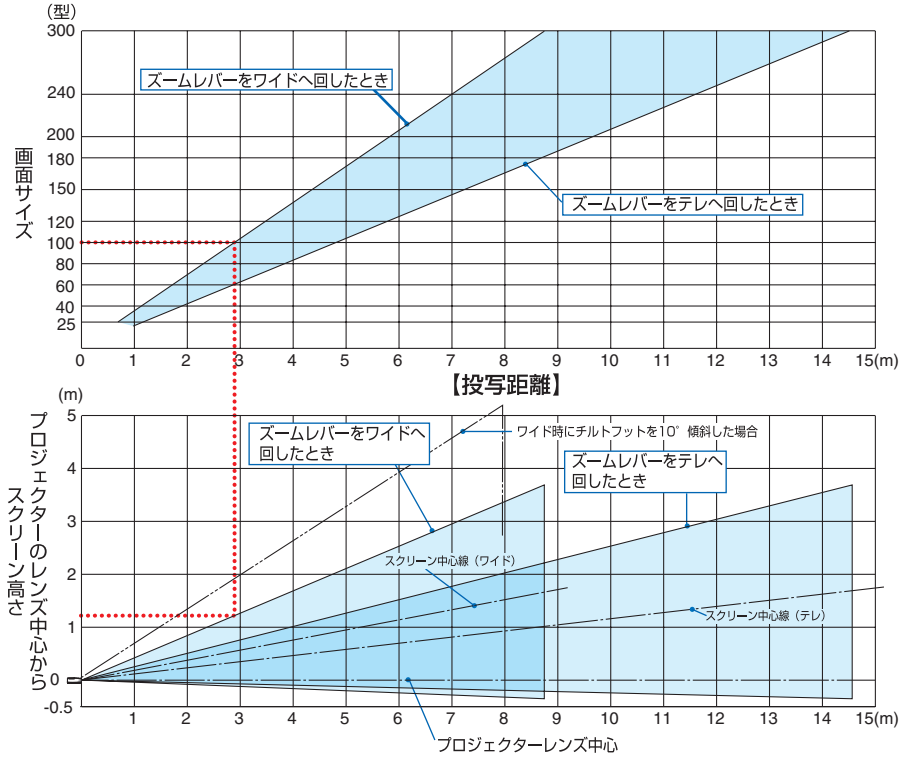
【表のみかた】

上の表より 100 型スクリーンにワイドで投写するには表より、2.7m 付近に設置することになります。

また、下の表はプロジェクターのレンズ中心からスクリーンの上端までが約 1.3m 必要となりますので、プロジェクターから天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。図はプロジェクターを水平に設置したときの投写範囲を表しています。チルトフットにより上へ最大約 10° 上げることができます。

適応機種 **NP-M311WJL/NP-M271WJL**

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 0.7m（25 型の場合）～14.6m（300 型の場合）です。ただし、25 型未満は、テレ側のみ対応しています。この範囲で設置してください。

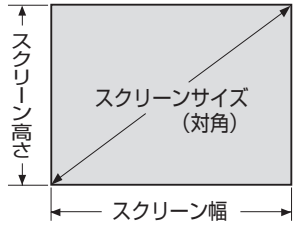


【表のみかた】

上の表より 100 型スクリーンにワイドで投写するには表より、2.9m 付近に設置することになります。

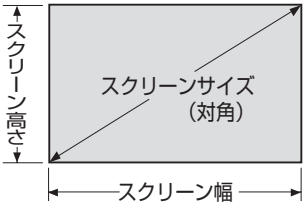
また、下の表はプロジェクターのレンズ中心からスクリーンの上端までが約 1.2m 必要となりますので、プロジェクターから天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。図はプロジェクターを水平に設置したときの投写範囲を表しています。チルトフットにより上へ最大約 10° 上げることができます。

スクリーンサイズと寸法表



適応機種 NP-M361XJL/NP-M311XJL/NP-M271XJL

サイズ（型）	スクリーン幅（cm）	スクリーンの高さ（cm）
30	61.0	45.7
40	81.3	61.0
60	121.9	91.4
80	162.6	121.9
100	203.2	152.4
120	243.8	182.9
150	304.8	228.6
200	406.4	304.8
240	487.7	365.8
300	609.6	457.2



適応機種 NP-M311WJL/NP-M271WJL

サイズ（型）	スクリーン幅（cm）	スクリーンの高さ（cm）
30	64.6	40.4
40	86.2	53.8
60	129.2	80.8
80	172.3	107.7
100	215.4	134.6
120	258.5	161.5
150	323.1	201.9
200	430.8	269.2
240	516.9	323.1
300	646.2	403.9

デスクトップの例

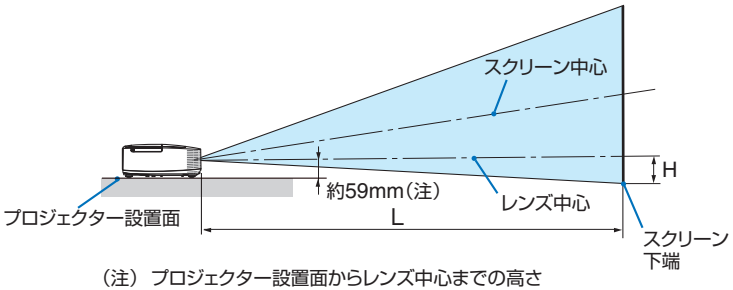
下の図はデスクトップで使用するときの例です。
水平投写位置……レンズを中心に左右均等
垂直投写位置……（下表参照）

適応機種 NP-M361XJL/NP-M311XJL/NP-M271XJL

スクリーンサイズ（型）	投写距離L(m)		寸法H (cm)
	ワイド時	テレ時	
21	-	0.92	5.0
25	0.65	1.11	6.0
30	0.79	1.34	7.1
40	1.07	1.80	9.5
60	1.62	2.72	14.3
80	2.18	3.64	19.1
100	2.73	4.56	23.8
120	3.29	5.49	28.6
150	4.12	6.87	35.7
180	4.96	8.25	42.9
200	5.51	9.17	47.6
240	6.62	11.02	57.2
300	8.29	13.78	71.4

適応機種 NP-M311WJL/NP-M271WJL

スクリーンサイズ（型）	投写距離L(m)		寸法H (cm)
	ワイド時	テレ時	
21	-	0.98	2.5
25	0.69	1.17	2.9
30	0.83	1.42	3.5
40	1.13	1.90	4.7
60	1.71	2.88	7.1
80	2.30	3.85	9.4
100	2.88	4.82	11.8
120	3.47	5.80	14.1
150	4.35	7.26	17.7
180	5.23	8.72	21.2
200	5.81	9.69	23.6
240	6.99	11.64	28.3
300	8.74	14.56	35.3

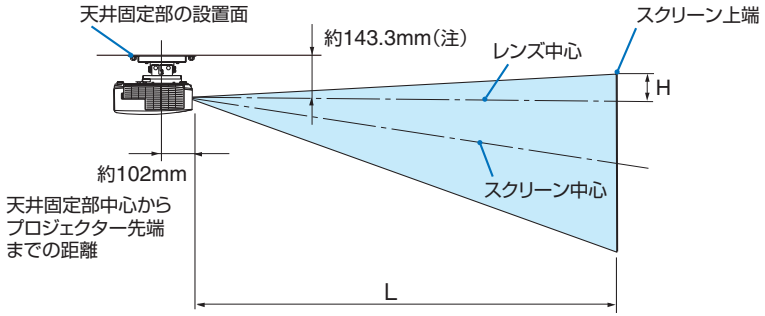


（注）プロジェクター設置面からレンズ中心までの高さ
（チルトフットを最小にした高さを含む）

参考

- 天吊り金具（別売）設置時の投写距離について
  投写距離（L）、寸法（H）はデスクトップの例と同じです。
  天井固定部の寸法およびプロジェクター取り付け時の寸法は 164 ページをご覧ください。

（注）天井固定部設置面からレンズ中心までの高さ
（プロジェクター取り付けアダプタの上下角度調整0°のとき）



- 記載の数値は設計値のため誤差が生じることがあります。

対応解像度一覧

アナログ RGB

信号名	解像度（ドット）		アスペクト比	垂直走査周波数（Hz）
VGA	640 × 480		4 : 3	60/72/75/85/iMac
SVGA	800 × 600		4 : 3	56/60/70/75/85/iMac
XGA	1024 × 768	*1	4 : 3	60/70/75/85/iMac
WXGA	1280 × 768	*2	15 : 9	60
	1280 × 800	*2	16 : 10	60
	1360 × 768	*3	16 : 9	60
	1366 × 768	*3	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960		4 : 3	60/75
SXGA	1280 × 1024		5 : 4	60/75
SXGA+	1400 × 1050		4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900		16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900	*3	16 : 9	60
UXGA	1600 × 1200		4 : 3	60/65/70/75
WSXGA+	1680 × 1050		16 : 10	60
HD	1280 × 720		16 : 9	60
Full HD	1920 × 1080		16 : 9	60
WUXGA	1920 × 1200		16 : 10	60
MAC 13"	640 × 480		4 : 3	67
MAC 16"	832 × 624		4 : 3	75
MAC 19"	1024 × 768		4 : 3	75
MAC 21"	1152 × 870		4 : 3	75
MAC 23"	1280 × 1024		5 : 4	65

HDMI

信号名	解像度（ドット）		アスペクト比	垂直走査周波数（Hz）
VGA	640 × 480		4 : 3	60
SVGA	800 × 600		4 : 3	60
XGA	1024 × 768	*1	4 : 3	60
WXGA	1280 × 768	*2	15 : 9	60
	1280 × 800	*2	16 : 10	60
	1366 × 768		16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960		4 : 3	60
SXGA	1280 × 1024		5 : 4	60
SXGA+	1400 × 1050		4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900		16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900		16 : 9	60
WSXGA+	1680 × 1050		16 : 10	60
HDTV(1080p)	1920 × 1080		16 : 9	50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080		16 : 9	50/60
HDTV (720p)	1280 × 720		16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720 × 480		4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 × 576		4:3 / 16:9	50

コンポーネント

信号名	解像度（ドット）	アスペクト比	垂直走査周波数（Hz）
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 × 576	4:3 / 16:9	50
SDTV(480i)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV(576i)	720 × 576	4:3 / 16:9	50

コンポジット　ビデオ／ S- ビデオ

信号名	アスペクト比	垂直走査周波数（Hz）
NTSC	4 : 3	60
PAL	4 : 3	50
PAL60	4 : 3	60
SECAM	4 : 3	50

*1: NP-M361XJL/NP-M311XJL/NP-M271XJL ではリアル表示
*2: NP-M311WJL/NP-M271WJL ではリアル表示
*3: オンスクリーンメニューのアスペクトを「自動」に設定しているときは正しく表示できないことがあります。本機の工場出荷時は「自動」に設定しています。該当する解像度の信号を投写するときは、アスペクトを「16 : 9」に設定してください。

- 本機の解像度を超える信号はアドバンスド・アキュブレンドにより対応。
- アドバンスド・アキュブレンドの場合、文字や罫線の太さなどが不均一になったり、色がにじんだりする場合があります。
- 出荷時はその表示解像度／周波数の標準的な信号に合わせていますが、コンピュータの種類によっては調整が必要な場合があります。
- コンピュータ信号は、セパレート同期信号のみ対応しています。

仕様

形名			NP-M361XJL/NP-M311XJL/NP-M271XJL	NP-M311WJL/NP-M271WJL
方式			三原色液晶シャッタ投映方式	
主要部品仕様	液晶パネル	サイズ	NP-M361XJL/NP-M311XJL：0.63 型 MLA 付き（アスペクト比 4：3） NP-M271XJL：0.63 型（アスペクト比 4：3）	0.59 型 MLA 付き（アスペクト比 16:10）
		画素数 (*1)	786,432 画素（1024 ドット× 768 ライン）	1,024,000 画素（1280 ドット× 800 ライン）
	投写レンズ	ズーム	マニュアル（1 ～ 1.7 倍、f=17.5 ～ 29.0mm）	
		フォーカス	マニュアル	
	光源		NP-M361XJL:230W AC ランプ（エコ 1 モード時 170W、エコ 2 モード時 140W (*2)） NP-M311XJL/NP-M271XJL:180W AC ランプ（エコ 1 モード時 145W、エコ 2 モード時 110W (*2)）	NP-M311WJL:230W AC ランプ（エコ 1 モード時 170W、エコ 2 モード時 140W (*2)） NP-M271WJL:180W AC ランプ（エコ 1 モード時 145W、エコ 2 モード時 110W (*2)）
	光学装置		ダイクロイックミラーによる光分離・クロスダイクロプリズムによる合成方式	
明るさ (*3) (*4)			NP-M361XJL:3600lm NP-M311XJL:3100lm NP-M271XJL:2700lm	NP-M311WJL:3100lm NP-M271WJL:2700lm
コントラスト比 (*3)（全白 / 全黒）			3000:1	
画面サイズ（投写距離）			25 ～ 300 型（0.6 ～ 13.8m）	25 ～ 300 型（0.7 ～ 14.6m）
色再現性			10 ビット カラープロセッシング（約 10 億 7000 万色）(*5)	
音声出力			10W モノラルスピーカ内蔵	
走査周波数		水平	15 ～ 100kHz 未満（RGB 入力は 24kHz 以上）	
		垂直	50 ～ 120Hz（HDMI 入力は 50 ～ 85Hz）	
主な調整機能			自動台形補正、マニュアルズーム、マニュアルフォーカス、入力信号切替（コンピュータ / ビデオ /S- ビデオ / ビューワ / USB ディスプレイ / ネットワーク）、画像自動調整、画面拡大、画面位置調整、ミュート（映像 / 音声とも）、電源オン / オフ、オンスクリーン表示 / 選択など	
最大表示解像度（横×縦）			1920 × 1200（アドバンスド・アキュブレンドによる対応）	
入力信号	R,G,B,H,V		RGB:0.7Vp-p / 75 Ω 正極性	
			H/V Sync:4.0Vp-p/TTL 正極性 / 負極性	
	コンポジットビデオ		1.0Vp-p / 75 Ω	
	S- ビデオ		Y:1.0Vp-p / 75 Ω	
			C:0.286Vp-p / 75 Ω	
	コンポーネント		Y:1.0Vp-p / 75 Ω（With Sync）	
			Cb,Cr（Pb,Pr）:0.7Vp-p / 75 Ω	
			DTV: 480i, 480p, 720p, 1080i, 1080p（60Hz） 576i, 576p, 720p, 1080i（50Hz）	
			DVD: プログレッシブ信号（50/60Hz）	
	音声		0.5Vrms / 22k Ω以上	

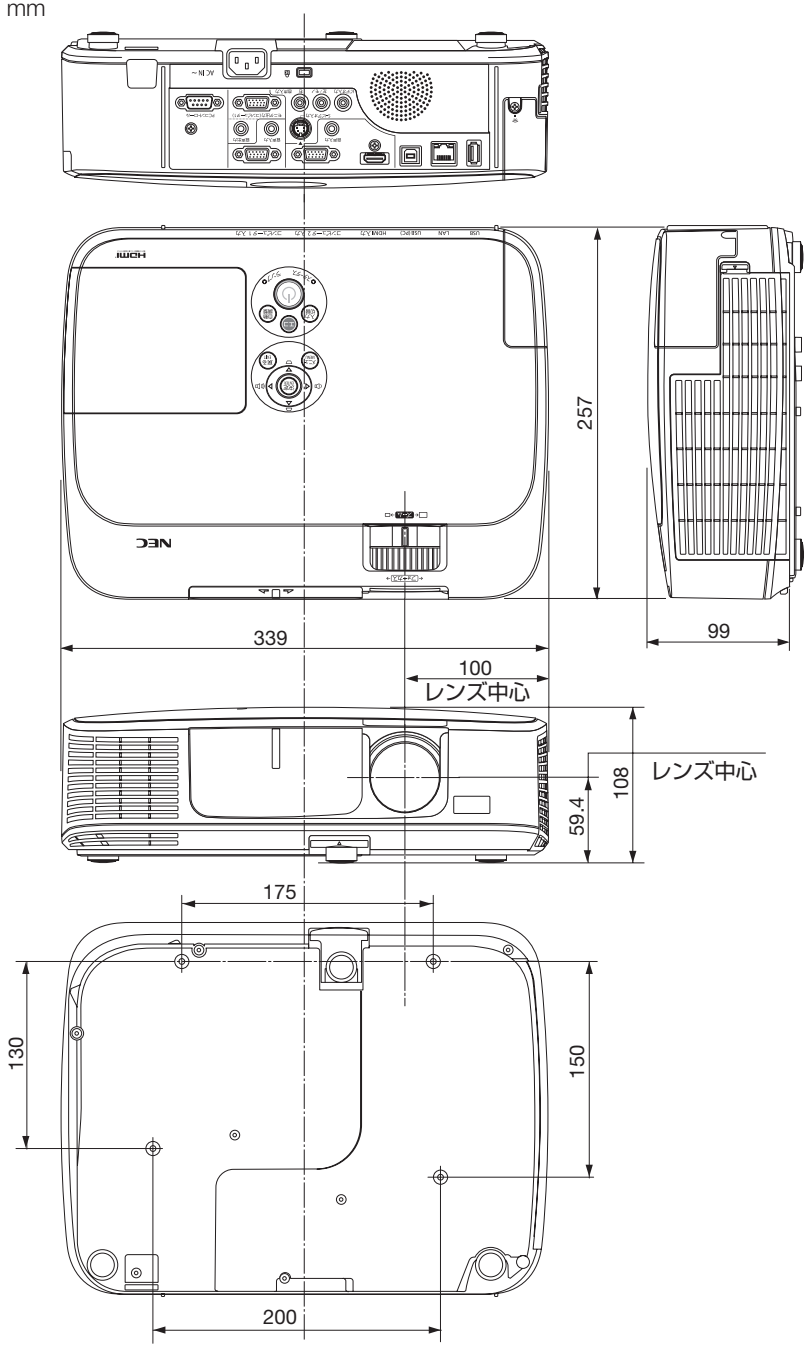
形名			NP-M361XJL/NP-M311XJL/NP-M271XJL	NP-M311WJL/NP-M271WJL
入出力端子	コンピュータ/コンポーネント	映像入力	ミニ D-Sub 15 ピン× 2	
		映像出力	ミニ D-Sub 15 ピン× 1	
		音声入力	ステレオミニジャック× 2	
		音声出力	ステレオミニジャック× 1（全信号共通）	
	HDMI	映像音声入力	HDMI® コネクタタイプ A（19 ピン）× 1, HDCP 対応 (*6)	
	ビデオ	映像入力	RCA × 1	
		音声入力	RCA（RCA L/R）× 1	
	S- ビデオ	映像入力	ミニ DIN4 ピン× 1	
		音声入力	（ビデオの音声入力端子と共通）	
	PC コントロール端子		D-Sub 9 ピン× 1	
	USB ポート		USB タイプ A × 1、USB タイプ B × 1	
	無線 LAN 用 USB ポート		USB タイプ A × 1	
	LAN ポート		RJ-45 × 1、10BASE-T/100 BASE-TX	
使用環境			動作温度 :5 ～ 40℃ (*7) 動作湿度 :20 ～ 80%（ただし、結露しないこと）	
			保存温度 : － 10 ～ 50℃ 保存湿度 :20 ～ 80%（ただし、結露しないこと）	
電源			AC 100V 50/60Hz (*8)	
消費電力	エコモード切り時		NP-M361XJL:311W NP-M311XJL/NP-M271XJL:248W	NP-M311WJL:311W NP-M271WJL:248W
	エコ 1 モード時		NP-M361XJL:239W NP-M311XJL/NP-M271XJL:198W	NP-M311WJL:239W NP-M271WJL:198W
	エコ 2 モード時		NP-M361XJL:213W NP-M311XJL/NP-M271XJL:176W	NP-M311WJL:213W NP-M271WJL:176W
	スタンバイ時		8W	
	省電力時		0.2W	
定格入力電流			NP-M361XJL:3.4A、 NP-M311XJL/NP-M271XJL:2.8A	NP-M311WJL:3.4A NP-M271WJL:2.8A
外形寸法			339（幅）× 99（高）× 257（奥行）mm（突起部含まず）	
質量			NP-M361XJL/NP-M311WJL:2.99kg NP-M311XJL/NP-M271XJL/NP-M271WJL:2.9kg	

(*1)：有効画素数は 99.99%です。
(*2)：最大でエコ 1 モード相当の電力になります。
(*3)：出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2003 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書 2 に基づいています。
(*4)：エコモードが「オフ」、プリセットが高輝度モードのときの明るさです。
エコ 1 モードにすると、明るさが NP-M361XJL/NP-M311WJL は約 75%、NP-M311XJL/NP-M271XJL/NP-M271WJL は約 80%に低下します。エコ 2 モードにすると、明るさが約 60% に低下します。また、プリセットで他のモードを選択すると明るさが多少低下します。
(*5)：入力端子で、ビューワ、ネットワークを選択しているときは、フルカラー（約 1677 万色以上）となります。
(*6)：HDCP/HDCP 技術とは？
HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、HDMI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。
本機には、HDMI 入力端子を装備しています。
本機のHDMI入力端子は、HDCP技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、HDMI 入力端子の映像が表示されないことがあります。
映像：DeepColor (ディープカラー：色深度): 8/10/12 ビット、LipSync
音声：LPCM; チャンネル数 ; 2ch、サンプリング周波数：32/44.1/48KHz、サンプリングビット：16/20/24 ビット
(*7)：35 ～ 40℃は「強制エコモード」になります。
(*8)：高調波電流回路 JIS C 61000-3-2 適合品です。

・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

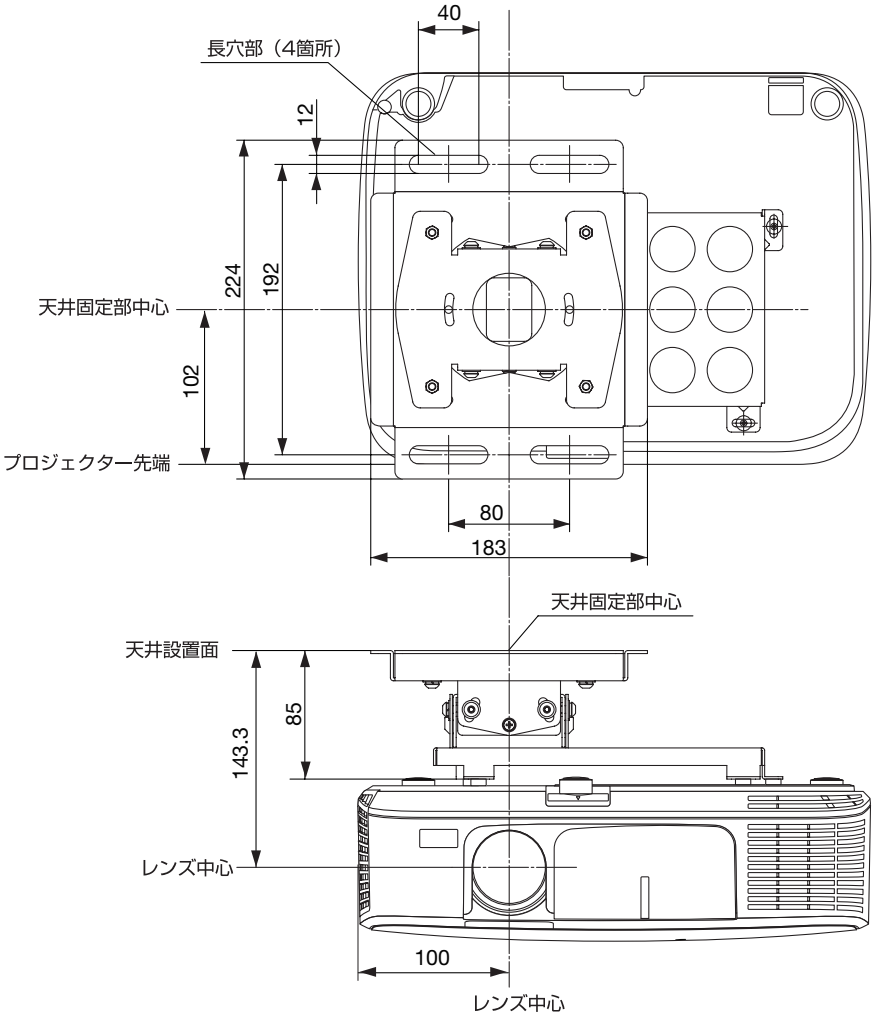
外観図

単位：mm



天吊り金具（別売）取り付け図

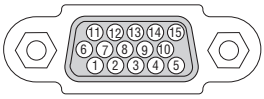
天井設置面寸法図（単位：mm）



注）左右０度、上下０度、傾き０度時の寸法です。

コンピュータ1/2 映像入力端子のピン配列と信号名

各ピンの接続と信号レベル



信号レベル

ビデオ信号：0.7Vp-p（アナログ）
同期信号　：TTL レベル

ピン番号	RGB 信号（アナログ）	YCbCr 信号
1	赤	Cr
2	緑またはシンクオングリーン	Y
3	青	Cb
4	接　地	
5	接　地	
6	赤　　接　地	Cr　　接　地
7	緑　　接　地	Y　　接　地
8	青　　接　地	Cb　　接　地
9	非接続	
10	同期信号　　接　地	
11	非接続	
12	Bi-directional DATA（SDA）	
13	水平またはコンポジット同期	
14	垂直同期	
15	Data Clock	

参考

- Virtual Remote Tool では、コンピュータ 1 映像入力端子の 12 ピンと 15 ピンを使用しています。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときは NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	29
	ランプカバーが正しく取り付けられていますか。	151
	ランプ固定のネジがゆるんでいませんか。	151
	ランプ交換時間（目安）※を超えて使用していませんか。 新しいランプに交換してください。 交換後、本機をスタンバイ状態にして、リモコンの〔ヘルプ〕ボタンを 10 秒以上押し続けてください。本機内部で管理しているランプ時間の値がクリアされ電源が入るようになります。 ※保証時間ではありません。	128
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	172
	標高約 1600m 以上の高地で本機を使用していませんか。 高地で使用する場合はオンスクリーンメニューのファンモードで「高地」を選択してください。 高地で本機を使用する場合にファンモードで「高地」を選択していないと、温度プロテクタが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、ランプ消灯後ランプの温度が上昇するため、温度プロテクタが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。	119
	上記の電源コードの接続、ランプ交換時間、本機の内部温度上昇などが原因として考えられない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	42
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューのオフタイマーまたはオートパワーオフを「オン（時間を選択）」にしていませんか。	113 123

映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。本体の入力切替ボタンまたはリモコンの入力を選択するボタンを再度押してください。	32
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	130～137
	調整のコントラスト、明るさが最小になっていませんか。	105
	コンピュータ信号（RGB）の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 コンピュータの解像度を確認してください。	159
	コンピュータ信号（RGB）の場合、画面調整を正しく行っていますか。	40
	コンピュータの画面がうまく投写できない場合は、169 ページをご覧ください。	—
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	99
	それでも解決しない場合は、リセットを行ってみてください。	129
	セキュリティが有効になっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたセキュリティキーワードを入力しないと映像は投写されません。	50
	ランプの消灯直後に電源を入れたときは、冷却のためにファンのみが回転し、映像が出るまでに時間がかかります。しばらくお待ちください。	—
	標高約 1600m 未満であっても高地で使用している場合、温度プロテクタが働いて、自動的に消灯することがあります。そのときはファンモードを「高地」に設定してください。	119
映像が歪む	正しく設置されていますか。	35
	台形状に歪む場合は台形補正を行ってください。	38
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	37
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	35
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	155
	レンズなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—
映像の画質が悪い	コンピュータ信号（RGB）の場合、（自動調整）ボタンを押してください。	40
画面がちらつく	オンスクリーンメニューのファンモードで「高地」を選択した状態のまま本機を低地（標高約 1600m 未満）で使用すると、ランプが冷えすぎて画面がちらつくことがあります。 ファンモードで「高地」以外を選択してください。	119
映像が乱れる	本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。	—

映像が突然暗くなった	室温が高いため、強制エコモードになっていませんか。 ファンモードを「高速」に設定するなどして、本機内部の温度が下がるようにしてください。	47
水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	コンピュータ信号（RGB）の場合、水平、垂直を正しく調整しましたか。	106 107
	コンピュータ信号（RGB）の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 コンピュータの解像度を確認してください。	159
コンピュータ信号（RGB）で文字がちらついたり色がずれている	自動調整ボタンを押してください。改善されない場合は、オンスクリーンメニューのクロック周波数と位相を調整してください。	40 106
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	23
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	23
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。	24
	リモコンの有効範囲（7m）を超えていませんか。	23
	コントロール ID 機能を設定している場合、リモコンの ID 番号とプロジェクターの ID 番号は一致していますか。 コントロール ID を「オン」にすると、本機のリモコンから本機を操作できなくなります。	117 118
	本機のリモコンを使って、コンピュータのマウス操作を行う場合は、本機の USB(PC) ディスプレイ端子とコンピュータを添付の USB ケーブルで接続してください。	58
インジケータが点滅する	インジケータ表示一覧をご覧ください。	171 172
本機の動作が不安定になる	電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	42

コンピュータの画面がうまく投写できない場合

コンピュータを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

●コンピュータの起動のタイミング

コンピュータと本機をコンピュータケーブルで接続し、本機とコンセントを電源コードで接続して本機をスタンバイ状態にしてから、コンピュータを起動してください。特にノートブックコンピュータの場合、接続してからコンピュータを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

参考

- 本機のオンスクリーンメニューを表示して、情報→信号の水平同期周波数を確認してください。
  水平同期周波数が表示されていないときは、コンピュータから外部出力信号が出力されていません。（127 ページ）

●コンピュータの起動後に操作が必要な場合

ノートブックコンピュータの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります（ノートブックコンピュータ自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません）。

参考

- Windows のノートブックコンピュータの場合は、ファンクションキーを使って「外部」に切り替えます。
  Fn キーを押したまま（▭/🖵）などの絵表示や（LCD/VGA）の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく（プロジェクターが認識する時間）すると投写されます。
  通常、キーを押すごとに「外部出力」→「コンピュータ画面と外部の同時出力」→「コンピュータ画面」…と繰り返します。
- Windows 7 の場合は、Windows キーを押したまま「P」キーを押すと、外部出力（モニタ出力）にすることができます。

【コンピュータメーカーとキー操作の例】

Fn + F2	MSI
Fn + F3	NEC、Panasonic、SOTEC、MITSUBISHI、Everex
Fn + F4	HP、Gateway
Fn + F5	ACER、TOSHIBA、SHARP、SOTEC
Fn + F7	SONY、IBM、Lenovo、HITACHI
Fn + F8	DELL、ASUS、EPSON、HITACHI
Fn + F10	FUJITSU

※詳しい操作は、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
表に記載されていないメーカーのノートブックコンピュータをお使いの場合は、ノートブックコンピュータのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。

- Apple の MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。

● ノートブックコンピュータの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートブックコンピュータの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。
多くの場合、ノートブックコンピュータの制限（コンピュータ自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。
上記の場合は、ノートブックコンピュータの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

● Mac を起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Mac 用信号アダプタ（市販）を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Mac および本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなることがあります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを 13 インチ固定モードに設定し、Mac を再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

● MacBook と本機を同時に表示させる場合

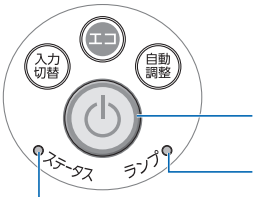
MacBook ディスプレイのビデオミラーリングを「切」にしないと外部出力を 1024 × 768 ドットに設定できないことがあります。

● Mac の投写画面からフォルダなどが切れている場合

Mac に接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、Mac の Finder 画面で option キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

インジケータ表示一覧

本体操作部の 3 つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。



●電源インジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		主電源が切れている	—
点滅	青色（短い点滅）	電源オン準備中	しばらくお待ちください。
	青色（長い点滅）	オフタイマー（有効状態）	—
点灯	青色	電源オン状態	—
	オレンジ色	スタンバイ状態 （スタンバイモードが「ノーマル」）	—
	赤色	スタンバイ状態 （スタンバイモードが「省電力」）	—

●ステータスインジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし、またはスタンバイ状態（スタンバイモードが「省電力」）	—
点滅	赤色（1 回周期）	カバー異常	ランプカバーが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください。（151 ページ）
	赤色（2 回周期）	温度異常	温度プロテクタが動作しています。室温が高い場合は、本機を涼しい場所へ移動してください。（次ページ）
	赤色（3 回周期）	電源異常	電源が正常に動作していません。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。
	赤色（4 回周期）	ファン異常	冷却ファンの回転が停止しています。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。
	赤色（6 回周期）	ランプ不点灯	ランプが点灯しません。1 分以上待って再度電源を入れてください。それでも点灯しない場合は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。
	緑色	ランプ点灯失敗後の再点灯準備中	しばらくお待ちください。

点滅	オレンジ色	ネットワークの競合	本機の内蔵 LAN と無線 LAN を同時に同じネットワークに接続することはできません。本機の内蔵 LAN と無線 LAN を同時にネットワークに接続する場合は、異なるネットワークに接続してください。
点灯	緑色	スタンバイ状態（スタンバイモードが「ノーマル」）	—
	オレンジ色	本体キーロック中にボタンを押したとき	本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります。（116 ページ）
		プロジェクターの ID 番号とリモコンの ID 番号が一致しないとき	コントロール ID を確認してください。（117, 118 ページ）

●ランプインジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし	—
点滅	赤色	ランプ交換猶予時間中	ランプ残量が 0%になり、ランプ交換の猶予時間（100 時間）中です。すみやかにランプを交換してください。（148 ページ）
点灯	赤色	ランプ使用時間超過	ランプ使用時間を超過しています。ランプを交換するまで本機の電源は入りません。（148 ページ）
	緑色	エコモード「エコ 1、エコ 2」時	—

●温度プロテクタが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、ランプが消灯し、ステータスインジケータが点滅します（2 回点滅の繰り返し）。
同時に本機の温度プロテクタ機能が働いて、本機の電源が切れることがあります。
このようなときは、以下のことを行ってください。

- 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- 通風孔にほこりがたまっていたら、清掃してください。（143, 147 ページ）
- 本機内部の温度が下がるまで、約 1 時間そのままにしてください。

トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな？と思ったら」をご覧いただき、それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターの受付担当者へお伝えください。　※このページと次のページを印刷してお使いください。

発生頻度　□常時　□時々（　　回中　　回）　□その他(　　)

電源関係

- □ 電源が入らない（電源インジケータが青色に点灯しない）。
  - □ 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
  - □ ランプカバーは正しく取り付けられている。
  - □ ランプを交換した場合、ランプ時間をクリアした。
  - □ ⏻ボタンを押しても電源が入らない。
- □ 使用中、電源が切れる。
  - □ 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
  - □ ランプカバーは正しく取り付けられている。
  - □ オートパワーオフは「オフ」に設定されている。
  - □ オフタイマーは「オフ」に設定されている。

映像・音声関係

- □ コンピュータの画面が投写されない。
  - □ コンピュータと本機を接続したあとにコンピュータを起動してもなおらない。
  - □ ノートブックコンピュータにおいて外部出力信号が出力されている。

    Windowsの場合は、[Fn]キー+[F1]～[F12]キーのいずれかを押すと外部出力信号が出力されます（コンピュータによって異なります）。
- □ 映像が出ない（ブルーバック ・ ロゴ ・ 表示なし）。
  - □ (自動調整)ボタンを押してもなおらない。
  - □ リセットを実行してもなおらない。
  - □ 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。
  - □ 画面に何かメッセージが出ている。
    （　　）
  - □ 接続している入力を選択している。
  - □ 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。
  - □ 入力は対応している解像度・周波数の信号である。
- □ 映像が暗い。
  - □ 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。
- □ 映像が歪む。
  - □ 台形に歪む（台形補正を実行してもなおらない）。
- □ 映像が切れる。
  - □ (自動調整) ボタンを押してもなおらない。
  - □ リセットを実行してもなおらない。
  - □ 水平または垂直方向に映像がずれる。
  - □ コンピュータ映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。
  - □ 入力は対応している解像度・周波数の信号である。
  - □ 数ドット欠けている。
- □ 映像がちらつく。
  - □ (自動調整)ボタンを押してもなおらない。
  - □ リセットを実行してもなおらない。
  - □ コンピュータ映像入力で文字がちらついたり、色がずれている。
  - □ ファンモードを「高地」から「自動」にしてもなおらない。
- □ 映像がぼやける・フォーカスが合わない。
- □ 音声が出ない。
  - □ 音声入力端子にケーブルがしっかり挿入されている。
  - □ 音量を調整してもなおらない。

その他

- □ リモコンが利かない。
  - □ リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。
  - □ 蛍光灯の近くに本体が設置されている。
  - □ プロジェクター本体のIDとリモコンのIDは一致している。
- □ 本体操作パネルのボタンが利かない。
  本体キーロック設定のある機種において
  - □ 本体キーロック設定は「オフ」または「無効」に設定されている。
  - □ 本体の(戻る)ボタンを10秒以上押してもなおらない。

症状を具体的に記入してください。

使用状況・環境

プロジェクター

形名：☐ **NP-M361XJL** ☐ **NP-M311XJL**
☐ **NP-M271XJL**
☐ **NP-M311WJL** ☐ **NP-M271WJL**

製造番号：

購入時期：

ランプ使用時間：

エコモード：☐ オートエコ ☐ エコ1
☐ エコ2

入力信号情報：
水平同期周波数 [kHz]
垂直同期周波数 [Hz]
同期極性 H ☐(+) ☐(−)
V ☐(+) ☐(−)
同期形態 ☐ セパレート ☐ ミックス
☐ Gシンク

ステータスインジケータの状態
点灯（オレンジ・緑）
点滅（　回周期）

設置環境

スクリーンサイズ：　型
タイプ：☐ ホワイトマット ☐ ビーズ ☐ 偏光
☐ 広視野角 ☐ ハイコントラスト

投写距離：　m

投写方法：☐ 天吊り ☐ 床置き

電源コンセントは？
☐ 壁からのコンセントを直接利用している。
☐ 電源用テーブルタップを利用している。
（他、接続機器の数：　台）
☐ 電源ドラム（ロール式）を利用している。
（他、接続機器の数：　台）

コンピュータ

メーカー：

形名：

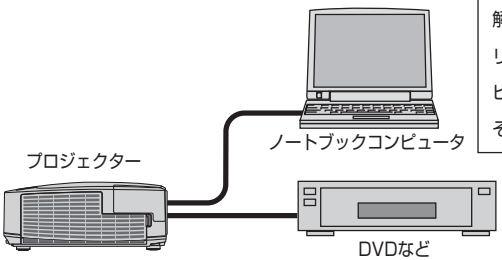
ノートブックコンピュータ・デスクトップ一体型

解像度：

リフレッシュレート：

ビデオボード：

その他：



信号ケーブル

純正・その他
（形名：　長さ：　m）

分配器
形名：

スイッチャ
形名：

アダプタ
形名：

接続機器

ビデオ ・ DVD ・ カメラ ・ ゲーム ・ その他

メーカー：

形名：

TCO 認証

この製品群には、TCO に認証されたモデルがいくつかあります。TCO に認証されたモデルにはすべて（製品底面の）銘板に TCO マークを表示しています。TCO に認証された当社のプロジェクターの一覧表と該当する TCO Certification（英語のみ）は、当社ホームページ http://www.nec-display.com/jp/projector/tco/index.html をご覧ください。

TCO 認証は、TCO Development 社によって制定された、IT 機器のための環境および人間工学に関する国際規格です。

なお、TCO 認証の取得時期とプロジェクターの生産時期により、ホームページにモデル名が記載されていても、本体に TCO マークが付いていない場合があります。

索引

数字／アルファベット

4 点補正 80
AC IN 端子 18, 29
AMX BEACON 67
AV ミュート 17, 44
DHCP 64, 124
DICOM SIM. 103
DNS 124
GCT（Geometric Correction Tool） 80
HDCP 136, 162
HDMI 設定 121
HTTP 61
ID 表示 113
Image Express Utility Lite 25, 74
IP アドレス 61, 64, 124
LAN 69, 74, 138
MAC アドレス 125
NEC Projector CD-ROM 16, 52
69, 74, 91
PC Control Utility Pro 4/Pro 5 25, 69
PJLink 67
sRGB 103
SSID 65, 127
USB ディスプレイ 59, 74
USB（LAN）ポートカバー 18, 140
USB メモリ 83, 85
Viewer PPT Converter 3.0 25, 91
Virtual Remote Tool 25, 52
WXGA モード 120

五十音

【ア行】
明るさ 105
アスペクト 108
位相 106
色温度 104
インジケータ表示 171
映像 103
エコメッセージ 114
エコモード 46, 95, 112
オートパワーオフ 123
オートパワーオン（COMP1） 122
オーバースキャン 107
オプション（1） 119
オプション（2） 121
オフタイマー 95, 113
オンスクリーンメニュー 95, 99
温度プロテクタ 172
音量 41

【カ行】
カーボンメータ 48
解像度 159
画像設定 106
壁色補正 112
画面モード 105
カラー 105
カラーエンハンスメント 105
ガンマ補正 104
キーワード 49
幾何学補正 80
吸気口 17, 143
強制エコモード 47, 95
クイックスタート 13
クイックパワーオフ 13
クローズドキャプション 112
クロック周波数 106
ゲートウェイ 64, 124, 127
言語 30, 113
コントラスト 105
コントロール ID 117
コントロールウィンドウ 60
コンピュータケーブル 15, 29, 55, 130

【サ行】
サブネットマスク 64, 124, 127
サムネイル画面 85, 88
サムネイルメニュー 89
参照 104
色相 105
自動台形補正 38, 111
自動調整 40, 119
シャープネス 105
情報 127
初期入力選択 33, 123
信号選択 32, 120
垂直 107
水平 106
ズームレバー 17, 37

スクリーンサイズ（映像） 104
スクリーンサイズ（投写距離） 155
スタンバイモード 121
ステータスインジケータ 19, 171
スピーカ 18, 41
スライド画面 86, 88
スライドショー画面 88
スライドショーメニュー 90
スライドメニュー 90
静止 44
静止画（画面モード） 105
セキュリティ 49, 65, 117
セキュリティバー 18
接続端子部 18, 20
設置 115, 155
セットアップ 111
全般 111
ソフトケース 15, 43

【タ行】
台形歪み 35, 38, 111
台形補正 111
台形補正保存 111
ダイナミックコントラスト 104
ダイレクトパワーオフ 13, 31
ダイレクトパワーオン 122
調整 103
チルトフット 17, 36
チルトレバー 17, 36
ツールバー（Virtual Remote Tool） 52
通信速度 117
デインターレース 120
テストパターン 118
電源 30, 42
電源インジケータ 19, 171
電源コード 4, 15, 29, 43
投写距離 155
投写方法 115
盗難防止用ロック 18

【ナ行】
入力信号 32, 60, 95
入力端子 20, 102
入力端子表示 113
ネットワーク設定 64

【ハ行】
バックグラウンド 114
ビープ音 121
ビューワ 83
ビューワ起動画面 85, 88
表示位置 110
表示時間 114
表示色選択 113
ファンモード 95, 119
フィルタカバー 144, 152
フィルタ時間クリア 129, 145, 154
フィルタ使用時間 127
フィルタの交換 152
フィルタメッセージ 115
フィルタユニット 144, 152
フォーカスリング 17, 37
部分拡大 45
プリセット 103
プロジェクター名 66, 127
ホワイトバランス 105
本体キーロック 116
本体操作部 17, 19

【マ行】
無信号ガイダンス 113
無線 LAN 64, 74 124, 127, 139
無線 LAN ユニット 95, 124, 140
メール通知 66
メニュー設定 113

【ヤ行】
有線 LAN 64, 74, 123, 127

【ラ行】
ランプ 148, 150
ランプインジケータ 19, 172
ランプカバー 18, 149
ランプ残量 127, 128
ランプ時間クリア 129, 154
ランプ使用時間 127, 128
ランプの交換 148
リアフット 18, 36
リセット 129
リセット（映像） 106
リモートマウス 58
リモコン 15, 21, 23
リモコン受光部 17, 23
レンズ 17, 146
レンズカバー 17, 30, 43
ロゴ 52, 114

別売品／商標について

●別売品

商品名			形名
ランプ	交換用ランプ	NP-M311XJL/NP-M271XJL/ NP-M271WJL 用	NP15LP
		NP-M361XJL/NP-M311WJL 用	NP16LP
天吊り金具	天井用取付けユニット		NP12CM
無線 LAN ユニット			NP02LM2

この他の別売品については、当社プロジェクター総合カタログをご覧ください。

●商標について

- ViewLight、ビューライト、AccuBlend、GeometricCorrection は、NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。
- Apple、Mac、MacBook 、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint、Internet Explorer、.NET Framework は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel, Intel Core は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- PowerPC は、米国 IBM 社の登録商標です。
- Virtual Remote Tool は Nicom soft Ltd. の Win I2C/DDC ライブラリを利用しています。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing,LLC の登録商標または商標です。

HDMI
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

- PJLink 商標は、日本・米国その他の国や地域における登録商標または出願商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-Fi Protected Access (WPA, WPA2)® は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- ブルーレイは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- CRESTRON および ROOMVIEW は、Crestron Electronics, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

● 本製品に含まれる GPL/LGPL 等適用ソフトウェアのライセンスについて

本製品には GNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属 CD-ROM 内の「about GPL&LGPL」フォルダ内の readme.pdf をご参照ください。

保証と修理サービス（必ずお読みください）

保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

●保証期間

・本体：お買い上げ日から 1 年間です。（ただし添付品は除く）
・本体に付属のランプ：次の（1）と（2）の早いほうまでです。
（1）お買い上げから 6 か月間。
（2）ランプ残量（128 ページ）が 50%になるまで。

補修用性能部品の保有期間

当社は、このプロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、5 年保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（電話番号：0120-610-161）にお願いいたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（166 ページ）に従って調べていただき、あわせて「トラブルチェックシート」（173, 174 ページ）で現象を確認してください。
その上でなお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

●保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターが修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	NEC データプロジェクター
形　　名	NP-M361XJL/NP-M311XJL/NP-M271XJL/NP-M311WJL/NP-M271WJL
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お　名　前	
電 話 番 号	
訪問ご希望日	

べんり メモ	お買い上げ 店名	☎（　　）　－

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

・ 技術料
故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
＋
・ 部品代
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
＋
・ 引取費用
製品を引き取りするための費用です。

プロジェクターに関するお問い合わせから修理のご依頼まで プロジェクターのトータルサポート窓口

NECプロジェクター・カスタマサポートセンター

● NEC製プロジェクターに関するお問い合わせや修理のご依頼を専任スタッフがお受けいたします。

TEL 0120-610-161　FAX 0120-134-516

受付時間　9:00～18:00（土・日・祝日、その他特定日を除く）
通話料無料：携帯電話／PHS からでもご利用いただけます。

ホームページ　http://www.nec-display.com/jp/support/projector/

法人様向けユーザーサポートクラブ

ViewLight CLUB ビューライトクラブ

入会金・年会費 無料

● より「安心」で「快適」に ViewLight をお使いいただくために様々なサポートを行うユーザーサポートクラブです。

入会方法　本機に添付しているチラシをご参照ください。

ホームページ　http://www.nec-display.com/jp/support/projector/vlclub/

輸出に関する注意事項

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、日本国および外国の法に基づいて許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、NECプロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

NECディスプレイソリューションズ株式会社